

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		1 年				2 年			
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成
基礎教育科目	社会人基礎入門A(地域と大学・ASP)	講義		1	○	○						
	茶道文化Ⅰ(社会人基礎入門B)	演習	1		○	○						
	茶道文化Ⅱ	演習	1					○				
	茶道文化Ⅲ	演習	1						○	○		
	茶道文化Ⅳ	演習	1								○	○
	心理学概論	講義		2								○
	長崎研究	講義	1			○						
	MS office 演習Ⅰ	演習		1	○	○						
	MS office 演習Ⅱ	演習		1					○	○		
	スポーツ実習	実習		1	○			○				
専門教育科目	外国語Ⅰ	講義	2			○						
	外国語Ⅱ	講義	2						○	○		
	ライティング&グラマーⅠ	講義		2				○				
	ライティング&グラマーⅡ	講義		2							○	
	英会話Ⅰ	演習	2		○	○						
	英会話Ⅱ	演習	1					○				
	英会話Ⅲ	演習		2					○	○		
	英会話Ⅳ	演習		2							○	○
	韓国語Ⅰ	講義		2	○	○						
	韓国語Ⅱ	講義		2						○		
	韓国語会話	演習		1				○				
	中国語Ⅰ	講義		2	○	○						
	中国語Ⅱ	講義		2						○		
	中国語会話	演習		1				○				
	外国語検定Ⅰ	講義		2	○							
	外国語検定Ⅱ	講義		2					○			
	総合日本語A	講義		2			○					
	総合日本語B	講義		2			○					

[illegible]

科目区分	授業科目	授業の方法	単位数		1 年				2 年			
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成
専門教育科目	ギャップイヤー	ギャップイヤー事前指導	講義	2		○	○					
		海外文化事情（留学）Ⅰ （アジア圏短期研修）	実習		2			○				
		海外文化事情（留学）Ⅱ （英語圏短期研修）	実習		2			○				
		海外文化事情（留学）Ⅲ （中期留学）	実習		6			○	○			
		インターンシップⅠ	実習		2			○				○
		インターンシップⅡ	実習		2			○	○			
		インターンシップⅢ	実習		2			○				○
		インターンシップⅣ	実習		2						○	
		実践Awesome Sasebo! （サービスラーニング）Ⅰ	実習		2			○				
		実践Awesome Sasebo! （サービスラーニング）Ⅱ	実習		2			○				
		実践Awesome Sasebo! （サービスラーニング）Ⅲ	実習		2			○				
		実践Awesome Sasebo! （サービスラーニング）Ⅳ	実習		2			○				
		ギャップイヤー事後指導	講義	2					○			
	卒業研究	講義	2									○
合 計			33	94								

卒業の要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在学し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 一 基礎教育科目については、必修5単位を含め8単位以上
- 二 専門教育科目「コミュニケーション」については、必修7単位を含め11単位以上
- 三 専門教育科目「多文化理解」については、必修2単位を含め5単位以上
- 四 専門教育科目「キャリアデザイン」については、必修6単位を含め11単位以上
- 五 専門教育科目「課題解決」については、必修7単位以上
- 六 専門教育科目「ギャップイヤー」については、必修4単位を含め8単位以上
- 七 専門教育科目「卒業研究」については必修2単位
- 八 自由選択*10単位以上
- 九 基礎教育科目、専門教育科目、自由選択科目の合計が62単位以上

※自由選択とは、それぞれの領域の最低修得単位数を超えて修得した単位、単位互換制度によって修得した単位を指す。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
中野 明人			

講義概要	①心理学の歴史（流れ）について学ぶ。さまざまな心理検査を通して自分を知る。性格の形成について学ぶ。 ②第一印象の形成、対人認知、過剰適応について学ぶ。 ③男女関係の心理、夫婦関係の心理、親子・家族関係の心理について学ぶ。 ④現代社会の様々な問題（犯罪や非行の心理的背景、摂食障害、依存症）について学ぶ。 ⑤セルフカウセリング（コラージュ療法、ロールレタリング）について学び実際に体験する。さまざまな心理療法について学ぶ。		
授業計画	1	心理学を学ぶにあたって ①心理学を学ぶにあたって。 ②心理学の歴史や心理学が何を研究対象にしているのかについて学ぶ。 学習課題 復習： 予習：フロイト、ユング、来談者中心療法について調べておく。	
	2	自分について知ろう ①性格って何？ ②エゴグラムを使って自分の行動特徴について知る。 学習課題 復習：前回のプリントをしっかりと読み込んでおく。 予習：エゴグラムという用語を調べておく。	
	3	人とうまく付き合うために① ①第一印象の大切さについて学ぶ。 ②人と親密になるには、ということについて学ぶ。 ③自分と似た人違う人、について学ぶ。 学習課題 復習：自分の行動特徴を再確認する。 予習：自分の第一印象について周囲に聞いておく。	
	4	人とうまく付き合うために② ①好かれる人ってどんな人、「対人魅力」について学ぶ。 ②なぜ人付き合いで疲れるのか、についてその理由について学ぶ。 ③いい人はつらい？過剰適応にならないために何が必要かについて学ぶ。 学習課題 復習：自分の第一印象を確認し、望ましい自分のイメージを持つ。 予習：対人魅力という言葉の意味を調べておく。	
	5	集団の心理学 ①集団で浮く人とは。セルフモニタリングについて学ぶ。 ②リーダーシップとは。さまざまなリーダーについて知り、望ましいリーダーに求められる資質について学ぶ。 ③PM理論について学ぶ。 学習課題 復習：対人魅力となる要素を自分にあてはめて振りかえる。 予習：ストレスコーピングという言葉調べておく。	
	6	コミュニケーションスキル ①ストレスをためないために。アサーションについて知り、実践してみる。 ②相手を説得する方法。上手に相手を説得するにはどうすればいいか、説得力のある話し方について学ぶ。 ③心の知能指数（EQ）。心の知能指数について、実際に自分で経験をしてみる。特に得意な分野を意識して行動する。 学習課題 復習：PM理論をについて再確認し、自分が理想とするリーダー像を作る。 予習：アサーションという言葉調べておく。	
	7	男女関係の心理学① ①男女の脳差とコミュニケーション。その違いについて脳科学の観点から理解する。 ②友情と恋愛。友情と恋愛の違いを知る。 ③恋心を抱くとき。恋心を抱くには、相手の魅力だけでなく環境的条件も必要であることを学ぶ。 学習課題 復習：EQを高めるにはどうすればいいかについて知る。 予習：LoveとLikeの違いについて知る。	
	8	男女関係の心理学② ①恋愛の心理学。恋愛の種類について知る。 ②パートナーと別れられない人。どうして好ましくない恋愛から逃れられないのかについて学ぶ。 ③共依存の関係について学ぶ 学習課題 復習：友情と恋愛の違いについて復習しておく。 予習：共依存という言葉調べておく。	
	9	心理療法①セルフカウセリングとしてコラージュ両方を体験してみる ①コラージュ療法の歴史について学ぶ。 ②さまざまなコラージュ療法について学ぶ。	

	③実際に体験してみる。 学習課題 復習：共依存にならないためにはどうすればいいかを復習する。 予習：コラージュの実例を調べておく。 1 0 夫婦関係の心理学 ①よい夫婦は病気を予防する。病気とコミュニケーションの関係について学ぶ。 ②円滑な夫婦間コミュニケーション。よりよい夫婦間のコミュニケーションについて学ぶ。 学習課題 復習：コラージュ療法の歴史を知る。 予習：実際に自分の周囲の夫婦関係を調べて、病気との関係について考える。 1 1 家族関係の心理学 ①成熟した親子関係について学ぶ。 ②生まれた順番と性格。長男長女や末っ子の性格特徴を知る。また次男(次女)三男(三女)の特徴を知る。 ③家族のあり方と親の役割。望ましい家族関係について考える。現代社会における親の役割の重要性について知る。 学習課題 復習：病気とコミュニケーションの関係について振り返る。 予習：自分の性格についてまとめておく。 1 2 犯罪と非行の心理学 ①犯罪の心理。犯罪者の特徴について学ぶ。 ②非行の心理。非行を生み出す原因について、さまざまな理論について学ぶ。 ③どうすれば犯罪や非行は防げるか。社会的絆の理論について学ぶ。 学習課題 復習：自分自身の親子関係について振り返る。 予習：最近起こった事件について調べておく。(新聞やニュースなどで) 1 3 困っている人の心理学 ①さまざまな依存症について知る。アルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存、インターネット依存症、ゲーム依存症の原因とそのメカニズムについて学ぶ。 ②いい子たちの叫び、摂食障害について学ぶ。摂食障害の背景について知り、その対処法について学ぶ。 ③アダルトチルドレンについて学ぶ。その社会的背景について知り理解する。 学習課題 復習：社会的絆の理論について、自分自身に当てはめて考えておく。 予習：アダルトチルドレンという言葉調べておく。 1 4 夢について ①夢と睡眠の関係について学ぶ。環境的な要因についても学ぶ。 ②心理学における夢の理解について、その歴史的な経緯について学ぶ。 ③夢の分析について学ぶ。場面や登場人物についてそれが何を意味するかについて知る。 学習課題 復習：さまざまな依存症について振り返る。 予習：最近見た夢などについて記録しておく。 1 5 心理療法② セルフカウンセリングとしてロールレタリングを体験する ①ロールレタリングの歴史について学ぶ。 ②ロールレタリングの意義について学ぶ。 ③実際に体験してみる。 学習課題 復習：夢の持つ意味について振り返る。 予習：ロールレタリングという言葉調べておく
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分自身について理解し、説明できるようになる ②人と上手に付き合う方法について理解し、説明できるようになる ③さまざまな人間関係の心理について理解し、説明できるようになる ④現代社会の特徴と心理学の関係について理解し、説明できるようになる ⑤セルフカウンセリングを実際に体験し、自分自身の変化を説明できるようになる
	①毎回、授業後の小レポートを提出してもらいます。(それに対してコメントを返します)。
	①授業後の小レポート(100%)
教科書・参考書	テキスト：特に使用しない。必要な事項についてはプリントを準備する。 参考書：随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	・授業計画は基本的な流れを示したもので、各領域担当教員によって内容を具体化した学習活動を行う。 ・選択した文化の領域だけではなく、広く日本文化全般および日本の生活文化についての理解に努めること。 ・教材費等の必要経費は履修者負担とする。
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	心理学は比較的関心を持ってもらいやすい科目ですが、自分自身をより知るためにも積極的に受講して欲しいと思います。毎回ちょっとした心理テストも行いますが、よりよい自分の方向性を見つけるヒントになれば幸いです。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	1単位	必修
担当教員			
章 潔			

講義概要	本授業は、古代より日本と大陸の架け橋であった、日本の西端に位置する長崎県を取り上げる。かつて西洋・中国・朝鮮に開かれた窓として、異国の文化を受け入れながら、多くの人と交流し、栄えてきた長崎県は、独自の歴史と文化を有している。その一方、全国的に地方の景気停滞、人口減少、少子・高齢化が進行している中、長崎県は特に著しい人口減少・流出や厳しい経済状況に見舞われている。しかし、長崎県において、特有の歴史・文化を生かした多種多様なまちづくりが推進されている。 この授業では、本短期大学の所在地である長崎県の魅力に迫り、あわせてまちづくりの視点からさまざまな課題について考察することを目標としている。		
授業計画	1	導入：長崎とまちづくり 学習課題 復習：インターネットで長崎県について調べておく。 予習：テキスト3頁～11頁 ① 長崎研究の概要 ② 長崎について ③ まちづくりについて ④ 長崎とまちづくり	
	2	長崎開港 学習課題 復習：テキスト3頁～11頁 予習：テキスト21頁～26頁 ①長崎の範囲 ②ポルトガル人と平戸 ③大村純忠の受洗 ④長崎開港とキリスト教	
	3	キリシタン対策と長崎くんち 学習課題 復習：テキスト21頁～26頁 予習：テキスト38頁～55頁 ①バテレン追放令 ②禁教令 ③「処刑」から「棄教」へ ④長崎くんちの誕生	
	4	長崎くんちの諸相 学習課題 復習：テキスト38頁～55頁 予習：テキスト31頁～37頁 ① 年番町 ② 小屋入り ③ 庭見せ、人数揃い ④ 前日、中日、後日 ⑤ 奉納踊 ⑥ 庭先回り	
	5	長崎の和・華・蘭文化（中国を中心に） 学習課題 復習：テキスト31頁～37頁 予習：テキスト109頁～121頁 ①長崎華僑 ②長崎新地中華街 ③ランタンフェスティバル	
	6	長崎の地域ブランド 学習課題 復習：テキスト109頁～121頁 予習：テキスト167頁～182頁 ①地域ブランドとは ②長崎の龍踊り ③伝統堅持と観光利用	
	7	協働と共生 学習課題 復習：テキスト109頁～121頁 予習：テキスト143頁～165頁 ① 協働とは ② 共生とは ③ ランタンフェスティバルにおける協働 ④ 中華街と他の商店街との共生	
授業形態	講義		

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 長崎の歴史や文化、まちづくりに関心を示し、課題に取り組むことができる。 ② 長崎の自然景観や史跡・文化財をまちづくりの材料として活用する方法を提案できる。 ③ 長崎の歴史や文化、まちづくりに関する用語や事象を理解できる。 ④ 経験者（2年生）と積極的に交流し、学外学修経験に備える。 ⑤ 再認識した長崎の文化の特性を見直し、異文化間交流の際に助力にできるようにする。
	授業中の学習態度・意欲、定期試験の結果によって総合的に評価する。
	授業態度・授業への参加30%、宿題・授業外レポート30%、定期試験40%。
教科書・参考書	教科書：『長崎の祭りとまちづくり』、章潔、長崎文献社。
履修条件	平成28年度以降の入学者
履修上の注意	本授業は「長崎を知る」ということを目標とし、多種多様な課題について、継続的に聞き、理解する努力を重ねることによって、多文化理解力を身につけるものである。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	学生には長崎とまちづくりに興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組むことを期待する。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	1単位	必修
担当教員			
久田 裕己 / 頼原 真理			

講義概要	①タイピング方法を基礎から学習し、タッチタイピングを身につけスピードアップ練習を行う（ワープロ3級レベル） ②Wordを基礎から学習し、文章の入力やコピーなどの操作、ビジネス文書作成に必要な操作方法を学習する ③Excelを基礎から学習し、計算式の組み立てや関数の使い方、表の装飾、グラフの作成方法を学習する		
授業計画	1	オリエンテーション コンピュータ室利用のきまりと、パソコンへのログイン方法、ファイルの保存方法 ホームポジション、タッチタイピング 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：大学内でのファイルの保存場所や各自でログインができるようにする	
	2	Word基礎（1） タイピング、スピードアップ練習 文字入力（五十音・濁音・半濁音・拗音・促音・漢字変換） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	3	Word基礎（2） タイピング、スピードアップ練習 文字入力（アルファベット、変換の訂正、入力ミスの訂正） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	4	Word基礎（3） タイピング、スピードアップ練習 Word基本操作（リボン操作・範囲選択・コピーと移動） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	5	Word基礎（4） タイピング、スピードアップ練習 ビジネス文書作成（ページ設定、文章入力、文書編集） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：指示されたビジネス文書作成ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う	
	6	Word基礎（5） タイピングの10分測定 表の作成（表挿入、セルの結合・分割、セルの装飾） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：指示された表枠の挿入ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う	
	7	Word基礎（6） タイピングの10分測定 表の編集（行列の追加と削除、線種変更） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：指示された表の装飾ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う	
	8	Word基礎のまとめ タイピング課題（350文字文章）の10分測定 課題作成（ビジネス社外文書） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ビジネス社外文書を完成させ、印刷し提出を行う	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	1 単位	必修
担当教員			
小浦 康平			

講義概要	MS Wordの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。日本語能力を養うために日本語タイピング練習を毎回行います。授業課題のレベルはワープロ検定2級を目標にスキルを高めてもらいます。漢字ひらがなカタカナを交えた文書や会話文をタイピングを通じて理解を深めてもらいます。		
授業計画	1	オリエンテーション コンピュータ室利用のきまりの説明。Wordの基本的な操作方法の演習。タイピング練習。 学習課題 前回の復習：この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。	
	2	Wordの基本操作1 見本プリントを参考に文字入力の基本及び装飾について学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	3	Wordの基本操作2 見本のプリントを参考に図形描画の使い方を学び、ひとりでも扱えるように操作方法を習得します。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	4	Wordの基本操作3 見本のプリントを参考にイラストや写真の挿入方法を学び、ひとりでも扱えるように操作方法を習得します。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	5	ポスター作成演習1 Wordを使って、商品紹介チラシを作成します。4回目までの内容に加え、バリエーション豊かな装飾など、手数が多くなります。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	6	ポスター作成演習2 前回に引き続き、Wordを使ったポスター作成演習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	7	ポスター作成演習3 前回に引き続き、Wordを使ったポスター作成演習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	8	研修レポートの作成1 研修授業についてレポートを作成します。これまで習得したスキルを存分に発揮し、デザインよく仕上げてください。授業評価に用いますので必ず期限内に提出してください。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	9	研修レポートの作成2 研修授業についてレポートを作成します。これまで習得したスキルを存分に発揮し、デザインよく仕上げてください。授業評価に用いますので必ず期限内に提出してください。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	10	研修レポートの作成3 研修授業についてレポートを作成します。これまで習得したスキルを存分に発揮し、デザインよく仕上げてください。授業評価に用いますので必ず期限内に提出してください。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	11	文書デザイン検定模擬演習1 日本人クラスと同じく文書デザイン検定試験の模擬演習を行います。2級目標ですが、到達レベルによっては3級をチャレンジ目標とします。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	12	文書デザイン検定模擬演習2 日本人クラスと同じく文書デザイン検定試験の模擬演習を行います。2級目標ですが、到達レベルによっては3級をチャレンジ目標とします。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	13	日本語タイピング演習 読む、書く、聞く、だけでなくタイピングによって日本語文章力の理解を深めるとともに日本語のタイピングスピードアップを図ります。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	14	実用的なパンフレット作成演習1	

	見本プリントを基に、実用的なパンフレットの作成演習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習： 実用的なパンフレット作成演習2 見本プリントを基に、実用的なパンフレットの作成演習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：
15	
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①コンピュータの利用上のきまり ②教室のコンピュータのアプリケーションの概要 ③正確な日本語タイピング方法の習得 ④正確で美しい文書の作成 ⑤MS Wordの一般的な操作方法の習得 課題提出（50%）、習熟度（30%）、授業中の態度（20%） 授業に対するモチベーション、課題作成の完成度、アプリケーションの習熟度を重視します。
教科書・参考書	毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業期間中の毎週月曜日もしくは火曜日の放課後。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

	9 Excel基礎（1） Excelの基本操作（表計算の基本用語と概念、画面構成、データ入力の基礎、オートフィル） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：効率の良い範囲選択や自動入力など、テキストを見直して例題を解く 10 Excel基礎（2） 計算式（加減乗除）、関数（合計、平均、カウント、最大、最小） 学習課題 復習：計算式の作成と関数の使用（オートSUM）の練習問題を行う 11 Excel基礎（3） セルの書式設定（フォント・配置・罫線・表示形式）、行列の操作 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：指示された書式を自由に設定できるよう、テキストを見直して練習問題を行う 12 Excel基礎（4） さまざまな関数（順位の設定・条件の判定）、割合の計算 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 13 Excel基礎（5） グラフ作成（棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたグラフに必要なデータの選択やグラフの装飾ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 14 Excel基礎（6） ページ設定・印刷設定（拡大縮小・余白・ヘッダーフッター） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：作成した表とグラフをバランスよく印刷できるよう、テキストを見直して練習問題を行う 15 Excel基礎のまとめ 総復習・課題作成（売上表・売上グラフ） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：指示された売上表とグラフを完成させ、印刷し提出を行う
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①正確でスピーディなタイピングを行うことができ、10分間で350文字（3級レベル）の入力を行うことができる ②ビジネスで活用する文書の形式を理解し、正確に作成することができる ③計算式や関数を使った表計算を行うことができ、必要に応じたグラフ作成や印刷などを行うことができる
	積み上げ式の授業内容となるため、授業の中で提出する課題作成を重視する。
	タイピングの測定課題：20% 文書作成（Word）の課題：30% 表計算（Excel）の課題：50%
教科書・参考書	テキスト：MsOffice演習Ⅰ（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1thQ & 2thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
久田 裕己			

講義概要	①タイピングを習得し、原稿を見ないで打つタッチタイピングを身につける（ワープロ2級レベル） ②Wordの文書作成応用・図形描画応用など、文書の活用・編集技能を身につける ③Excelの関数応用・データの集計・上級グラフの活用・編集技能を身につける		
授業計画	1	Word基礎復習 タイピングの10分測定 ビジネス文書作成・表作成 3級レベルの復習 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	2	Word応用（1） タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成1（セルの分割と結合） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	3	Word応用（2） タイピング、スピードアップ練習 複雑な表作成2（複合表） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	4	Word応用（3） タイピング、スピードアップ練習 図形の基本操作（移動・コピー・拡大縮小） 図形の挿入と編集（ワードアート・オートシェイプ・クリップアート） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	5	Word応用（4） タイピング、スピードアップ練習 図形の挿入と編集（テキストボックス） 図形を使った地図の作成 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	6	Word応用（5） タイピング、スピードアップ練習 段落設定（段組・段区切り・セクション区切り） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する	
	7	Word応用まとめ タイピング課題（500文字文章）の10分測定 課題作成（ビジネス社外文書） 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：課題を完成させ、印刷し提出を行う	
	8	Excel基礎復習 計算式・基本関数を使った表作成 3級レベルの復習 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。	

	復習：基本的な計算式や関数を使った表作成がスムーズにできるよう、テキストを見直して練習を行う 9 Excel応用 (1) 関数 1 (IF・AND・OR) 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 10 Excel応用 (2) 関数 2 (VLOOKUP・HLOOKUP・LEFT・RIGHT・MID) 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 11 Excel応用 (3) 関数 3 (SUMIF・COUNTIF) 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じた関数の利用ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 12 Excel応用 (4) データベース (データの並べ替え・抽出) 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたデータの抽出等ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 13 Excel応用 (5) データベース (データの集計) 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたデータの集計ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 14 Excel応用 (6) 上級グラフ (折れ線と縦棒の複合グラフ) 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：目的に応じたグラフの作成ができるよう、テキストを見直して練習問題を行う 15 Excel応用まとめ 課題作成 (関数を使った表作成・データベース・グラフ作成) 学習課題 予習：次の回の作業内容をテキストで確認しておく。 復習：課題を完成させ、印刷し提出を行う
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①正確でスピーディなタイピングを行うことができ、10分間で500文字 (2級レベル) の入力を行うことができる ②複雑な表作成・文字の装飾・オブジェクトの活用により文書の作成・編集・構成を行うことができる ③関数式の設定による表作成やデータの集計・抽出、高度なグラフ作成を行うことができる
	積み上げ式の授業内容となるため、授業の中で提出する課題作成を重視する
	タイピングの測定課題：20% 文書作成 (Word) の課題：30% 表計算 (Excel) の課題：50%
教科書・参考書	テキスト：MsOffice演習Ⅱ (テキスト代：1,000円)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
小浦 康平			

講義概要	MS wordの一般的な操作方法と便利な機能を実践形式で学びます。また、日本情報処理検定協会のワープロ検定や文書デザイン検定試験対策も行います。ビジネス文書作成、ポスターチラシなどの作成演習も行います。毎回必ず授業の冒頭にタイピング練習を行います。		
授業計画	1	Wordを使ったパンフレット作成復習 見本を基にWordを使ったパンフレット作成復習を行います。 学習課題 前回の復習： この授業の予習：タイピングの基本ポジションを予習しておく。	
	2	Excelの基本操作の復習 サンプルデータを基にExcelの基本操作の復習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	3	Powerpointの基本操作の復習 見本のプリントを参考にPowerpointの基本操作の復習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	4	ビジネス文書の作成1 日本語でのビジネス文書の作成演習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：就職活動に必要な履歴書を準備する。	
	5	ビジネス文書の作成2 英語でのビジネス文書の作成演習を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	6	ホームページ演習1 ホームページの基本であるhtmlについて学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	7	ホームページ演習2 前回に引き続き、htmlの基本とホームページの目的や制作手順、仕組みについて学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	8	情報モラルとセキュリティ1 コンピュータウイルスやネット社会のモラルやマナー、日常利用に役立つ知識などを学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	9	情報モラルとセキュリティ2 前回に引き続き、個人情報の権利や危険性、日常利用に役立つ知識などを学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	10	Powerpointのスライド作成演習1 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	11	Powerpointのスライド作成演習2 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	12	Powerpointのスライド作成演習3 サンプルデータを基にプレゼンテーション用資料の作成および実践的な印刷の方法について学びます。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	13	検定試験対策 7月上旬実施予定のワープロ検定、文書デザイン検定、プレゼンテーション検定、スピード認定試験、表計算検定について検定試験対策を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：どの検定試験（級）にチャレンジするか決めておく。	
	14	実用的なパンフレット製作1 難易度がやや高めの実用的なパンフレットの製作を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：	
	15	実用的なパンフレット製作2	

	難易度がやや高めの実用的なパンフレットの製作を行います。 学習課題 前回の復習：基本ポジションから速くて正確なタイピングができるように練習する。 この授業の予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字入力の手速と正確さを習得する ②正確で美しい文書の作成ができるようになる ③社内外の実務文書の作成ができるようになる ④広告文書を作成できるようになる ⑤ワープロ検定試験、文書デザイン検定の2級レベル以上
	課題提出（50％）、習熟度（30％）、入学後の進歩の状況及び授業中の態度（20％）
	授業に対するモチベーション、課題作成の完成度、アプリケーションの習熟度を重視します。
教科書・参考書	毎回、プリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業期間中の毎週月曜日もしくは火曜日の放課後。
備考・メッセージ	毎回の課題提出が評価に繋がるので休んだ場合も必ず提出する事。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
ルーク・ロベージュ			

講義概要	①健康調査をおこなう 体力テストをおこなう 体力評価をおこなう ②さまざまなスポーツのルールを理解できる 試合での実践ができる 意欲的な活動ができる ③チームを編成することができる チームでの練習ができる チームでの試合ができる ④トレーニング論を理解する 基礎トレーニングを理解する チームでの試合ができる ⑤生活習慣を見直す 自分に合った運動プログラムを考える 今後のライフスタイルと運動を考える		
授業計画	1	体力テスト 新体力テストの実施	
	2	トレーニング理論 有酸素トレーニングと筋力トレーニングの実践	
	3	バドミントン① ルールの理解と基本練習	
	4	バドミントン② リーグ戦形式によるゲーム	
	5	バドミントン③ リーグ戦形式によるゲーム	
	6	バドミントン④ リーグ戦形式によるゲーム	
	7	バレーボール① ルールの理解と基本練習	
	8	バレーボール② リーグ戦形式によるゲーム	
	9	バレーボール③ リーグ戦形式によるゲーム	
	10	卓球① ルールの理解と基本練習	
	11	卓球② シングルスまたはダブルスのゲーム	
	12	バスケットボール① ルールの理解と基本練習	
	13	バスケットボール② リーグ戦形式によるゲーム	
	14	バスケットボール③ リーグ戦形式によるゲーム	
	15	まとめ 自分に適した運動を考える	
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分の健康と体力に関心をもつ ③スポーツを通じたコミュニケーション能力の向上 ⑤体力年齢の向上 ②運動・スポーツの楽しさを味わう ④運動技術・知識の向上		
	課題への取り組み、授業内レポート、体力テスト、実技テスト、成果レポートを総合して評価を行う。		
	課題への取り組み50%、授業内レポート20%、体力テスト10%、実技テスト10%、成果レポート10%		
	課題への取り組み、授業内レポート、体力テスト、実技テスト、成果レポートを総合して評価を行う。		
	課題への取り組み50%、授業内レポート20%、体力テスト10%、実技テスト10%、成果レポート10%		
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて資料を配布		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】ストレッチや準備運動をしてけがの防止に役立てること。 実技向上のために個人練習をしておくこと。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 4thQ	1 年	1 単位	選択
担当教員			
野田 章子			

講義概要	①健康調査をおこなう 体力テストをおこなう 体力評価をおこなう ②さまざまなスポーツのルールを理解できる 試合での実践ができる 意欲的な活動ができる ③チームを編成することができる チームでの練習ができる チームでの試合ができる ④トレーニング論を理解する 基礎トレーニングを理解する チームでの試合ができる ⑤生活習慣を見直す 自分に合った運動プログラムを考える 今後のライフスタイルと運動を考える		
授業計画	1	体力テスト 新体力テストの実施	
	2	トレーニング理論 有酸素トレーニングと筋力トレーニングの実践	
	3	バドミントン① ルールの理解と基本練習	
	4	バドミントン② リーグ戦形式によるゲーム	
	5	バドミントン③ リーグ戦形式によるゲーム	
	6	バドミントン④ リーグ戦形式によるゲーム	
	7	バレーボール① ルールの理解と基本練習	
	8	バレーボール② リーグ戦形式によるゲーム	
	9	バレーボール③ リーグ戦形式によるゲーム	
	10	卓球① ルールの理解と基本練習	
	11	卓球② シングルスまたはダブルスのゲーム	
	12	バスケットボール① ルールの理解と基本練習	
	13	バスケットボール② リーグ戦形式によるゲーム	
	14	バスケットボール③ リーグ戦形式によるゲーム	
	15	まとめ 自分に適した運動を考える	
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分の健康と体力に関心をもつ ③スポーツを通じたコミュニケーション能力の向上 ⑤体力年齢の向上 ②運動・スポーツの楽しさを味わう ④運動技術・知識の向上 課題への取り組み、授業内レポート、体力テスト、実技テスト、成果レポートを総合して評価を行う。 課題への取り組み50%、授業内レポート20%、体力テスト10%、実技テスト10%、成果レポート10%		
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて資料を配布		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します		
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】ストレッチや準備運動をしてけがの防止に役立てること。 実技向上のために個人練習をしておくこと。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	日常生活の話題や出来事について、英語で自分の考えを伝える際に必要となる基礎的な語彙や英文法事項を学ぶ。語彙と文法については毎回復習テストを行い、定着を図る。具体的には、NHKで報道された最近の話題15項目の音声映像を使い、特に、文法、語彙、リスニング、英文理解力を高める。		
授業計画	1	'Manga Message for the Young 漫画家ミサコ・ロックスー若者へのメッセージ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	2	'Jumping for Victory ダブルダッチ選手権一神業集合 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	3	Seeking Quality over Cost 売れる店はこう作れ！ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	4	'Geeting Dads Home Earlier イクメンボス企業一長時間労働を変える 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	5	'Plugging Privacy 「ぼっち」消費ニーズの多様化に応える 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	6	'Recycling Messages of Hope 折り鶴再生で平和祈念 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	7	'Breaking Out 建築物の未来形ー発泡ポリスチレン 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	8	'A Barrier-free Welcome バリアフリーホテルー北の大地でお出迎え 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	9	'Helping in Times of Disaster 弱者を守る取り組みー挑戦は続く 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	10	'Right on Track カーレーサー井原慶子ー挑戦は続く 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	11	'Refining Japanese Art 神の手ニッポン展 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	12	'Japanese Conbini Comes to Dubai 日本式コンビニ、中東へ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	13	'Mix Masters 「混ぜる」に商機	

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14 'Virtual Connections バーチャルリアリティの新たな可能性 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15 'Questing Labor Practices ブラックバイトの現状－学生の手を守れ！ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16 まとめと評価 まとめと評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1) TOEIC500点以上を獲得する。 2) 時事英語で使われる単語や文法を理解し、英語のニュースが聞き取れる。 3) 最近のニューストピックの記事内容を理解する。 4) 基本的な時事に関する英文を書ける。 5) 英語ニュースを正しい発音で音読する。 授業への積極的な参加度、小テスト、最終テストで総合的に評価する。 筆記試験（80％）、小テストと授業への参加度（20％）
教科書・参考書	What's on Japan 11 - NHK English News Stories Kinseido
履修条件	
履修上の注意	予習・復習を必ずやること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-16:20）
備考・メッセージ	語学は自学が非常に大切です。授業以外でも毎日、継続的に学習してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1 年	2 単位	必修
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングル文字の組み合わせと正確な発音方法を学ぶ。簡単な短文を作成するため基礎文法を学習しながら短い文を実際の会話に使用できるように練習する。		
授業計画	1	イントロダクション 授業の進め方の説明、ハングルについて説明	
	2	基礎フレーズ 挨拶の言葉、教室の言葉 文字と発音の復習	
	3	第1課 私は日本人です。 体言語尾/指定詞/丁寧形	
	4	第2課 学生ではありません。 体言語尾/指定詞/存在詞	
	5	第3課 コーヒーは飲みません。 体言語尾/動詞と形容詞/否定の副詞	
	6	第4課 これはいくらですか。 指示代名詞と疑問詞/指定詞の中称形/漢字語数字	
	7	振り返り 復習及び小テスト	
	8	第5課 朝10時から試験があります。 体言語尾/存在詞の中称形/固有語数詞	
	9	第6課 語幹Ⅰ 意志/願望形/進行形/否定形/逆説	
	10	第7課 語幹Ⅱ 可能・不可能形/尊敬語/勧誘形/命令形/理由	
	11	第8課 連体形	
	12	第9課 語幹Ⅲ 中称形/過去形/許可表現	
	13	第10課 変格活用用言	
	14	会話練習 作文と会話練習	
	15	まとめ 全体を振り返る	
授業形態	講義・演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①ハングルの文字と発音をしっかりと学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。		
	授業参加度、小テスト、課題・グループワーク、期末テストの結果から総合的に判断する。		
	授業参加度（20％）、小テスト（20％）、課題・グループワーク（20％）、期末テスト（40％）		
教科書・参考書	テキスト：話せる初級韓国語 朝日出版社		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後に対応します。		
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1 年	2 単位	必修
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングル文字の組み合わせと正確な発音方法を学ぶ。簡単な短文を作成するため基礎文法を学習しながら短い文を実際の会話に使用できるように練習する。		
授業計画	1	イン트로ダクション 授業の進め方の説明、ハングルについて説明 学習目標 復習 なし 予習 基礎フレーズについて調べる	
	2	基礎フレーズ 挨拶の言葉、教室の言葉、文字と発音の復習 学習目標 復習 授業の進め方の説明、ハングルについてもう一度確認する 予習 第1課の内容について調べる	
	3	第1課 私は日本人です。 体言語尾/指定詞/丁寧形 学習目標 復習 第1課の内容についてもう一度確認する 予習 第2課の内容について調べる	
	4	第2課 学生ではありません。 体言語尾/指定詞/存在詞 学習目標 復習 第2課の内容についてもう一度確認する 予習 第3課の内容について調べる	
	5	第3課 コーヒーは飲みません。 体言語尾/動詞と形容詞/否定の副詞 学習目標 復習 第3課の内容についてもう一度確認する 予習 第4課の内容について調べる	
	6	第4課 これはいくらですか。 指示代名詞と疑問詞/指定詞の中称形/漢字語数字 学習目標 復習 第4課の内容についてもう一度確認する 予習 小テストを準備する	
	7	振り返り 復習及び小テスト 学習目標 復習 小テストの内容についてもう一度確認する 予習 第5課の内容について調べる	
	8	第5課 朝10時から試験があります。 体言語尾/存在詞の中称形/固有語数詞 学習目標 復習 第5課の内容についてもう一度確認する 予習 第6課の内容について調べる	
	9	第6課 語幹 I 意志/願望形/進行形/否定形/逆説 学習目標 復習 第6課の内容についてもう一度確認する 予習 第7課の内容について調べる	
	10	第7課 語幹 II 可能・不可能形/尊敬語/勧誘形/命令形/理由 学習目標 復習 第7課の内容についてもう一度確認する 予習 第8課の内容について調べる	
	11	第8課 連体形 学習目標 復習 第8課の内容についてもう一度確認する 予習 第9課の内容について調べる	
	12	第9課 語幹 III 中称形/過去形/許可表現	

	学習目標 復習 第9課の内容についてもう一度確認する 予習 第10課の内容について調べる 1 3 第10課 変格活用用言 学習目標 復習 第10課の内容についてもう一度確認する 予習 韓国語作文と会話について調べる 1 4 会話練習 作文と会話練習 学習目標 復習 韓国語作文と会話についてもう一度確認する 予習 今まで勉強した内容をまとめる 1 5 まとめ 全体を振り返る 学習目標 復習 今まで勉強した内容についてもう一度確認する 予習 なし
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価 手段・方法、評価 比率	①ハングルの文字と発音をしっかり学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。
	授業参加度、小テスト、課題・グループワーク、期末テストの結果から総合的に判断する。
	授業参加度（20％）、小テスト（20％）、課題・グループワーク（20％）、期末テスト（40％）
教科書・参考書	必要な資料を配布します。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	この講義はさまざまなテーマの日本語を聞き、聴解・聴読解を行なう授業である。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 復習：オリエンテーションの内容を配布物等でしっかり把握し、15回の授業の展開をイメージする。	
	2	聴解の基礎1 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 復習：「繰り返しの練習」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	3	聴解の基礎2 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	4	聴解1 留学生ライフに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	5	聴解2 キャンパス事務手続きに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	6	聴解3 講義中の話題に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	7	聴解4 日常生活の会話に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	8	聴読解1 留学生ライフに関する聴読解練習1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	9	聴読解2 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	10	聴読解3 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習2 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	11	聴読解4 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習3 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	12	聴読解5 講義中の話題に関する聴読解練習1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	13	聴読解6 講義中の話題に関する聴読解練習2 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	

	14 総合実践1 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 15 総合実践2 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①自然に近い速さの講義の内容を聞き取れる。 ②テーマに関係する語彙の聞き取りができる。 ③テーマに関係する文章の内容が理解できる。 ④テーマについて、自分の身近なことを考え、話すことができる。 ⑤日本語能力試験の取得を目指す。（上級：N2、中級：N3） 評価方法 平素の学習意欲（20%） 発言や発表（30%） 日頃の小試験や授業後の試験（50%）
教科書・参考書	教科書：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	質問等があれば、木曜日3コマ目（13:10-14:40）に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	受講者の皆さんの活発な質疑応答を期待します。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	この講義はさまざまなテーマの日本語を聞き、聴解・聴読解を行なう授業である。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 復習：オリエンテーションの内容を配布物等でしっかり把握し、15回の授業の展開をイメージする。	
	2	聴解の基礎 1 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 復習：「繰り返しの練習」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	3	聴解の基礎 2 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	4	聴解 1 留学生ライフに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	5	聴解 2 キャンパス事務手続きに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	6	聴解 3 講義中の話題に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	7	聴解 4 日常生活の会話に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	8	聴読解 1 留学生ライフに関する聴読解練習 1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	9	聴読解 2 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習 1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	10	聴読解 3 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習 2 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	11	聴読解 4 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習 3 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	12	聴読解 5 講義中の話題に関する聴読解練習 1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	13	聴読解 6 講義中の話題に関する聴読解練習 2 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	

	14 総合実践 1 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 15 総合実践 2 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①自然に近い速さの講義の内容を聞き取れる。 ②テーマに関する語彙の聞き取りができる。 ③テーマに関する文章の内容が理解できる。 ④テーマについて、自分の身近なことを考え、話すことができる。 ⑤日本語能力試験の取得を目指す。（上級：N2、中級：N3） 評価方法 平素の学習意欲（20%） 発言や発表（30%） 日頃の小試験や授業後の試験（50%）
教科書・参考書	教科書：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	質問等があれば、木曜日 3 コマ目（13:10-14:40）に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	受講者の皆さんの活発な質疑応答を期待します。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5yhQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	外国語Ⅰで学習した内容を基礎に、さらに上のレベルの英語学習を行う。自分の弱点を理解し、効果的に4技能を伸ばす。特に、語彙数を増やし、英語独特の言い回し、イディオムなども理解する。		
授業計画	1	Small Talk いろいろな数値① 基本文型 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	2	Human Relations いろいろな数値② 分の種類 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	3	Culture and Globalization 発音しづらい語句 基本文型 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	4	Healthy Life 固有名詞（人名・地名など） 進行形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	5	Future Careers 簡単な挨拶文 完了形 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	6	That Shirt Suits You! 提案文、勧誘文 助動詞① 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	7	Taking a Trip 依頼文 助動詞② 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	8	Do you like Sports? Yes/No 疑問文 受動態 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	9	Let's Do Something Fun! wh疑問文 不定詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	10	At Appreciation 否定・付加疑問文 動名詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	11	Let's Eat Out! カジュアルな表現 分詞	

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 12 A Career in International Business フォーマルな表現 比較 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 13 Science for the Future 意味のかたまり（チャンク） 関係代名詞 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14 Technology and Modern Life 主張や理由を導くキーワード 話法 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15 Starving the Environmnet 名詞から話題をイメージする 特殊構文（強調・倒置・同格） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16 評価 まとめと評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1) 各レベルの英文を正しく理解する（読解）。 2) 各レベルの英語リスニングを正しく理解する（リスニング）。 3) 英語の文法を正しく理解する（文法）。 4) 日本語を英語に正しく訳す。 5) 学んだ英語を使い、□特定の話題について英語で会話をする。 授業中の小テストと最終の筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80％）、小テスト（20％）
教科書・参考書	Target! - pre-intermediate Kinseido
履修条件	
履修上の注意	毎回必ず予習・復習をおこなうこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50～16:20）
備考・メッセージ	英語学習は、根気よく、継続が必要です。毎回の予習・復習を必ずやるように習慣付けること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必修区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
園田 靖			

講義概要	日本人が英語を学習する際によくある間違い、勘違いしがちな単語の意味等について書かれたテキストを読むことを中心とする。リーディングだけでなく、語彙力や文法知識の強化をはじめ、四技能それぞれを伸ばすことを目的とし、同時に異なる文化間での言語に対する感覚の違いについても学ぶ。		
授業計画	1	sign in / sign up / sign out Web上でも見かける機会の増えてきた、上記の句動詞の違いについて学び、同時に前置詞のイメージ把握をめざす。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	2	sign in / sign up / sign out (2) 前回に引き続き、句動詞の意味の違いについて&前置詞のイメージ把握（2） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	3	Are you okay? / Is that okay? 「あなたは大丈夫ですか？」という曖昧な日本語表現に対応する英語表現について学び、基本的な疑問文の作り方についても復習する。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	4	Are you okay? / Is that okay? (2) 前回に引き続き、日本語表現と英語表現の対応について&疑問文の基本について（2） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	5	a / an / the 日本語話者にとってあまりなじみのない冠詞について、復習しつつ理解を深める。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	6	a / an / the (2) 前回に引き続き、冠詞の働きやそれぞれの違いについて（2） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	7	cost / price / fee / fare / toll 各種の料金など、お金にかかわる単語の違い・使い分けについて学び、支払いやお金にかかわる文化の違いについても紹介する。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	8	cost / price / fee / fare / toll (2) 前回に引き続き、単語の使い分け・語源などについて（2） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	9	drink medicine 薬を「飲む」という表現など、直訳で勘違いしてしまいがちな点について確認し、健康に関する各種表現についても学ぶ。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	10	drink medicine (2) 前回に引き続き、単語の意味の把握や関連した語彙などについて（2） 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	11	rehouse / rebuild / remodel 耳にする機会の多い単語について、和製英語化している現状の意味と本来の意味の違いを学び、使い分け方を知る。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。	
	12	rehouse / rebuild / remodel (2) 前回に引き続き、混同しがちな単語の意味について（2）	

	13 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 chance / opportunity 辞書では同じような訳語を当てられることの多い単語について、 語源などからどのように異なるのかを学ぶ。 14 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 chance / opportunity (2) 前回に引き続き、意味が似ている単語の使い分けについて (2) 15 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 step up / level up 和製英語として本来の意味から変化しつつあるイディオムについて、 元の意味を把握し、ほかの動詞＋前置詞の組み合わせについても学ぶ。 16 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：テキスト中のわからない単語について辞書で確認しておくこと。 評価テスト 筆記試験
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1) 英検2級に合格する程度の英語能力を身に着ける。 2) 単語は平易ながら比較的長さのある英文の内容を理解できる。 3) 論理的な文章構造について把握し、自身でもそれに基づいた英文を書ける。 4) 文章内容についての音声による問題を聞き取り、解答できる。 5) 正しい発音・イントネーションで英文を音読できる。
教科書・参考書	テキスト：授業の際にハンドアウトを配布します。
履修条件	
履修上の注意	予習・復習を忘れずに行ってください。
オフィスアワー	金曜日 (14:50～18:00)
備考・メッセージ	授業には辞書を持参してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
井上 麗奈			

講義概要	本講義は、中国語Ⅰで学習した内容を基礎のうえで、さらなるレベルアップすることを目的とする。講義では、授業内容に合わせて、中国の文化や習慣などを紹介し、より一層中国について理解することができる。		
授業計画	1	第一課 ？？ 中国人の収入や消費観念 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第二課の文型や分からない単語などを調べておくこと	
	2	第二課① 小学校前 中国の人口問題 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第二課の会話を熟読しておくこと	
	3	第二課② 小学校前 中国の学校事情 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第三課の分からない単語などを調べておくこと	
	4	第三課 早上的公？ 中国人の退職後 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第四課の分からない単語などを調べておくこと	
	5	第四課 年？人的就？？ 若者の就職事情 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第五課の分からない単語などを調べておくこと	
	6	第五課 相？ 中国人の恋愛と婚姻 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第六課の分からない単語などを調べておくこと	
	7	第六課 外甥的婚房 中国の住宅事情 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第七課の分からない単語などを調べておくこと	
	8	第七課 中国人の家族関係 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第八課の分からない単語などを調べておくこと	
	9	第八課 川菜 中国の料理の種類と各地料理の特徴 若者の飲食について 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第九課の分からない単語などを調べておくこと	
	10	第九課 中？医？ 中国の医療事情 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第十課の分からない単語などを調べておくこと	
	11	第十課 九九重？？ 中国の祝祭日について 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第十課の会話を熟読しておくこと	
	12	第十課 九九重？？ 中国の介護問題 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第十一課の分からない単語などを調べておくこと	
	13	第十一課① 旅游 中国の世界遺産について 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第十一課の会話を熟読しておくこと	
	14	第十一課② 旅游 中国人の旅行の昨今 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと 予習：第十二課の分からない単語などを調べておくこと	
	15	第十二課 中国のお正月について 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと	
授業形態	講義		

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1) 中国語の文を正しいアクセントで読むことができる。 2) 中国語のリスリングを正しく理解する。 3) 中国語の文法を正しく理解する。 4) 学習した中国語を使い、相手に伝えたいことを正しい中国語で言える 5) 指定した課題に要約することができる。 授業態度（20％）、小テスト（30％）、定期試験（50％）などを総合的に評価する。
教科書・参考書	特に指定しない。授業内容に合わせて、プリントを配布する
履修条件	
履修上の注意	毎回必ず予習、復習を行うこと
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根性よく、継続して学習してください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	本授業は韓国語の入門段階の学習を終えた学習者が会話・聞き取り・書き取りなどの能力を検証する段階である。 日常生活で最も使われてる韓国語会話を中心に学習し、反復練習をすることで様々な表現を身に付ける。	
授業計画	1	オリエンテーション：授業の進み方、アンケート調査、自己紹介
	2	服を買います。 ～です/～ます 語幹とは
	3	スーパーでよく買います。 ヨ体の作り方 ～しに ハングルの入力方法
	4	2万5千ウォンです。 漢数詞 1年の月
	5	今何時ですか。 固有数詞 時間の数え方
	6	復習テスト 数字の復習 小テスト
	7	日本語を話されますか。 敬語の作り方 韓国語の中の外来語
	8	バスは行きません。 動詞や形容詞の否定文 ～するといひ
	9	いつ韓国に来ましたか。 過去形 敬語の過去形
	10	一緒にお昼を食べましょう。 ～しましょう 何の 位置関係の表現
	11	パーティーの準備をしています。 ～している ～してください
	12	何も食べられませんでした。 ～できる・～できない 疑問を表す言葉
	13	陶磁器が見たいです。 ～したい ～してください
	14	写真を撮ってもいいですか ～してもいい ～しないでください
	15	全体まとめ
授業形態	講義	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習者が実際に韓国訪問した際や韓国人との交流の中で必要な会話・マナー等を身につけるようにする。 ②あらゆる場面で適切な対応が出来るようになる。 ③演習を通して韓国語に多く触れ、韓国語に対する興味を深める。	
	授業参加度（30％）、課題又はグループワーク（20％）、期末テスト（50％）	
	授業態度・出欠状況・レポート・小テスト・定期試験等を考慮して総合的に評価する。	
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明著	
履修条件	読み・書きが出来る。	
履修上の注意		

オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語をある程度学習した段階の学習者のための本格的に中級学習となる。より複雑な状況での会話文をもって様々な状況を想定して実践会話を練習すると共に、関連文法を学習する。		
授業計画	1	オリエンテーション：授業の進み方、アンケート調査、自己紹介 学習課題 復習 なし 予習	
	2	初：韓国語と文字、基本母音字、基本子音字 初中：～です、～ですか、～ではありません。	
	3	初：基本子音字（激音・濃音）、合成母音字、パッチム 初中：います、あります。	
	4	初：発音の変化 初中：～します、しますか、何。	
	5	初：～です、～ですか。 初中：～します、しますか、います、あります。	
	6	初：～ではありません。 初中：～です、～ます。ヨ体(～です、～ます)、～しに	
	7	初：います、あります。 初中：漢数詞、いくつ、～時～分	
	8	復習及び小テスト	
	9	初：～します、しますか、何。 初中：敬語	
	10	初：～します、しますか、います、あります。 初中：用語の否定、～するといいです	
	11	初：～です、～ます。 初中：過去形	
	12	初：ヨ体(～です、～ます)、～しに 初中：～しましょう	
	13	初：漢数詞 初中：～しています、～してください	
	14	初：いくつ、～時～分 初中：～できる、～できない	
	15	全体のまとめ	
授業形態	教科書を中心として講義を行い、必要に応じてプリント等を利用する。		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①文字と発音をしっかり学習することができる。 ②難しい語彙と長い会話文の理解、より複雑な会話及び基礎文法の習得することができる。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習することができる。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高めることができる。 ⑤韓国語を通じて様々な進路を探索することができる。		
	授業参加度（30％）、小テスト（20％）、課題又はグループワーク（10％）、期末テスト（40％）		
	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。		
教科書・参考書	必要な資料を配布します。		
履修条件			
履修上の注意	予習・復習をしてくること		
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	さまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な聴解・聴読解力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。		
授業計画	1	オリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル 復習：「授業に関するオリエンテーション、聴解スキル・聴読解スキル」の確認	
	2	日常生活 1 衣食住 日常生活 1 衣食住を通して聴解の力を高める 復習：「日常生活 1 衣食住」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	3	日常生活 2 暮らし 日常生活 2 暮らしを通して聴解の力を高める 復習：「日常生活 2 暮らし」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	4	日常生活 3 余暇 日常生活 3 余暇に関する聴解練習 復習：「日常生活 3 余暇」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	5	日常生活 4 買い物 日常生活 4 買い物に関する聴解練習 復習：「日常生活 4 買い物」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	6	日常生活 5 その他 日常生活 5 その他に関する聴解練習 復習：「日常生活 5 その他」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	7	キャンパスライフ 6 オリエンテーション1 キャンパスライフ 6 オリエンテーション1に関する聴解練習 復習：「キャンパスライフ 6 オリエンテーション1」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	8	キャンパスライフ 6 オリエンテーション2 キャンパスライフ 6 オリエンテーション2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 6 オリエンテーション2」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	9	キャンパスライフ 7 科目登録1 キャンパスライフ 7 科目登録1に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 7 科目登録1」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	10	キャンパスライフ 7 科目登録2 キャンパスライフ 7 科目登録2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 7 科目登録2」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	11	キャンパスライフ 8 学生課・教務課1 キャンパスライフ 8 学生課・教務課1に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 8 学生課・教務課1」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	12	キャンパスライフ 8 学生課・教務課2 キャンパスライフ 8 学生課・教務課2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 8 学生課・教務課2」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	13	キャンパスライフ 9 施設利用1 キャンパスライフ 9 施設利用1に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 9 施設利用1」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	
	14	キャンパスライフ 9 施設利用2 キャンパスライフ 9 施設利用2に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 9 施設利用2」のスキプトを読んで語句の意味を確認する。	

	15 する。 キャンパスライフ 10 課外活動 キャンパスライフ 10 課外活動に関する聴読解練習 復習：「キャンパスライフ 10 課外活動」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。 予習：定期試験の準備をする。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自然なスピードの講義の内容をだいたい聞き取れる。 ②自然なスピードの留学生ライフの内容をだいたい聞き取れる。 ③自然なスピードのキャンパス事務連絡の内容をだいたい聞き取れる。 ④日本語能力試験において、上級者はN2、中級者はN3習得を目指す。 ⑤話し言葉に慣れ、日常の会話に生かすことができる。
	平素の学習意欲（20%）を重視し、学習状況並びに試験（50%）などにより行う。 日頃のノート（30%）についても随時点検し、評価の対象とする。
	平素の学習意欲（20%） 学習状況並びに試験（50%） 日頃のノート（30%）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	毎週金曜日4限。
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ず友人を通すかメールで連絡すること。 （教員のメールアドレスは、授業開始時に知らせる）

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	この講義はさまざまなテーマの日本語を聞き、聴解・聴読解を行なう授業である。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 復習：オリエンテーションの内容を配布物等でしっかり把握し、15回の授業の展開をイメージする。	
	2	聴解の基礎1 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 復習：「繰り返しの練習」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	3	聴解の基礎2 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	4	聴解1 留学生ライフに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	5	聴解2 キャンパス事務手続きに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	6	聴解3 講義中の話題に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	7	聴解4 日常生活の会話に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	8	聴読解1 留学生ライフに関する聴読解練習1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	9	聴読解2 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	10	聴読解3 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習2 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	11	聴読解4 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習3 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	12	聴読解5 講義中の話題に関する聴読解練習1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	13	聴読解6 講義中の話題に関する聴読解練習2 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	

	14 総合実践 1 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 15 総合実践 2 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①自然に近い速さの講義の内容をだいたい聞き取れる。 ②テーマに関係する語彙の聞き取りがだいたいできる。 ③テーマに関係する文章の内容がだいたい理解できる。 ④テーマについて、自分の身近なことを考え、話すことができる。 ⑤日本語能力試験の取得を目指す。（中級：N3） 評価方法 平素の学習意欲（20%） 発言や発表（30%） 日頃の小試験や授業後の試験（50%）
教科書・参考書	教科書：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	質問等があれば、木曜日 3 コマ目（13:10-14:40）に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	受講者の皆さんの活発な質疑応答を期待します。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	毎回異なる題材に沿って、英語で文章を書き、自分の意見を的確に表現できるようにする。また、TOEICの学習をベースに、実践的に英語のグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法力を高める。		
授業計画	1	Introduction&自己紹介① 授業の進め方、評価方法の説明 レベル別の3クラスが全体で初回を行う。 moodleの使い方 「自己紹介」を英語で書いてみよう 内容の添削、発表練習 学習課題 復習：ライティング課題と発表練習 予習：辞書の準備	
	2	自己紹介② 英語での「自己紹介」発表 スピーチをループリック評価 成果物をmoodleにアップ 学習課題 復習：自己紹介で使う表現を復習 予習：自己紹介の内容を考える	
	3	「テーマ1」について① 「テーマ1」について英語で書いてみよう 内容の添削、発表練習 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項、発表練習 予習：「テーマ1」についてについて英作文	
	4	「テーマ1」について② 英語で「テーマ1」について発表 スピーチをループリック評価 成果物をmoodleにアップ 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項 予習：発表練習	
	5	「テーマ2」について① 「テーマ2」について英語で書いてみよう 内容の添削、発表練習 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項、発表練習 予習：「テーマ2」について英作文	
	6	「テーマ2」について② 英語で「テーマ2」について発表 スピーチをループリック評価 成果物をmoodleにアップ 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項 予習：発表練習	
	7	「テーマ3」について① 「テーマ3」について英語で書いてみよう 内容の添削、発表練習 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項、発表練習 予習：「テーマ3」について英作文	
	8	「テーマ3」について② 英語で「テーマ3」について発表 スピーチをループリック評価 成果物をmoodleにアップ 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項 予習：発表練習	
	9	「テーマ4」について① 「テーマ4」について英語で書いてみよう 内容の添削、発表練習 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項、発表練習 予習：「テーマ4」について英作文	
	10	「テーマ4」について② 英語で「テーマ4」について発表	

	スピーチをループリック評価 成果物をmoodleにアップ 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項 予習：発表練習 11 「テーマ5」について① 「テーマ5」について英語で書いてみよう 内容の添削、発表練習 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項、発表練習 予習：「テーマ5」について英作文 12 「テーマ5」について② 英語で「テーマ5」について発表 スピーチをループリック評価 成果物をmoodleにアップ 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項 予習：発表練習 13 「テーマ6」について① 「テーマ6」について英語で書いてみよう 内容の添削、発表練習 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項、発表練習 予習：「テーマ6」について英作文 14 「テーマ6」について② 「テーマ6」について発表 スピーチをループリック評価 成果物をmoodleにアップ 学習課題 復習：使用する表現、学んだ文法事項 予習：発表練習 15 Compiling individual portfolio① 「ライティング&グラマーI」で学んだことの振り返り 授業評価 ポートフォリオ提出、評価 学習課題 復習： 予習：ポートフォリオを作成する。 16 Compiling individual portfolio② 「ライティング&グラマーI」で学んだことの振り返り 授業評価 ポートフォリオ提出、評価 学習課題 復習： 予習：ポートフォリオを作成する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 語彙数を増やす。 ② 苦手とする英文法を正しく理解する。 ③ 正確に英語の音声を聞き取る。 ④ 英文の内容を正しく理解できる。 ⑤ 日常で使う簡単な英語の文章を書くことができる。 英文ライティングタスクと筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、英文ライティングタスク（20%）
教科書・参考書	「TOEIC Test：On Target 2- 南雲堂」、プリント教材
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14：50～16：20）
備考・メッセージ	英語ライティングに関して、個人個人のレベルは大きく異なる。様々な日常と関連した問題に取り組み、自分のレベル、弱点を早く発見し、それぞれにあった問題に取り組み弱みを克服することが肝要である。また様々な日常の場面や、就職活動で役立つライティングスキルをしっかりと学んでほしい。実際に英語を使う場面に応じた実践的な内容でもある、英語力の向上に期待したい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
岩見 真知子			

講義概要	受講者の日本語習熟度合いを勘案しつつ、そのつど適切な参考資料・テキストを駆使して、よりの確な日本語の把握を目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト	
	2	文法1 入門段階に応じた基礎項目を取りあげる。 ライティング1 最も基本的かつ重要な内容から始める。	
	3	文法3 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	4	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	5	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	6	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	7	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(新聞記事) 小テスト ライティング	
	8	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(新聞記事) 小テスト ライティング	
	9	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング	
	10	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング	
	11	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング	
	12	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(日本語能力問題) ライティング	
	13	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(日本語能力問題) ライティング	
	14	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(異文化体験発表) 小テスト ライティング	
	15	文法 Term Examに向けての復習 ライティング	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本語能力試験において、N3合格95点、N2合格90点以上を目指す。自己の能力を知り、次のステップへの目標を設定する。 ②日誌や記録ノート等を基に実績タームの異文化体験(カルチャーショックなども含め)を振り返り検証する。 ③学内での日本人と留学生との交流を通じ、さらに異文化事情の理解を深める。 ④卒業後の進路について再考し、具体的な計画を立てることができる。 ⑤日本の新聞や日本語のグラフを読み、客観的にかつ多角的に処理・分析することができる。また複数の表やグラフから読み取れることを比較検討することができる。自分の意思を日本語で発表することができる。 平素の学習意欲を重視し、授業中の小テストおよび試験などにより行う。 平素の学習意欲(20%) 授業中の小テスト(20%) 定期試験(50%) レポート等課題への取り組み(10%)		
	平素の学習意欲を重視し、授業中の小テストおよび試験などにより行う。		
	平素の学習意欲(20%) 授業中の小テスト(20%) 定期試験(50%) レポート等課題への取り組み(10%)		

教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 その他の参考書類：随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	受講者の日本語習熟度合いを勘案しつつ、そのつど適切な参考資料・テキストを駆使して、よりの確な日本語の把握を目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト	
	2	文法1 入門段階に応じた基礎項目を取りあげる。 ライティング1 最も基本的かつ重要な内容から始める。	
	3	文法3 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	4	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	5	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	6	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング	
	7	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（新聞記事）小テスト ライティング	
	8	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（新聞記事）小テスト ライティング	
	9	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（グラフ・統計）小テスト ライティング	
	10	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（グラフ・統計）小テスト ライティング	
	11	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（グラフ・統計）小テスト ライティング	
	12	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（日本語能力問題） ライティング	
	13	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（日本語能力問題） ライティング	
	14	文法 前内容の復習、新規内容の展開、（異文化体験発表）小テスト ライティング	
	15	文法 Term Examに向けての復習 ライティング	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本語能力試験において、N3合格95点、N2合格90点以上を目指す。自己の能力を知り、次のステップへの目標を設定する。 ②日誌や記録ノート等を基に実績タームの異文化体験（カルチャーショックなども含め）を振り返り検証する。 ③学内での日本人と留学生との交流を通じ、さらに異文化事情の理解を深める。 ④卒業後の進路について再考し、具体的な計画を立てることができる。 ⑤日本の新聞や日本語のグラフを読み、客観的にかつ多角的に処理・分析することができる。また複数の表やグラフから読み取れることを比較検討することができる。自分の意思を日本語で発表することができる。 平素の学習意欲を重視し、授業中の小テストおよび試験などにより行う。 平素の学習意欲（20％）授業中の小テスト（20％）定期試験（50％）レポート等課題への取り組み（10％）		
	平素の学習意欲を重視し、授業中の小テストおよび試験などにより行う。		
	平素の学習意欲（20％）授業中の小テスト（20％）定期試験（50％）レポート等課題への取り組み（10％）		

教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。　その他の参考書類：随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
ルーク・ロページュ			

講義概要	This course is designed to give students various opportunities to develop their skills and confidence in communication through reading and writing tasks. The course will follow a student-centred model.		
授業計画	Lesson 1	Introduction to Writing and Grammar In the first lesson, the course goals, evaluation and semester plan will be explained. Some Ice-breaker games and warm-up activities will be played. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 2	Writing Tasks and Extensive Reading In this lesson, students will be introduced to extensive reading and will begin writing a series of writing tasks using Google Documents. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will learn that for each writing task, they will be given class time to complete. They will then digitally share the file with the teacher who will provide them with feedback. Students will then have to correct mistakes 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 3	Extensive Reading (ER) and Personal Profile Students will participate in 30 minutes of silent ER. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help then develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will begin their first writing topic - a digital personal profile. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 4	ER and Introduction Letter 1 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help then develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will begin their 2nd writing topic - an introduction letter. The focus will be on identifying standard components of an informal letter. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 5	ER and Introduction Letter 2 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help then develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will finish their 2nd writing topic - an introduction letter. The focus will be on identifying standard components of an informal letter. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習：TBD 予習：TBD	
	Lesson 6	ER and My Home Town and my Hobbies 1 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help then develop their paraphrasing skills.	

	Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will start their 3rd writing topic - two paragraphs. The focus will be the form of a paragraph. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 學習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 7	ER and My Home Town and my Hobbies 2 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help them develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Student will finish their 3rd writing topic - two paragraphs. The focus will be the form of a paragraph. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 學習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 8	In Ten Years 1 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help them develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will start their 4th writing topic - a 2-4 paragraph personal reflection writing topic about their future. The focus will be the form of a paragraph and using future potential language. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 學習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 9	In Ten Years 2 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help them develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will continue their 4th writing topic - a 2-4 paragraph personal reflection writing topic about their future. The focus will be the form of a paragraph and using future potential language. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 學習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 10	In Ten Years 3 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help them develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will finish their 4th writing topic - a 2-4 paragraph personal reflection writing topic about their future. The focus will be the form of a paragraph and using future potential language. Students will participate in a share activity. Students will share some of their writing with peers. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 學習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 11	Man on the Beach 1

	Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help then develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will start their 5th and last writing topic - a 3-5 paragraph story based on their interpretation of a photo. The focus will be on using descriptive language to explain the who, what, when, where and why of the person in the photo. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 12	Man on the Beach 2 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help then develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will continue their 5th and last writing topic - a 3-5 paragraph story based on their interpretation of a photo. The focus will be on using descriptive language to explain the who, what, when, where and why of the person in the photo. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 13	Man on the Beach 3 Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. This will help then develop their paraphrasing skills. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will finish their 5th and last writing topic - a 3-5 paragraph story based on their interpretation of a photo. The focus will be on using descriptive language to explain the who, what, when, where and why of the person in the photo. Class time will also be used to complete "focus on form" activities in areas where students need additional practice. Students will also use class time to correct teacher feedback from previous writing assignments. 学習課題 復習 : TBD 予習 : TBD
Lesson 14	Final Assignment Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will then discuss with partners and in small groups the contents of their book. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will finalize all their writing tasks and prepare for the final "writing share" activity in the last lesson.
Lesson 15	Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Final Lesson. Students will participate in 30 minutes of silent extensive reading. Students will communicate with student from Columbia in an online forum. Students will submit all their remaining work. Students will complete course evaluations. Students will participate in a writing share activity where they can share a piece of writing with peers.
授業形態	lecture
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will complete writing tasks. 2. Students will participate in extensive reading both in class and in their own time. 3. Students will use google documents 4. Students will participate in a virtual exchange 5. Students will identify in which ways they could improve their written communication skills
	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (25%), writing tasks (40%), Extensive Reading (20%), Virtual Exchange (10%), digital booklet (5%)

	Grades will be based on classroom engagement (25%), writing tasks (40%), Extensive Reading (20%), Virtual Exchange (10%) , digital booklet (5%)
教科書・参考書	No Textbook Required - Students will be required to get a Extensive Reading Membership to X-Reading.
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Tuesday 10:50-12:20,
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	中国語は語順が一見かなり自由なようだが、一定のルールに沿って語句が配列されている。その語順のルールを把握することが中国語力を確かなものにする重要な基礎となるので、この授業ではこれに関する並べ替え練習を多く行う。		
授業計画	1	文の基本的枠組み（1） 一語句・一句文	
	2	文の基本的枠組み（2） 基本構文と主題化	
	3	文の基本的枠組み（3） 時間（時点と時間量）	
	4	文の基本的枠組み（4） 場所と存在・移動	
	5	文の基本的枠組み（5） 中国語の文の一般形	
	6	自分の態度・相手への働きかけ（1） 疑問・否定	
	7	自分の態度・相手への働きかけ（2） 願望・必要	
	8	自分の態度・相手への働きかけ（3） 命令・依頼・可能（依頼のしかた	
	9	自分の態度・相手への働きかけ（4） 命令・依頼・可能（会、能、可以）	
	10	自分の態度・相手への働きかけ（5） 推定・伝聞	
	11	物の性質・様態（1） 数量表現	
	12	物の性質・様態（2） 動詞の様態	
	13	物の性質・様態（3） 修飾語	
	14	物の性質・様態（4） 形容詞の程度	
	15	物の性質・様態（5） 比較・類似	
授業形態	①	文の組み立て方を学ぶ。	
	②	中国語の様々表現をアクティブに使えるようにすること。	
	③	表現の基本パターンとその語順を覚える。	
	④	手紙の書き方を習得する。	
	⑤	類義表現のニュアンスを理解する。	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。授業内練習30%、レポート30%、定期試験40%。		
教科書・参考書	テキスト：『書く中国語』、董燕・遠藤光暁、（株）朝日出版社。 参考書：授業内容に合わせて別途提示する。		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。		
備考・メッセージ	口語能力こそ文章能力の基礎であることを念頭に置きながら、練習に励んでほしい。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	主に文法を中心として学習し、学習した文法を使って文章を作る。同じ単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。		
授業計画	1	イントロダクション 授業の進め方の説明、挨拶の言葉・教室の言葉	
	2	第1課 数詞の復習	
	3	第2課 語尾の復習	
	4	第3課 助詞の復習	
	5	第4課 遅れてすみません。 ～して、～できない、～しようと	
	6	第5課 ビビンバが食べたいです。 動詞+たい、たがる、～から	
	7	第6課 最近忙しいですか？ 不規則活用 ～します	
	8	振り返り	
	9	第7課 どこで撮った写真ですか？ ～時、～けど	
	10	第8課 詳しく説明させていただきます。 ～させていただく、～してみる	
	11	第9課 韓国に来てから、どの位経ちますか？ ～してから、～してあげる、～するつもりです	
	12	第10課 美術館はここから近いですか？ ～たら 不規則活用	
	13	振り返り	
	14	第11課 運転しながら電話しないでください。 ～しながら、～しないでください	
	15	まとめ	
授業形態	講義・演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①初級レベルの文法を学習し、文章が書けるようになる。 ②単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。 ③簡単な会話表現が身につく。		
	授業参加度、小テスト、課題・グループワーク、期末テストの結果から教員が総合的に判断する。		
	授業参加度（20％）、小テスト（30％）、課題・グループワーク（10％）、期末テスト（40％）		
教科書・参考書	テキスト：『韓国語を始めよう中級』 李 昌圭 朝日出版社		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
富場 康			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験1級・2級・3級」を受験する際に対応できるように、前者の「読解」「聴読解」「聴解」及び後者の「言語知識（文字・語彙・文法）」「読解」「聴解」の分野での日本語力の向上を図りながら、日本語の総合的な力を高める。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題 復習：プレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：「読解1」の語句を調べておく。	
	2	日本留学試験1 日本留学試験 読解1 学習課題 復習：「読解1」の問題をやり直す。 予習：「読解2」の語句を調べておく。	
	3	日本留学試験2 日本留学試験 読解2 学習課題 復習：「読解2」の問題のやり直し。 予習：「読解3」の語句を調べておく。	
	4	日本留学試験3 日本留学試験 読解3 学習課題 復習：「読解3」の問題のやり直し。 予習：「聴読解1」の語句を調べておく。	
	5	日本留学試験4 日本留学試験 聴読解1 学習課題 復習：「聴読解1」のスキットの見直し。 予習：「聴読解2」の語句を調べておく。	
	6	日本留学試験5 日本留学試験 聴読解2 学習課題 復習：「聴読解2」のスキットの見直し。 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	7	日本留学試験6 日本留学試験 聴解1 学習課題 復習：「聴解1」のスキットの見直し。 予習：「聴解2」の語句を調べておく。	
	8	日本留学試験7 日本留学試験 聴解2 学習課題 復習：「聴解2」のスキットの見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の語句を調べておく。	
	9	日本語能力試験1 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）1 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の語句を調べておく。	
	10	日本語能力試験2 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）2 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の語句を調べておく。	
	11	日本語能力試験3 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）3 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の語句を調べておく。	
	12	日本語能力試験4 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）4 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の問題の見直し。 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	13	日本語能力試験5 日本語能力試験 聴解1	

	学習課題 復習：「聴解1」の問題の見直し。 予習：「聴解2」の語句を調べておく。 1 4 日本語能力試験 6 日本語能力試験 聴解 2 学習課題 復習：「聴解2」の問題の見直し。 予習：「聴解3」の語句を調べておく。 1 5 日本語能力試験 聴解 3 日本語能力試験 聴解 3 学習課題 復習：「聴解3」の問題の見直し。 予習：定期試験の準備をする。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本留学試験の「読解」問題に対応できる力をつける。 ②日本留学試験の「聴読解・聴解」問題に対応できる力をつける。 ③各自の能力に応じた日本語能力試験1・2・3級の「言語知識（文字・語彙・文法）」問題に対応できる力をつける。 ④各自の能力に応じた日本語能力試験1・2・3級の「読解」問題に対応できる力をつける。 ⑤各自の能力に応じた日本語能力試験1・2・3級の「聴解」問題に対応できる力をつける。
	平素の学習意欲を重視し、授業中の小テストおよび試験などにより行う。
	平素の学習意欲（20%） 授業中の小テスト（30%） 定期試験（50%）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業中に随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	必ず辞書（電子辞書でも可）を持ってくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	わからない設問があるときは、どんどん質問して下さい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	受講者の日本語習熟度合いを勘案しつつ、そのつど適切な参考資料・テキストを駆使して、よりの確な日本語の把握を目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題 復習： 予習：	
	2	文法 1 入門段階に応じた基礎項目を取りあげる。 ライティング 1 最も基本的かつ重要な内容から始める。 学習課題 復習： 予習：	
	3	文法 3 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	4	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	5	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	6	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	7	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(新聞記事) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	8	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(新聞記事) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	9	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	10	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	11	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	12	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(日本語能力問題) ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	13	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(日本語能力問題) ライティング 学習課題 復習：	

	予習： 14 文法 前内容の復習、新規内容の展開、（異文化体験発表）小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習： 15 文法 Term Examに向けての復習 ライティング 学習課題 復習： 予習：
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本語能力試験において、N3合格95点、N2合格90点以上を目指す。自己の能力を知り、次のステップへの目標を設定する。 ②日誌や記録ノートを日本語で毎日記入し提出する。それを基に実績タームの異文化体験（カルチャーショックなども含め）を振り返り検証する。 ③学内での日本人と留学生との交流を通じ、さらに異文化事情の理解を深める。 ④卒業後の進路について再考し、具体的な計画を立てることができる。 ⑤日本の新聞を読む、またニュースや報道の映像を視聴し、客観的にかつ多角的に処理・分析することができる。また複数の表やグラフから読み取れることを比較検討することができる。自分の意思を日本語で文章化することができる。 平素の学習意欲（20％）を重視し、授業中の小テスト（30％）および定期試験（50％）などにより行う。
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 その他の参考書類：随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	TOEICの学習をベースに、ライティングとグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法、英文を行う。また、テーマ毎に、英語のライティングも行う。		
授業計画	1	Traveling 位置を表す表現、WHで始まる疑問文、自動詞と他動詞、情報発見力を身につける 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	2	Daily Life & Shopping 動作・動きを表す表現、設問を先読み、呼応の理解、タイトルから目的・内容の予測 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	3	At Restaurants 動作・動きを表す表現、メッセージの目的の聞き取り、比較級・最上級、スキミング力をつける 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	4	Job Hunting 細部に注意、依頼の表現、関係代名詞・分詞の理解、ダブルパッセージ理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	5	At the Office 1 オフィス仕様の語句理解、オフィスでの頻出表現、空所の前後のヒント、読みのスピードアップ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	6	At the Office 2 写真問題攻略、短いスピーチ理解のポイント、名詞の加算・不加算の理解、数字の理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	7	Review Test 1 復習小テスト 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	8	Doing Business Online 言い換え表現、Howで始まる疑問文、仮定法の基本、注意書きの理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	9	Housing 動作・動きの表現理解、前置詞の基本イメージをつかむ、用紙や表に親しむ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	10	Making Deals & Contacts 言い換え表現に注意、位置を示す語句、動名詞とto不定詞の違い 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	11	Public Service 付加疑問文の理解、時や理由、譲歩を表す接続詞、告知文の理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	12	Banking & Finance 物が主語になる場合、副詞と形容詞の違い、言い換え表現 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	13	At Seminars & Workshops 選択肢表現、文脈の捉え方、メール内で使われる語句理解	

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14 News & Media まぎらわしい発音の単語、Yes/No以外の応答表現、時制、全体か部分かの問題の見分け方 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15 Review Test 2 復習小テスト 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16 Review Test 2 まとめと評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業目標 ① 語彙数を増やす。 ② 英文法を正しく理解する。 ③ 英文のリスニングを正確に理解する。 ④ 英文の内容を正しく理解する。 ⑤ 日常で使う簡単な英語の文章を書く。 授業中に行う小テストと筆記試験で総合的に評価を行う。 筆記試験（80％）、小テスト（20％）
教科書・参考書	レベル毎にことなるために、教科書は、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業には、予習と復習をしてから参加すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	英語学習は、継続です。毎日、英語に触れるようにすること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	主に文法を中心として学習し、学習した文法を使って文章を作る。同じ単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。		
授業計画	1 イントロダクション 2 数字の復習 3 第1課 病院 症状を伝え治療を受けることが出来る。 4 第2課 紛失物 失くしたものについて説明が出来る。 5 第3課 交換と払い戻し 品物を交換したり、払い戻すことが出来る。 6 振り返り 7 第4課 天気と季節 天気と季節の変化について説明出来る。 8 第5課 予約 予約をしたり、変更やキャンセルが出来る。 9 演習 グループワーク 10 第6課 銀行 通帳を作ったり両替が出来る。 11 振り返り 12 第7課 アルバイト アルバイトの経験を話すことが出来る。 13 第8課 家を探す 家を探して契約が出来る。 14 演習 グループワーク 15 まとめ		
授業形態	講義・演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①中級レベルの文法を学習し、長文が書けるようになる。 ②単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。 ③日常的会話表現が身につく。		
	授業参加度、小テスト、課題・グループワーク、期末テストの結果から教員が総合的に判断する。		
	授業参加度（20％）、小テスト（30％）、課題・グループワーク（10％）、期末テスト（40％）		
教科書・参考書	テキスト：開かれた韓国語 初級3/図書出版 夏雨		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	学習者の学習進捗やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	中国語は語順が一見かなり自由なようだが、一定のルールに沿って語句が配列されている。その語順のルールを把握することが中国語力を確かなものにする重要な基礎となるので、この授業ではこれに関する並べ替え練習を多く行う。同時に8クォータの卒業研究における論文作成を視野に入れ、中国語で学術論文等を作成する方法について触れる。		
授業計画	1	動作の諸相 (1) 時制とアスペクト	
	2	動作の諸相 (2) 結果・方向・可能	
	3	動作の諸相 (3) 二重目的語と対象を表す前置き詞	
	4	動作の諸相 (4) 使役・その他の使役動詞	
	5	動作の諸相 (5) 受け身・その他の受け身文	
	6	つなぎ方 (1) 仮定・条件	
	7	つなぎ方 (2) 順序・全称	
	8	つなぎ方 (3) 原因・目的	
	9	つなぎ方 (4) 逆接 (ではなく～だ)	
	10	つなぎ方 (5) 並列・累加	
	11	標点符号の使い方 (1) 句点、マル、コンマ、読点、省略号、書名符号	
	12	標点符号の使い方 (2) コロン、疑問符、引用符、カッコ	
	13	論文の書き方 (1) 章立ての仕方、引用の仕方、先行研究の調査方法	
	14	論文の書き方 (2) 参考文献や註の書き方、謝辞の書き方など	
	15	総括 復習および表現練習	
授業形態	①	文の組み立て方を学ぶ。	
	②	中国語の様々な表現をアクティブに使えるようにすること。	
	③	表現の基本パターンとその語順を覚える。	
	④	論文の書き方を習得する。	
	⑤	類義表現のニュアンスを理解する。	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。授業内練習30%、レポート30%、定期試験40%。		
教科書・参考書	テキスト：『書く中国語』、董燕・遠藤光暁、(株)朝日出版社。 参考書：授業内容に合わせて別途提示する。		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業以外の時間 (9時から17時までの間) ならいつでも気軽に訪ねてください。		
備考・メッセージ	口語能力こそ文章能力の基礎であることを念頭に置きながら、練習に励んでほしい。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
Q1 & Q2	1年	2単位	必修
担当教員			
Luc Roberge, Jennifer Kitagawa, Erika Bucciantini, Tran Thi Thuy Tien			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations. Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the course Students will be introduced to the course. Key points covered: 1. Teacher Introductions 2. Format of the course 3. Evaluations. 4. Expectations Lesson 2: Orientation and Team Building Introduction of the textbook, njc.9learn.net, discussion-groups, discussion-group role, YouTube journals and peer-evaluations. Lesson 3: Streamed Groups Students will be streamed into groups based on language test scores and communication ability. Students will have the opportunity to become acquainted with their teacher and their peers. Speed Dating and circle conversations Lesson 4: Gap Lesson: Communicative Activities Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress. 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 5: Hometown - Lesson A Lesson A - Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 6: Hometown - Lesson B Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson. 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 7: Hometown - Lesson C Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner. 学習課題 復習: TBA by mini-unit teacher 予習: TBA by mini-unit teacher Lesson 8: Hometown - Lesson D Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njc9learn cite. Teachers will then evaluate each student presentation. 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 9: Gap Lesson: Communicative Activities Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 10: Music - Lesson A

Lesson A - Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 11: Music - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 12: Music - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

學習課題 復習 : TBA by mini-unit teacher

予習 : TBA by mini-unit teacher

Lesson 13: Music - Lesson D

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 14: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 15: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 16: New Teacher - Books - Lesson A

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 17: Books - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 18: Books - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

學習課題 復習 : TBA by mini-unit teacher

予習 : TBA by mini-unit teacher

Lesson 19: Books - Lesson D

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 20: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 21: Family - Lesson A

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 22: Family - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 23: Family - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner.

學習課題 復習 : TBA by mini-unit teacher
予習 : TBA by mini-unit teacher

Lesson 24: Family - Lesson D

Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 25: Gap Lesson: Communicative Activities

Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 26: Travel - Lesson A

Lesson A - Students will change teachers. Some time will be provided to get to know the new teacher. Students will be introduced to a new chapter of the textbook. Students will work progressively through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. This will also be an opportunity for students to build their topic-related vocabulary and grammar knowledge.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 27: Travel - Lesson B

Lesson B - Students will continue to progressively work through the chapter to practice their listening, reading, and speaking skills. Teachers may choose to bring additional content. Student will build their topic-related vocabulary and grammar knowledge. Students may also be given time to prepare their scrap and scrap presentation. Students should bring photos and other materials for making their scrap for this lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 28: Travel - Lesson C

Lesson C - Students may be given time to work on their scrap presentation. Students

	will make presentation notes in a notebook. Teachers can help students with language during this period. Students should also use this time to practice presenting their scrap with a partner. 学習課題 復習 : TBA by mini-unit teacher 予習 : TBA by mini-unit teacher Lesson 29: Travel - Lesson D Lesson D - Students will be placed in small discussion groups. Each student will present their scrap and there will be time for a Q&A period after. Students will give presenters feedback. Students will use the peer-feedback to improve their presentation. Following the lesson, students will have 3 days to upload a YouTube video link to the njcQlearn cite. Teachers will then evaluate each student presentation. 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 30: Gap Lesson - Course Review Gap Lesson - Teachers will prepare interactive activities and games for students. Students will not use the textbook during Gap Lessons but are asked to bring their textbook as teachers may use this time to check student progress. 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher
授業形態	exercises
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will complete 5 chapters from the textbook. 2. Students will participate in 5 group discussions. 3. Students will make 5 video journals. 4. Students will make a scrap book. 5. Students will do peer-evaluations and self-evaluations
	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%)
	Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%)
教科書・参考書	Cullen, B. & Mulvey, S. (2011). Scraps (3rd Ed.). Nagoya: Perceptia Press
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Wednesday 10:50 - 12:20, Wednesday 1:10-4:20, Thursday 10:50 - 12:20, Thursday 1:20-4:20
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	必修
担当教員			
Luc Roberge, Jennifer Kitagawa, Erika Bucciantini, Tran Thi Thuy Tien			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations. Students will meet twice a week for 90 minutes (for 15 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
------	--

授業計画	Lesson 1: Introduction to the course Students will discuss in small groups about their Gap Term. Students will prepare a short informal presentation (poster, photo or other) about their Gap Term activities. Lesson 2: Gap Term Discussion Groups 学習課題 復習: None 予習: Gap Term Presentation Lesson 3: Streamed Groups and Topic 1 Lesson A Students will be streamed into groups based on language test scores and communication ability. Students will have the opportunity to become acquainted with their teacher and their peers. Students will be introduced to the topics that will be covered during the course, the discussion cycle and overall course-evaluation. Lesson 4: Topic 1- Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 5: Topic 1 - Discussion Groups 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 6: Christmas Lesson Students will participate in Christmas activities 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 7: Topic 2 Lesson A 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 8: Topic 2 Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 9: Topic 2 Discussion Group 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 10: Topic 3 - Lesson A 学習課題 復習: TBA by mini-unit teacher 予習: TBA by mini-unit teacher Lesson 11: Topic 3 - Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 12: Topic 3 - Discussion Group 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 13: Topic 4 - Lesson A 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 14: Topic 4 - Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 15: Topic 4 - Lesson Discussion Groups This is the final lesson 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher
------	---

授業形態	exercises
------	-----------

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will develop language related to topics determined in class. 2. Students will participate in 4 group discussions. 3. Students will make 4 video journals. 4. Students will make a scrap book.
--------------------	--

	5. Students will do peer-evaluations and self-evaluations
	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%)
	Grades will be based on classroom engagement (30%), video journals (25%), textbook, scrapbook and notes (30%) and discussion groups (15%)
教科書・参考書	Cullen, B. & Mulvey, S. (2011). Scraps (3rd Ed.). Nagoya: Perceptia Press
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Wednesday 10:50 - 12:20, Wednesday 1:10-4:20, Thursday 10:50 - 12:20, Thursday 1:20-4:20
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
Luc Roberge, Jennifer Kitagawa, Caroline Kim,			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for everyday situations, working in hospitality and travel Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the course Students will be introduced to the course. Key points covered: 1. Teacher Introductions 2. Format of the course 3. Evaluations. 4. Expectations. 5. Project work The structure of the course will be different than conversation 1. Three teachers will deliver the course. Students will be placed in 1 of 3 groups and will rotate to each teacher in a mixed schedule. The curriculum, plan, groups can all be accessed by students using the njc Q-learn system. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 2: Life in a Bag Students will begin partner or small group discussions for "life in a bag." This is both a communicative activity as well as a an opportunity for discovery of language gaps they may have. Students will then build individual specific knowledge to give a 3-5 minute mini presentation to the whole class. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 3: Life in a Bag Presentations Students will present their "life in a bag" to their group. Students will practice taking notes and peer-evaluating. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 4: Communicative Games 1 Students will participate in a series of communicative games. Students will need to understand the rules of the game, negotiate meaning (in English) when there is gaps in their knowledge. Students will be encouraged to only use English. During the play of the game, students will participate in casual conversation practice. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 5: Communicative Games 2 Students will participate in a series of communicative games. Students will need to understand the rules of the game, negotiate meaning (in English) when there is gaps in their knowledge. Students will be encouraged to only use English. During the play of the game, students will participate in casual conversation practice. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 6: Communicative Games 3 Students will participate in a series of communicative games. Students will need to understand the rules of the game, negotiate meaning (in English) when there is gaps in their knowledge. Students will be encouraged to only use English. During the play of the game, students will participate in casual conversation practice. 学習課題 復習：TBA by teacher 予習：TBA by teacher Lesson 7: In Ten Years 1 Students will begin partner or small group discussions for "in ten years." This is both a communicative activity as well as a an opportunity for discovery of language gaps they may have. Students will brainstorm and reflect upon where they may be, what they will be doing and what their life will be like in 10 years. Students will then build individual specific knowledge to give a 3-5 minute mini presentations in small groups the following lesson. 学習課題 復習：TBA by mini-unit teacher

予習 : TBA by mini-unit teacher

Lesson 8: In Ten Years 2

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 9: 5 things to do in... 1

Students will choose a city or area outside of Japan. They will then need to research "5 things to do in..." as a tourist in that city. Students will then prepare a 5-slide Google Slides presentation to their group the following lesson. Students will need to build individual specific knowledge and language to give a 3-5 minute mini presentations in small groups the following lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 10: 5 things to do in.... 2

Students will present "5 things to do in..." to their group. Students will practice taking notes and peer-evaluating. Students will also need to elicit additional information, and add their own information through the direction of the teacher to develop their large group discussion skills.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 11: End of Quarter Project

Students will participate in an end of quarter project. The project will be described to the student in detail. Expectations, timing etc. will be explained. Students will spend the remaining 4 lessons preparing for a final presentation during the last lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 12: End of Quarter Project

Students will participate in an end of quarter project. Students will continue preparing for a final presentation during the last lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 13: End of Quarter Project

Students will participate in an end of quarter project. Students will continue preparing for a final presentation during the last lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 14: End of Quarter Project

Students will participate in an end of quarter project. Students will continue preparing for a final presentation during the last lesson.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 15: End of Quarter Project Presentations

Students will present their end of quarter project. Students will self-evaluate their engagement in the the course, evaluate the course.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 16: Quiz and Trivia Show

As a review of the material covered in the course, student will have the opportunity to participate in a Quiz/ trivia show with their peers.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 17: Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 18: Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher

予習 : TBA by teacher

Lesson 19: Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will

develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 20: Mini-Unit #1

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 21: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 22: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 23: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 24: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 25: Mini-Unit #2

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 26: Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.

學習課題 復習 : TBA by teacher
予習 : TBA by teacher

Lesson 27: Mini-Unit #3

Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama,

	Hospitality and Travel. 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 28: Mini-Unit #3 Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel. 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 29: Mini-Unit #3 Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel. 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 30: Mini-Unit #3 Students will spend 5 lessons with a teacher working on a ESP mini-unit before rotating to a new teacher. Each student group will have the opportunity to participate in each mini-unit in turn. In the mini-unit, under the guidance of the teachers, students will develop specific language and communication skills. Mini-units will be Drama, Hospitality and Travel.
授業形態	exercises
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will plan, write, translate and perform a skit. 2. Students will plan, write, prepare, and discuss their "life in a bag" 3. Students will build grammar, vocabulary and knowledge related to working in the hospitality field. 4. Students will build grammar, vocabulary and knowledge related to travelling. 5. Students will participate in presentations, conversation and discussions in both small groups and to the whole class.
	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (20%), mini presentations and discussion groups (30%) and projects (50%).
	Grades will be based on classroom engagement (20%), mini presentations and discussion groups (30%) and projects (50%).
教科書・参考書	No textbook required. Students are required to bring a notebook, and any materials provided by the teacher.
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30, Tuesday 10:50-12:20.
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
Luc Roberge, Jennifer Kitagawa, Caroline Kim, Keith Elias			

講義概要	This is a four skills-based course with a focus on communication designed to provide opportunities to improve English language knowledge and communication skills. Focus will be given to communication skills needed for informal, everyday situations. Students will meet twice a week for 90 minutes (for 30 lessons), and classes will be conducted entirely in English. Students will learn and practice vocabulary, grammar and expressions needed to talk about everyday topics, as well as the conversation strategies needed to communicate naturally. Much of class time will be devoted to small group and class discussion under the guidance of the teacher. Students will also learn about the culture and customs of people from other countries.
授業計画	Lesson 1: Introduction to the course Students will discuss in small groups about their Gap Term. Students will prepare a short informal presentation (poster, photo or other) about their Gap Term activities. Lesson 2: Summer Msmall Group Discussions 学習課題 復習: None 予習: Gap Term Presentation Lesson 3: Streamed Groups and Topic 1 Lesson A Students will be streamed into groups based on language test scores and communication ability. Students will have the opportunity to become acquainted with their teacher and their peers. Students will be introduced to the topics that will be covered during the course, the discussion cycle and overall course-evaluation. Lesson 4: Topic 1- Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 5: Topic 1 - Discussion Groups 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 6: Topic 2 Lesson A Students will participate in Christmas activities 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 7: Topic 2 Lesson B 学習課題 復習: TBA by mini-unit teacher 予習: TBA by mini-unit teacher Lesson 8: Topic 2 Discussion Groups 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 9: Topic 3 Lesson A 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 10: Halloween Party 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 11: Topic 3 Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 12: Topic 3 - Discussion Group 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 13: Topic 4 - Lesson A 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 14: Topic 4 - Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 15: Topic 4 - Lesson Discussion Groups This is the final lesson 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 16: Project 1 Lesson A 学習課題 復習: TBA by teacher 予習: TBA by teacher Lesson 17: Project 1 Lesson B 学習課題 復習: TBA by teacher

	予習 : TBA by teacher Lesson 18: Project 1 Lesson C 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 19: Christmas 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 20: Christmas 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 21: Project 2 Lesson A 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 22: Project 2 Lesson B 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 23: Project 2 Lesson C 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 24: Project 3 Lesson A 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 25: Project 3 Lesson B 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 26: Project 3 Lesson C 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 27: ENGLISH INTERVIEW 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 28: ENGLISH INTERVIEW 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 29: ENGLISH INTERVIEW 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher Lesson 30: ENGLISH INTERVIEW 学習課題 復習 : TBA by teacher 予習 : TBA by teacher
授業形態	exercises
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will complete discussions on 4 topics and complete 4 mini-projects. 2. Students will complete discussions on 4 topics and complete 4 mini-projects. 3. Students will make 8 video journals. 4. Students will prepare and participate in an English Interview. 5. Students will do peer-evaluations and self-evaluations.
	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on classroom engagement (35%), video journals (25%), mini-projects (20%) and English Interview (20%)
	Grades will be based on classroom engagement (35%), video journals (25%), mini-projects (20%) and English Interview (20%)
教科書・参考書	Cullen, B. & Mulvey, S. (2011). Scraps (3rd Ed.). Nagoya: Perceptia Press
履修条件	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement. Lessons will be taught entirely in English. To enroll, student must meet the minimum language requirement.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30.
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。		
授業計画	1	オリエンテーション：授業の進み方、アンケート調査、自己紹介	
	2	初：韓国語と文字、基本母音字、基本子音字 初中：～です、～ですか、～ではありません。	
	3	初：基本子音字（激音・濃音）、合成母音字、パッチム 初中：います、あります。	
	4	初：発音の変化 初中：～します、～しますか、何。	
	5	初：～です、～ですか。 初中：～します、～しますか、います、あります。	
	6	初：～ではありません。 初中：～です、～ます。ヨ体(～です、～ます)、～しに	
	7	初：います、あります。 初中：漢数詞、いくつ、～時～分	
	8	復習及び小テスト	
	9	初：～します、～しますか、何。 初中：敬語	
	10	初：～します、～しますか、います、あります。 初中：用語の否定、～するといいです	
	11	初：～です、～ます。 初中：過去形	
	12	初：ヨ体(～です、～ます)、～しに 初中：～しましょう	
	13	初：漢数詞 初中：～しています、～してください	
	14	初：いくつ、～時～分 初中：～できる、～できない	
	15	全体のまとめ	
授業形態	教科書を中心として講義を行い、必要に応じてプリント等を利用する。		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字と発音をしっかり学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。		
	授業参加度（30％）、小テスト（20％）、課題又はグループワーク（10％）、期末テスト（40％）		
	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。		
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明 著		
履修条件			
履修上の注意	予習・復習をしてくること		
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語の入門段階の学習のためハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実践会話に活用できるように練習する。		
授業計画	1	オリエンテーション：授業の進み方、アンケート調査、自己紹介 学習課題 復習 なし 予習 韓国語と文字、基本母音字、基本子音字について調べる	
	2	初：韓国語と文字、基本母音字、基本子音字 初中：～です、～ですか、～ではありません。 学習課題 復習 韓国語と文字、基本母音字、基本子音字についてもう一度確認する 予習 基本子音字（激音・濃音）、合成母音字、パッチムについて調べる	
	3	初：基本子音字（激音・濃音）、合成母音字、パッチム 初中：います、あります。 学習課題 復習 基本子音字（激音・濃音）、合成母音字、パッチムについてもう一度確認する 予習 発音の変化について調べる	
	4	初：発音の変化 初中：～します、～しますか、何。 学習課題 復習 発音の変化についてもう一度確認する 予習 「～です」「～ですか」と話す文法について調べる	
	5	初：～です、～ですか。 初中：～します、～しますか、います、あります。 学習課題 復習 「～です」「～ですか」と話す文法についてもう一度確認する 予習 「～ではありません」と話す文法について調べる	
	6	初：～ではありません。 初中：～です、～ます。ヨ体（～です、～ます）、～しに 学習課題 復習 「～ではありません」と話す文法についてもう一度確認する 予習 「います、あります」と話す文法について調べる	
	7	初：います、あります。 初中：漢数詞、いくつ、～時～分 学習課題 復習 「います、あります」と話す文法についてもう一度確認する 予習 小テストの準備をする	
	8	復習及び小テスト 学習課題 復習 小テストの内容についてもう一度確認する 予習 「～します、～しますか」と話す文法について調べる	
	9	初：～します、～しますか、何。 初中：敬語 学習課題 復習 「～します、～しますか」と話す文法についてもう一度確認する 予習 「～します、～しますか、います、あります」と話す文法について調べる	
	10	初：～します、～しますか、います、あります。 初中：用語の否定、～するといいいです 学習課題 復習 「～します、～しますか、います、あります」と話す文法についてもう一度確認する 予習 「～です、～ます」と話す文法について調べる	
	11	初：～です、～ます。 初中：過去形 学習課題 復習 「～です、～ます」と話す文法についてもう一度確認する 予習 ヨ体（～です、～ます）について調べる	
	12	初：ヨ体（～です、～ます）、～しに 初中：～しましょう 学習課題 復習 ヨ体（～です、～ます）についてもう一度確認する 予習 漢数詞について調べる	
	13	初：漢数詞 初中：～しています、～してください 学習課題 復習 漢数詞についてもう一度確認する 予習 「いくつ」「～時～分」と話す文法について調べる	
	14	初：いくつ、～時～分 初中：～できる、～できない 学習課題 復習 「いくつ」「～時～分」と話す文法についてもう一度確認する 予習 今までの学習内容をまとめる	
	15	全体のまとめ 学習課題 復習 授業全体で学んだ内容についてもう一度確認する 予習 なし	
授業形態	教科書を中心として講義を行い、必要に応じてプリント等を利用する。		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①文字と発音をしっかり学習することを目指す。 ②基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法の習得を目指す。 ③会話練習や書き取り、聞き取りなどを練習する。 ④韓国の文化に対する関心・理解を高める。		
	授業参加度（30％）、小テスト（20％）、課題又はグループワーク（10％）、期末テスト（40％）		
	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。		
教科書・参考書	基礎から学ぶ韓国語講座初級/木内明 著		
履修条件			

履修上の注意	予習・復習をしてくること
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	日本と同じように韓国でも会話の中でたくさんの慣用表現を使うため、慣用表現を学習していないと理解できないことが多い。 従って本授業では慣用句の表現とその使い方、関連する文法などを学習し会話につなげることで会話能力をさらにアップすることを目指す。		
授業計画	1 オリエンテーション 2 慣用表現：結婚式を挙げる、日にちを決める / 文法：～かと聞く 3 慣用表現：お腹が痛い、嫉妬する / 文法：～ように 4 慣用表現：耳がかゆい / 文法：～のようだ 5 慣用表現：厚かましい / 文法：～だと言うけど 6 慣用表現：すごい、あきれる / 文法：～模様だ 7 慣用表現：浮気をする / 文法：～にかかっている 8 慣用表現：極まりが悪い、とても恥ずかしい / 文法：～しようとする 9 小テスト及びグループワーク 10 慣用表現：冷や汗が出る / 文法：～していて 11 慣用表現：私の鼻が三尺 / 文法：～すればよかった 12 慣用表現：荷が重い / 文法：～を通じて 13 慣用表現：目をつぶる、見逃す / 文法：～ふりをする 14 慣用表現：烈火のごとく目を皿のようにする / 文法：～ても、～でも 15 全体まとめ		
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①基本的な語彙と短文の理解、簡単な会話、基礎文法などを定着させる。 ②日常生活で活用する簡単な言葉、短文を使うことができる。 ③読み書き、日常会話ができる。 ④慣用句の理解を高める。		
	授業参加度（30%）、小テスト（20%）、課題又はグループワーク（10%）、期末テスト（40%）		
	基本的には定期試験を中心にし、さらに授業態度・出欠状況・レポート・小テスト等を考慮して総合的に評価する。		
教科書・参考書	教科書：生きている韓国語 慣用語(株)ハングルパーク		
履修条件	ハングルの読み・書き及び基礎的な文法が分かる。		
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1 年	1 単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	本授業は韓国語の入門段階の学習を終えた学習者が会話、聞き取り、書き取りなどの能力を検証する段階である。 日常生活で最も使われてる韓国語会話を中心に学習し、反復練習をすることで様々な表現を身に付ける。	
授業計画	1	オリエンテーション
	2	第1課 挨拶 自己紹介と挨拶が出来る。
	3	第2課 日常生活 日常生活について話すことが出来る。否定文が使える。
	4	第3課 日にちと曜日 日にちと曜日を聞いたり答えたり出来る。
	5	振り返り
	6	第4課 位置 場所を聞いたり答えたり出来る。
	7	第5課 日課 時間を聞いたり答えたり出来る。
	8	第6課 買い物 値段を聞いたり品物を買ったりすることが出来る。
	9	振り返り
	10	演習 グループワーク
	11	第7課 週末 週末にしたことが説明出来る。理由を説明出来る。
	12	第8課 休暇 計画と希望が伝えることが出来る。
	13	振り返り
	14	演習 グループワーク
	15	まとめ
授業形態	講義・演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習者が実際に韓国訪問した際や韓国人との交流の中で必要な会話・マナー等を身につけるようにする。 ②あらゆる場面で適切な対応が出来るようになる。 ③演習を通して韓国語に多く触れ、韓国語に対する興味を深める。	
	授業参加度（30％）、小テスト（20％）、課題又はグループワーク（20％）、期末テスト（30％）	
	授業態度・出欠状況・レポート・小テスト・定期試験等を考慮して総合的に評価する。	
教科書・参考書	教科書 開かれた韓国語 初級1 図書出版 夏雨	
履修条件		
履修上の注意	ハングルの読み・書きができる。教科書には日本語が書いてありません。	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。 個人のレベルに応じてクラス分けを行う。	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	本授業は中国語の聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。また、4技能を総合的に育成するために、以下のように指導を充実する。 ① 自らの考えなどを相手に伝えるための「発信力」やコミュニケーションの中で基本的な語彙や文構造に重点を置く ② 「聞くこと、読むこと」を通じて得た知識等について学生自らの体験や考えなどと結び付けさせる ③ 本文を導入する際に、挿絵や写真を用いたオーラルイントロダクションを聞かせ、要約文や感想を書かせるなど、本文の内容を再確認させる		
授業計画	1	第一課 読む中国語① 学習課題 復習：中国語の発音 予習：ピンインと四声 ① 唐詩『静夜思』を読む ② 詩歌の意味を理解する	
	2	第二課 聞く中国語① 学習課題 復習：第一課の主要内容 予習：物の見え方と数え方 ① 数の読み方 ② 数量の表現 ③ 指示と数量 ④ 発音の特徴の説明と答え合わせ	
	3	第三課 話す中国語① 学習課題 復習：第二課の主要内容 予習：挨拶語 ① 初対面の挨拶 ② 名刺の交換 ③ 常用フレーズ20	
	4	第四課 書く中国語① 学習課題 復習：第三課の主要内容 予習：文の基本的枠組み ① 一語文、一句文 ② 基本構文と主題化 ③ 時間（時点と時間量）	
	5	第五課 読む中国語② 学習課題 復習：第四課の主要内容 予習：早口言葉 ① 四と十の発音練習 ② SとSH、CとCH、ZとZHの違い ③ 早口言葉	
	6	第六課 聞く中国語② 学習課題 復習：第五課の主要内容 予習：中国の歌 ① 歌詞を理解する ② 歌うときの発音の特徴 ③ 歌を聴きながら、声調をつける	
	7	第七課 話す中国語② 学習課題 復習：第六課の主要内容 予習：尋ねるフレーズ ① 道を尋ねる ② 電話で用件を聞く ③ 人の名前、年齢などを聞く ④ 常用フレーズ20	
	8	第八課 書く中国語② 学習課題 復習：第七課の主要内容 予習：自分の態度・相手への働きかけ ① 場所と存在・移動 ② 疑問・否定 ③ 願望・必要	
	9	第九課 読む中国語③ 学習課題 復習：第八課の主要内容 予習：中国の新聞記事	

	①新聞記事の内容を理解する ②長文を読む時の注意点 ③抑揚、リズムとアクセント 第十課 聞く中国語③ 学習課題 復習：第九課の主要内容 予習：中国語検定について調べる ①中国語検定を紹介する ②リスニング問題練習 ③答え合わせ 第十一課 話す中国語③ 学習課題 復習：第十課の主要内容 予習：メニューの見方 ①料理の注文 ②メニューの見方 ③勘定の言い方 ④常用フレーズ20 第十二課 書く中国語③ 学習課題 復習：第十一課の主要内容 予習：機能文の構造 ①命令・依頼・可能 ②推定・伝聞 第十三課 聞く中国語④ 学習課題 復習：第十二課の主要内容 予習：李白の詩歌 ① 李白の『廬山の滝を望む』を聞く ② 詩歌の意味を理解する ③ 詩歌を聞き取る 第十四課 話す中国語④ 学習課題 復習：第十三課の主要内容 予習：中国の交通機関 ① バスの乗り方 ② 列車の切符の買い方 ③ 飛行機のチケットの買い方 ④ 会話の練習 第十五課 書く中国語④ 学習課題 復習：第十四課の主要内容 予習：事物の性質・様態 ①数量表現 ②修飾語
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 正確な中国語の発音ができる。 ② 正しいアクセントで短文を読むことができる。 ③ 日常会話力を身につける。 ④ ピンインなしで中国語を読むことができる。 ⑤ HSK中国語検定1級にチャレンジできる。
	定期試験の成績を60%とし口頭・筆記試験を行う。口頭試験では、ピンインの読み方、四声・アクセントの正確さなどが確認される。筆記試験は文法と翻訳を中心に問題を出す。
	授業態度、口頭練習の積極性30%、定期試験（筆記）30%、定期試験（口頭）40%。
教科書・参考書	テキスト：特に指定しない。プリント配布。 参考書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	
履修上の注意	特に基礎となる発音練習を真面目にすること。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	一般的に、外国語の学習には「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能が大切、とされている。それぞれの能力は独立しつつも、お互いに深く関係しており、この四つの力をバランスよく伸ばすことが大切とされている。ぜひ、積極的に語学力を身につけてください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	本授業は、中国語の語学の勉強を中国の社会・文化事情の中に入れて、進行するものである。授業は、配布資料のほか、映像を用いて諸テーマに関わる説明を行い、学生に理解を深めてもらう。		
授業計画	1	中国の国土と地理 学習課題 復習：オリエンテーションの内容の確認とシラバスの概要を読むこと 予習：中国の国土と地理について調べる ① 中国の地図を紹介する ② 中国首都名・省名・省都名・主要都市などを紹介する ③ 中国首都・主要都市を地図で確認する ④ 世界の中の中国 ⑤ 西高東低の地形 ⑥ 大陸性温帯モンスーン気候 ⑦ 三つの主要な自然地域	
	2	中国の歴史 学習課題 復習：第①の主要内容 予習：中国の歴史について調べる。 ① 辛亥革命以前の歴史を概観する ② 封建王朝の中で、主に秦、唐、清の三つの王朝を挙げて紹介する ③ 皇帝について説明する ④ 中国共産党と国民党について解説する ⑤ 中華人民共和国の成立について解説する ⑥ 台湾問題	
	3	中国の経済事情 学習課題 復習：第②の主要内容 予習：社会主義について調べる ① 社会主義体制の形成 ② 社会主義経済 ③ 改革開放と中国経済 ④ 中国モデル社会主義の帰結 ⑤ 上海万博、北京オリンピックの開催 ⑥ 中国の高度経済成長とその問題点	
	4	中国の人口問題 学習課題 復習：第③の主要内容 予習：中国の人口、一人っ子政策について調べる ① 中国の人口爆発とその構図変動 ② 一人っ子政策の登場から法制化へ ③ 中国における人口、食糧問題 ④ 一人っ子政策の直面する難題 ⑤ 巨大中国都市にみる人口 ⑥ 人口高齢化と社会保障制度 ⑦ 少数民族人口事情	
	5	中国の食文化 学習課題 復習：第④の主要内容 予習：中華料理について調べる ① 中国の食文化の歴史 ② 地域分類と八大菜系 ③ 中華料理の調理方法と食事マナー ④ 日本における四大中国料理 ⑤ 食の安全問題	
	6	中国の環境問題 学習課題 復習：第⑤の主要内容 予習：PM2.5について調べる ① 中国の大気汚染と経済発展 ② PM2.5と越境大気汚染 ③ 中国の水事情	
	7	中国の観光 学習課題 復習：第⑥の主要内容 予習：海外旅行の基礎知識について調べる ① 中国旅行の基礎知識 ② 注意事項 ③ 中国の有名な観光スポット	

	8	中国の文学① 学習課題 復習：第⑦の主要内容 予習：中国の古典文学 ① 『三國演義』の作者と紹介 ② 『西遊記』の作者と紹介 ③ 『水滸伝』の作者と紹介 ④ 『紅樓夢』の作者と紹介
	9	中国の文学② 学習課題 復習：第⑧の主要内容 予習：中国の近現代文学 ① 魯迅と日本 ② 武俠小説と金庸 ③ 言情小説
	10	中国の思想 学習課題 復習：第⑨の主要内容 予習：孔子・孟子について調べる ① 孔子と論語 ② 孟子と性善説
	11	中国の教育 学習課題 復習：第⑩の主要内容 予習：中国の教育について調べる ① 中国の小学校 ② 中国の中学校 ③ 中国の高校 ④ 中国の大学
	12	中国の祝祭日 学習課題 復習：第⑪の主要内容 予習：中国の旧正月について調べる ① 中国の旧正月の過ごし方 ② 年越しの風習 ③ 端午節、七夕節、重陽節
	13	中国の道教 学習課題 復習：第⑫の主要内容 予習：中国の道教について調べる ① 道教とは ② 道教の神様 ③ 道教と道観 ④ 道教と中国文化
	14	中国の遊びとゲーム 学習課題 復習：第⑬の主要内容 予習：中国の遊び・ゲームについて調べる ① 中国の人気の遊び、ゲームについて紹介する ② 一つのゲームを取りあげて。ルールの説明をする ③ グループに分けてチャンレンジする
	15	総括 学習課題 復習：第⑭の主要内容 予習：レポートをまとめる ① 課題をレポートにまとめる ② 発表する

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 中国社会に関心を持ち、自ら資料などを探し、より深く知ろうとする。 ② マスコミで報道されている中国像と比較して、客観的に中国を知ることができる。 ③ 中国語でコミュニケーションを取ることができる。 ④ 中国社会、文化、風習について理解でき、日本社会と比較できる。 ⑤ HSK中国語検定2級にチャレンジできる。
	定期試験の成績を40%とし筆記試験を行う。筆記試験は授業のテーマごとに記述問題を出す。また、定期的に課題レポートを出し、その内容を評価する。
	授業態度、口頭練習の積極性30%、課題レポート30%、定期試験40%。
教科書・参考書	テキスト：特に指定しない。 参考書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	
履修上の注意	中国の留学生と積極的にコミュニケーションを取ってほしい。留学生から中国文化事情を聴き、お互いに意見交換をしてほしい。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	外国のことを学ぶ大事な目的の一つは「相手とのコミュニケーション」である。お互いに理解し合えば、相手との距離はぐっと縮まる。皆さんと最後まで楽しく中国語を学び、そして学んだことでたくさんの友人を作ることができるよう願っている。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	日本政府は2008年に観光庁を発足させるなど、海外からの観光客の受け入れに力を入れるようになり、その中で日本へやってくる中国語圏からの観光客は大きな割合を占めている。これからは、日本人が中国人を受け入れ、日本を案内するという状況がどんどん増えていくことが考えられる。授業を通じて、初級から中級へステップアップ。また、語学だけではなく、中国各地の主な見所や役に立つ情報について解説し、世界遺産を含む中国各地の名所旧跡や名物料理などを紹介する。 ①日本人学習者が苦手な発音を習得することと、ピンインの読み方に慣れることを目標にした発音練習。 ②本文で学んだ表現から1～2個を取り上げて、語句の置き換え練習を行う。 ③本文で学んだ表現を応用した短文や会話の練習を行う。		
授業計画	1	発音練習① 学習課題 復習：四声、声調 予習：テキスト9頁～11頁 ① 声調と単母音 ② そり舌母音 ③ 練習と答え合わせ	
	2	発音練習② 学習課題 復習：発音練習①の主要内容 予習：テキスト12頁～13頁 ①複合母音 ②I O UとU E Iの綴りの変化 ③練習と答え合わせ	
	3	発音練習③ 学習課題 復習：発音練習②の主要内容 予習：テキスト14頁～15頁 ①子音、無気音と有気音、そり舌音 ②発音と綴りの違い ③練習と答え合わせ	
	4	発音練習④ 学習課題 復習：発音練習③の主要内容 予習：テキスト16頁～17頁 ①鼻母音 ②NとNG発音の違い、I A NとI A N Gの違い ③練習と答え合わせ	
	5	発音練習⑤ 学習課題 復習：発音練習④の主要内容 予習：テキスト18頁～21頁 ①発音の規則、声調の変化 ②半三声、否定副詞不の変調、一の変調 ③R化の発音 ④中国語の音節構造	
	6	第一課 北京① 学習課題 復習：発音練習⑤の主要内容 予習：テキスト24頁～27頁 ①人称代名詞 ②動詞述語文 ③副詞の「不」と「也」	
	7	第二課 北京② 学習課題 復習：第一課の主要内容 予習：テキスト28頁～31頁 ①数詞と曜日 ②名詞述語文 ③所有と存在を表す「有」	
	8	第三課 北京③	

9	学習課題 復習：第二課の主要内容 予習：テキスト32頁～35頁 ①「想」（したい）の表現 ②距離・時間の隔たりを表す「？」 第四課 北京④
	学習課題 復習：第三課の主要内容 予習：テキスト36頁～41頁 ①時刻の言い方、 ②連動文 ③「有点儿」「不太」の表現 ④北京の紹介 第五課 泰山・黄山
	学習課題 復習：第四課の主要内容 予習：テキスト42頁～45頁 ①選択疑問文「？是」 ②姓と名の言い方 ③動詞の連体修飾 ④「？」（～は？）、「可以」の表現 第六課 西安
	学習課題 復習：第五課の主要内容 予習：テキスト46頁～49頁 ①年月日、数量詞、完了の「了」 ②時点と時間の幅、「多」+形容詞、「太～了」の表現 第七課 成都
	学習課題 復習：第六課の主要内容 予習：テキスト頁50頁～53頁 ①「的」の省略（親族関係） ②主述述語文 ③親族の言い方 第八課 九寨溝
	学習課題 復習：第七課の主要内容 予習：テキスト54頁～59頁 ①前置詞「在」 ②動詞+「个」+目的語 ③動詞の重ね型 第九課 雲南省①
15	学習課題 復習：第八課の主要内容 予習：テキスト60頁～63頁 ①方位詞、存現文、「不用～」、様態補語、持続を表す「着」 ②「有」+名詞+動詞、金銭の言い方、経験を表す「？」 総括 学習課題 復習：第九課の主要内容 予習：発表原稿の準備 ①前期の授業内容をまとめる ②学生による発表会を行う

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 中国語で日常会話をすることができる。 ② 日中文化の違いを類別できる。 ③ 中国語だけではなく、日中社会、文化の比較にも関心を持つ。 ④ 中国社会、文化などについて理解できる。 ⑤ HSK中国語検定2級にチャレンジできる。
	定期試験の成績を60%とし口頭試験を行う。口頭試験では、ピンインの読み方、四声・アクセントの正確さなどが確認される。
	授業態度、口頭練習の積極性40%、定期試験（口頭）60%。
教科書・参考書	テキスト：『旅して学ぶ中国語』、楊凱榮・張麗群、朝日出版社。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示する。
履修条件	中国、台湾籍以外の学生。
履修上の注意	声調（四声）を意識しながら、発声練習をしておくこと。

オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	中国語という言語だけでなく、中国の文化や風習など、すべて貪欲に吸収してほしい。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目指し、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
授業計画	Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。

	予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Shadowingシャドーイング G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Shadowingスキヤニング G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 評価テスト
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、英検 2 級レベル入学は、TOEIC (CASEC) 540 点、英検準 2 級レベルの入学者は、TOEIC (CASEC) 400 点、英検 3 級レベルの入学者は、TOEIC (CASEC) 200 点を目指します。 特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。 ① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、授業態度及び授業中に課す課題（20%）
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	

履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	--

授業計画	Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
------	---

	予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Shadowingシャドーイング G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Shadowingスキヤニング G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 評価テスト
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、英検 2 級レベル入学は、TOEIC (CASEC) 540 点、英検準 2 級レベルの入学者は、TOEIC (CASEC) 400 点、英検 3 級レベルの入学者は、TOEIC (CASEC) 200 点を目指します。特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。 ① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようになる。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80％）、授業態度及び授業中に課す課題（20％）
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	

履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う
授業計画	Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3
 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
 Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1
 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 1
 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 2
 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
 Listening Section: Shadowing シャドーイング
 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
 Reading Section: Shadowing スキャンニング
 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。
 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
 評価テスト

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、英検 2 級レベル入学は、TOEIC (CASEC) 540 点、英検準 2 級レベルの入学者は、TOEIC (CASEC) 400 点、英検 3 級レベルの入学者は、TOEIC (CASEC) 200 点を目指します。特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。 ① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80％）、授業態度及び授業中に課す課題（20％）
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	金曜（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	日本政府は2008年に観光庁を発足させるなど、海外からの観光客の受け入れに力を入れるようになり、その中で日本へやってくる中国語圏からの観光客は大きな割合を占めている。これからは、日本人が中国人を受け入れ、日本を案内するという状況がどんどん増えていくことが考えられる。授業を通じて、道を訊く、ホテルを予約する、買い物をする、等々の実用表現を身につける。また、HSK中国語検定資格（1級）取得にチャレンジする。		
授業計画	1	UNIT 1 中国語と漢字 予習：簡体字と繁体字 復習：ピンイン	
	2	UNIT 2 発音編 1・母音 予習：単母音、二重母音、三重母音、鼻母音 復習：簡体字と繁体字	
	3	UNIT 3 発音編 2・子音 予習：子音の発音 復習：単母音、二重母音、三重母音、鼻母音	
	4	UNIT 4 動詞述語文 1 予習：「是」の用法、人称代詞、指示代詞 復習：子音の発音	
	5	UNIT 5 動詞述語文 2 予習：中国語の語順 復習：「是」の用法、人称代詞、指示代詞	
	6	UNIT 6 形容詞述語文 予習：「很」「太」の用法 復習：中国語の語順	
	7	UNIT 7 名詞述語文 予習：名詞述語文の用法 復習：「很」「太」の用法	
	8	UNIT 8 数字と量詞 予習：代表的な数字・量詞 復習：名詞述語文の用法	
	9	UNIT 9 疑問代詞を使った疑問文 1 予習：数の尋ね方 復習：代表的な数字・量詞	
	10	UNIT 10 疑問代詞を使った疑問文 2 予習：中国語の疑問代詞 復習：数の尋ね方	
	11	UNIT 11 能願動詞 予習：「能」「会」「想」の用法 復習：中国語の疑問代詞	
	12	UNIT 12 動詞述語文 3 予習：動詞の重ね型 復習：「能」「会」「想」の用法	
	13	UNIT 13 存在と場所 予習：名詞の場所化 復習：動詞の重ね型	
	14	UNIT 14 「在」の用法 予習：動詞以外の「在」の用法 復習：名詞の場所化	
	15	UNIT 15 HSK1級試験対策 予習：1級試験模擬問題	

	復習：前期の内容
授業形態	1. 日本人学習者が苦手な発音を習得することとピンインの読み方になれることを目標にした発音練習。 2. 本文で学んだ表現から1～2個を取り上げて、語句の置き換え練習を行う。 3. 本文で学んだ表現を応用した短文や会話の練習を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	遅刻回数、板書をノートに写す度合などを授業態度の評価基準とし、また、授業中の発言や発音練習の様子を口頭練習の積極性の評価基準とする。定期試験の成績を70%とし口頭・筆記試験を行う。口頭試験では、ピンインの読み方、四声・アクセントの正確さなどが確認される。筆記試験は文法と翻訳を中心に問題を出す。
教科書・参考書	教科書：特になし。適宜授業中に指示する。 参考書：宮岸雄介（2012年）『中国語検定HSK公認テキスト1級』株式会社中央印刷。
履修条件	母国語が中国語である学生は履修できない。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	外国語を学ぶ大事な目的の一つは「相手とのコミュニケーション」である。言葉ができれば、相手との距離はぐっと縮まる。皆さんと最後まで楽しく中国語を学び、そして学んだ中国語でたくさんの友人を作ることができるよう願っている。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	韓国語能力試験は大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験です。韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されています。 本授業は韓国語能力試験（TOPIK）を収得するために必要である文法・書取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	イントロダクション 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験（TOPIK）という試験について調べておく	
	2	トピックとは 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）の内容についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの文法について調べておく	
	3	文法 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの文法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの読解について調べておく	
	4	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの読解でより難しい内容について調べておく	
	5	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストを準備する	
	6	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	7	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	8	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの聞き取りでより難しい内容について調べておく	
	9	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストを準備する	
	10	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	11	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	12	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	13	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	14	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）のという試験についてもう一度確認する 予習 なし	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度（30%）、小テスト（20%）、定期試験（50%） 到達目標 ①韓国語能力試験（TOPIK）Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験（TOPIK）Iを受けるために韓国語を基礎から学習し理解することができる。 ③基礎的な韓国語が活用できるようになる。 ④韓国語の構造を理解した上、より正確な発音の区別できる。 ⑤韓国語能力試験（TOPIK）Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。		

教科書・参考書	テキスト：各授業ごとに配布 参考書：韓国語能力試験TOPIKなど
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験は大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験です。韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されています。 本授業は韓国語能力試験(TOPIK)を収得するために必要である文法・書取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	イントロダクション 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) という試験について調べておく	
	2	トピックとは 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) の内容についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの文法について調べておく	
	3	文法 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの文法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解について調べておく	
	4	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解でより難しい内容について調べておく	
	5	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストを準備する	
	6	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	7	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	8	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りでより難しい内容について調べておく	
	9	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストを準備する	
	10	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	11	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	12	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	13	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	14	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) のという試験についてもう一度確認する 予習 なし	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (30%)、小テスト (20%)、定期試験 (50%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) Iの基礎的な「読解」についてある程度把握できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「読解」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。		

教科書・参考書	テキスト：各授業ごとに配布 参考書：韓国語能力試験TOPIKなど
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進捗やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
宮崎 陽子			

講義概要	模擬試験形式を含めながら、日本語能力の各分野（文字・語彙・文法・読解・聴解）の総合的な力を身に付けていく。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	2	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	3	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	4	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	5	日本語能力試験 日本語能力試験 読解 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	6	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 3 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	7	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	8	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 4 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	9	日本語能力試験 日本語能力試験 読解 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	10	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 5 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	11	日本語能力試験 日本語能力試験 聴解 3 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	12	日本語能力試験 日本語能力試験 文字・語彙・文法 6 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	13	日本語能力試験 日本語能力試験 読解 3 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	14	模擬試験 模擬試験 1 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
	15	模擬試験 模擬試験 2 学習課題 予習： 次回の授業の問題に目を通しておく。 復習： 勉強した内容を理解しなおす。	
授業形態	演習		

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本語能力試験N2・N3の「文字・語彙」問題に対応できる ②日本語能力試験N2・N3の「文法」問題に対応できる ①日本語能力試験N2・N3の「読解」問題に対応できる ①日本語能力試験N2・N3の「聴解」問題に対応できる ①日本語能力試験N3を取得する力を身に付けることを目標に、自己の能力を把握し、各分野の能力を総合的に向上させる 平素の学習意欲（20％）を重視し、小テスト、課題（30％）および定期試験（50％）により行う。
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
富場 康			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験2級・3級」を受験するに当たり、十分対応できるように、各分野（語彙・文法・読解・聴解）での、日本語力の向上を図って、将来の合格可能性を最大限高めていく。なお積極的質問は大歓迎である。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進め方 心構えなど 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	2	日本留学試験1 読解1（平易な内容から始める） 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	3	日本留学試験2 読解2 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	4	日本留学試験3 読解3 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	5	日本留学試験4 読解4 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	6	日本留学試験5 聴読解1 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	7	日本留学試験6 聴読解2 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	8	日本留学試験7 聴読解3 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	9	日本語能力試験① 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	10	日本語能力試験② 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	11	日本語能力試験③ 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	12	日本語能力試験④ 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	13	日本語能力試験⑤ 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	14	日本語能力試験⑥ 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	
	15	模擬試験（日本語能力試験、日本語留学試験） 予習：次回の授業の問題に目を通しておく。 復習：勉強した内容を理解する。	

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自己のコミュニケーション力を確認し、目標設定をする。日本の生活に慣れるため、基本的な会話ができる。 ②日本語能力試験において、上級者はN2、中級者はN3取得を目指す。 ③日本人と留学生との合同作業で多様な文化や価値観の違いを知ることができる。 ④日本社会における基本的なマナーの重要性を知り、その用語および所作を知ることができる。 ⑤日本のビジネス全体に通用する基本的な日本語を身に付ける。
	平素の学習意欲を重視し、小テストおよび定期試験により行う。
	平素の学習意欲（20％）、授業中の小テスト（30％）、定期試験（50％）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。その他の参考書は随時当方で準備する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
授業計画	Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検2級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準2級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 1

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 2

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Listening Section: Shadowingシャドーイング

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Shadowingスキヤニング

- G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習
- G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習
- G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

評価テスト

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC) 400点を目指します。 特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。 ① Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar: 苦手とする文法を理解する。 ③ Composition: 基本的な英作文ができるようにする。

	④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80％）、授業態度及び授業中に課す課題（20％）
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。
------	--

授業計画	Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。
------	---

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 1

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 2

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Listening Section: Shadowingシャドーイング

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

Reading Section: Shadowingスキニング

G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習

G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習

G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習

復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと。

予習: 教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。

評価テスト

授業形態

演習

評価の観点、評価
手段・方法、評価
比率

このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC) 400点を目指します。

特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。

- ① Vocabulary, Idiom: 語彙やイディオムを増やす。
- ② Grammar: 苦手とする文法を理解する。
- ③ Composition: 基本的な英作文ができるようにする。

	④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80％）、授業態度及び授業中に課す課題（20％）
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
園田 靖			

講義概要	目安として (G1) 英検2級以上レベル、(G2) 2級レベル、(G3) 準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストはVocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listeningを含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。		
授業計画	1	Listening Section: Part 1 Photographs 写真描写問題 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	2	Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	3	Listening Section: Part 2 Question-Response 応答問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	4	Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	5	Listening Section: Part 3 Short Conversation 会話問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	6	Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	7	Listening Section: Part 4 Short Talks 説明文問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	8	Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	9	Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。	

	予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 10 Reading Section: Part 5 Incomplete Sentences 短文穴埋め問題 3 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 11 Reading Section: Part 6 Text Completion 長文穴埋め問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 12 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 1 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 13 Reading Section: Part 7 Reading Comprehension 読解問題 2 G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14 Listening Section: Shadowingシャドーイング G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15 Reading Section: Shadowingスキニング G1) TOEIC (600点程度) の模擬問題、解説、復習 G2) 英検 2 級問題の模擬問題、解説、復習 G3) 英検準 2 級問題の模擬問題、解説、復習 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16 評価テスト
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	このタームの終了時の目標として、G1は、TOEIC(CASEC) 700点、G2は、TOEIC(CASEC) 500点、G3は、TOEIC(CASEC) 400点を目指します。 特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。 ① Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 ② Grammar：苦手とする文法を理解する。 ③ Composition：基本的な英作文ができるようにする。 ④ Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 ⑤ Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。 授業への取り組み・姿勢、予習・復習の状況、筆記試験で総合的に評価する。 筆記試験（80%）、授業態度及び授業中に課す課題（20%）
教科書・参考書	（レベルに合わせたクラス分け後に）授業中に指示します。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	金曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして積極的に取り組むこと。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	日本政府は2008年に観光庁を発足させるなど、海外からの観光客の受け入れに力を入れるようになり、その中で日本へやってくる中国語圏からの観光客は大きな割合を占めている。これからは、日本人が中国人を受け入れ、日本を案内するという状況がどんどん増えていくことが考えられる。授業を通じて、道を訊く、ホテルを予約する、買い物をする、等々の実用表現を身につける。また、HSK中国語検定資格（2級）取得にチャレンジする。		
授業計画	1	UNIT 1 数字表現 予習：時刻と時間、年月日 復習：前期の内容	
	2	UNIT 2 数量の表現 予習：量詞の使い方 復習：時刻と時間、年月日	
	3	UNIT 3 中国語の前置詞・介詞 予習：場所や比較、対象、方向を示す介詞 復習：量詞の使い方	
	4	UNIT 4 能願動詞 1 予習：3つの「できる」 復習：場所や比較、対象、方向を示す介詞	
	5	UNIT 5 能願動詞 2 予習：「要」の用法 復習：「3つのできる」	
	6	UNIT 6 動詞述語文 予習：動詞述語文の用法 復習：「要」の用法	
	7	UNIT 7 副詞の使い方 予習：副詞の語順と意味 復習：動詞述語文の用法	
	8	UNIT 8 疑問文 予習：正反疑問文 復習：副詞の語順と意味	
	9	UNIT 9 完了のアスペクト 予習：「了」の用法 復習：正反疑問文	
	10	UNIT 10 進行・持続のアスペクト 予習：進行・持続のアスペクト 復習：「了」の用法	
	11	UNIT 11 経験・将来のアスペクト 予習：「過」「要…了」の用法 復習：進行・持続のアスペクト	
	12	UNIT 12 禁止・使役の表現 予習：禁止・使役の言い方 復習：「過」「要…了」の用法	
	13	UNIT 13 語気助詞 予習：疑問、省略、推量、変化の表現	

	1 4 復習：禁止・使役の言い方 UNIT 1 4 補語・複文 予習：補語の意味・用法 復習：疑問、省略、推量、変化の表現 1 5 UNIT 1 5 HSK中国語検定2級対策 予習：HSK中国語検定2級試験模擬問題 復習：後期の内容
授業形態	1. 日本人学習者が苦手な発音を習得することとピンインの読み方になれることを目標にした発音練習。 2. 本文で学んだ表現から1～2個を取り上げて、語句の置き換え練習を行う。 3. 本文で学んだ表現を応用した短文や会話の練習を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	遅刻回数、板書をノートに写す度合などを授業態度の評価基準とし、また、授業中の発言や発音練習の様子を口頭練習の積極性の評価基準とする。定期試験の成績を70%とし口頭・筆記試験を行う。口頭試験では、ピンインの読み方、四声・アクセントの正確さなどが確認される。筆記試験は文法と翻訳を中心に問題を出す。
教科書・参考書	教科書：特になし。適宜授業中に指示する。 参考書：宮岸雄介（2012年）『中国語検定HSK公認テキスト1級』株式会社中央印刷。
履修条件	母国語が中国語である学生は履修できない。
履修上の注意	原則として、外国語検定Ⅰを履修してから、Ⅱを履修してください。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	外国語を学ぶ大事な目的の一つは「相手とのコミュニケーション」である。言葉ができれば、相手との距離はぐっと縮まる。皆さんと最後まで楽しく中国語を学び、そして学んだ中国語でたくさんの友人を作ることができるよう願っている。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	韓国語能力試験は大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験です。韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されています。本授業は韓国語能力試験（TOPIK）を取得するために必要である文法・書取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	イントロダクション 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験（TOPIK）という試験について調べておく	
	2	トピックとは 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）の内容についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの文法について調べておく	
	3	文法 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの文法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解について調べておく	
	4	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解でより難しい内容について調べておく	
	5	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストを準備する	
	6	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	7	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく	
	8	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りでより難しい内容について調べておく	
	9	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストを準備する	
	10	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	11	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく	
	12	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	13	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく	
	14	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱレベルの聞き取りについて調べておく	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験（TOPIK）のという試験についてもう一度確認する 予習 なし	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度（30%）、小テスト（20%）、定期試験（50%） 到達目標 ①韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの基礎的な「読解」についてある程度把握できる。 ③韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの「読解」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験（TOPIK）Ⅱのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。		

教科書・参考書	テキスト：各授業ごとに配布 参考書：韓国語能力試験TOPIKなど
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進捗やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
李 載宇			

講義概要	韓国語能力試験は大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験です。韓国語（ハングル）の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示するとともに、韓国語の普及や試験結果の学習・留学・就職等への活用などを目的に、世界70カ国以上で一斉に実施されています。 本授業は韓国語能力試験(TOPIK)を収得するために必要である文法・書取り・読解などを学習した上で模擬試験を行い、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにする。		
授業計画	1	イントロダクション 学習課題 復習 なし 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) という試験について調べておく	
	2	トピックとは 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) の内容についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの文法について調べておく	
	3	文法 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの文法についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解について調べておく	
	4	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解でより難しい内容について調べておく	
	5	読解 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの読解についてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストを準備する	
	6	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	7	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	8	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りでより難しい内容について調べておく	
	9	聞き取り 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについてもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストを準備する	
	10	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	11	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	12	模擬テスト 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストの問題をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をチェックする	
	13	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	14	模擬テストの解説 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの模擬テストで間違った内容をもう一度確認する 予習 韓国語能力試験 (TOPIK) Iレベルの聞き取りについて調べておく	
	15	全体まとめ 学習課題 復習 韓国語能力試験 (TOPIK) のという試験についてもう一度確認する 予習 なし	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度 (30%)、小テスト (20%)、定期試験 (50%) 到達目標 ①韓国語能力試験 (TOPIK) Iの合格基準、格科目の細部内容、問題の構成などについて把握できる。 ②韓国語能力試験 (TOPIK) Iの基礎的な「読解」についてある程度把握できる。 ③韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「読解」問題にある程度対応できる。 ④韓国語能力試験 (TOPIK) Iの「聞き取り」問題にある程度対応できる。 ⑤韓国語能力試験 (TOPIK) Iのレベルに合わせた単語をある程度覚えることができる。		

教科書・参考書	テキスト：各授業ごとに配布 参考書：韓国語能力試験TOPIKなど
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	学習者の学習進捗やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験1級・2級・3級」を受験する際に対応できるように、前者の「読解」「聴読解」「聴解」及び後者の「文字・語彙」「読解・文法」「聴解」の分野での日本語力の向上を図りながら、日本語の総合的な力を高める。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題 復習：プレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：「読解1」の語句を調べておく。	
	2	日本留学試験1 日本留学試験 読解1 学習課題 復習：「読解1」の問題をやり直す。 予習：「読解2」の語句を調べておく。	
	3	日本留学試験2 日本留学試験 読解2 学習課題 復習：「読解2」の問題のやり直し。 予習：「読解3」の語句を調べておく。	
	4	日本留学試験3 日本留学試験 読解3 学習課題 復習：「読解3」の問題のやり直し。 予習：「聴読解1」の語句を調べておく。	
	5	日本留学試験4 日本留学試験 聴読解1 学習課題 復習：「聴読解1」のスキットの見直し。 予習：「聴読解2」の語句を調べておく。	
	6	日本留学試験5 日本留学試験 聴読解2 学習課題 復習：「聴読解2」のスキットの見直し。 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	7	日本留学試験6 日本留学試験 聴解1 学習課題 復習：「聴解1」のスキットの見直し。 予習：「聴解2」の語句を調べておく。	
	8	日本留学試験7 日本留学試験 聴解2 学習課題 復習：「聴解2」のスキットの見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の語句を調べておく。	
	9	日本語能力試験1 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）1 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の語句を調べておく。	
	10	日本語能力試験2 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）2 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の語句を調べておく。	
	11	日本語能力試験3 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）3 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の語句を調べておく。	
	12	日本語能力試験4 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）4 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の問題の見直し。 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	13	日本語能力試験5 日本語能力試験 聴解1 学習課題 復習：「聴解1」の問題の見直し。 予習：「聴解2」の語句を調べておく。	
	14	日本語能力試験6 日本語能力試験 聴解2 学習課題 復習：「聴解2」の問題の見直し。 予習：「聴解3」の語句を調べておく。	
	15	日本語能力試験 聴解3 日本語能力試験 聴解3 学習課題 復習：「聴解3」の問題の見直し。 予習：定期試験の準備をする。	

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①日本留学試験の「読解」問題にだいたい対応できる。 ②日本留学試験の「聴読解・聴解」問題にだいたい対応できる。 ③日本語能力試験1・2・3級の「言語知識（文字・語彙・文法）」問題にだいたい対応できる。 ④日本語能力試験1・2・3級の「読解」問題にだいたい対応できる。 ⑤国内大学への編入学や日本での就職に必要な検定の点数や内容を把握することができる。
	平素の学習意欲（20％）を重視し、授業中の小テスト（30％）および試験など（50％）により行う。
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業中に随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日の1コマ目（9:10-10:40）に研究室までどうぞ。
備考・メッセージ	意欲的に取り組んでください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験1級・2級・3級」を受験する際に対応できるように、前者の「読解」「聴読解」「聴解」及び後者の「文字・語彙」「読解・文法」「聴解」の分野での日本語力の向上を図りながら、日本語の総合的な力を高める。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題 復習：プレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：「読解1」の語句を調べておく。	
	2	日本留学試験1 日本留学試験 読解1 学習課題 復習：「読解1」の問題をやり直し。 予習：「読解2」の語句を調べておく。	
	3	日本留学試験2 日本留学試験 読解2 学習課題 復習：「読解2」の問題のやり直し。 予習：「読解3」の語句を調べておく。	
	4	日本留学試験3 日本留学試験 読解3 学習課題 復習：「読解3」の問題のやり直し。 予習：「聴読解1」の語句を調べておく。	
	5	日本留学試験4 日本留学試験 聴読解1 学習課題 復習：「聴読解1」のスキットの見直し。 予習：「聴読解2」の語句を調べておく。	
	6	日本留学試験5 日本留学試験 聴読解2 学習課題 復習：「聴読解2」のスキットの見直し。 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	7	日本留学試験6 日本留学試験 聴解1 学習課題 復習：「聴解1」のスキットの見直し。 予習：「聴解2」の語句を調べておく。	
	8	日本留学試験7 日本留学試験 聴解2 学習課題 復習：「聴解2」のスキットの見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の語句を調べておく。	
	9	日本語能力試験1 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）1 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の語句を調べておく。	
	10	日本語能力試験2 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）2 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の語句を調べておく。	
	11	日本語能力試験3 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）3 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の語句を調べておく。	
	12	日本語能力試験4 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）4 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の問題の見直し。 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	13	日本語能力試験5 日本語能力試験 聴解1 学習課題 復習：「聴解1」の問題の見直し。 予習：「聴解2」の語句を調べておく。	
	14	日本語能力試験6 日本語能力試験 聴解2 学習課題 復習：「聴解2」の問題の見直し。 予習：「聴解3」の語句を調べておく。	
	15	日本語能力試験 聴解3 日本語能力試験 聴解3 学習課題 復習：「聴解3」の問題の見直し。 予習：定期試験の準備をする。	

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①日本留学試験の「読解」問題にだいたい対応できる。 ②日本留学試験の「聴読解・聴解」問題にだいたい対応できる。 ③日本語能力試験1・2・3級の「言語知識（文字・語彙・文法）」問題にだいたい対応できる。 ④日本語能力試験1・2・3級の「読解」問題にだいたい対応できる。 ⑤国内大学への編入学や日本での就職に必要な検定の点数や内容を把握することができる。
	平素の学習意欲（20％）を重視し、授業中の小テスト（30％）および試験など（50％）により行う。
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業中に随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日の1コマ目（9:10-10:40）に研究室までどうぞ。
備考・メッセージ	意欲的に取り組んでください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7rdQ	2年	1単位	選択
担当教員			
冨場 康			

講義概要	・日常生活における日本語運用力向上につながるように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づいた、能力差に配慮した授業を行う ・日本語能力試験N1・N2の試験対策の練習問題を学習する		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション ＜学習課題＞ 復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型1」の語句を調べる。	
	2	文型1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める1。 ＜学習課題＞ 復習：「文型1」の確認・見直し 予習：「文型2」の語句を調べる。	
	3	文型2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める2。 ＜学習課題＞ 復習：「文型2」の確認・見直し 予習：「文型3」の語句を調べる。	
	4	文型3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める3。 ＜学習課題＞ 復習：「文型3」の確認・見直し 予習：「文型4」の語句を調べる。	
	5	文型4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める4。 ＜学習課題＞ 復習：「文型4」の確認・見直し 予習：「文章1」の語句を調べる。	
	6	文章1 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める1。 ＜学習課題＞ 復習：「文章1」の確認・見直し 予習：「文章2」の語句を調べる。	
	7	文章2 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める2。 ＜学習課題＞ 復習：「文章2」の確認・見直し 予習：「文章3」の語句を調べる。	
	8	文章3 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める3。 ＜学習課題＞ 復習：「文章3」の確認・見直し 予習：「文章4」の語句を調べる。	
	9	文章4 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める1。 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞ 復習：「文章4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べる。	
	10	聴解1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める2。 ＜学習課題＞ 復習：「聴解1」のスキットの見直し 予習：「聴解2」の語句を調べる。	
	11	聴解2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く1。 ＜学習課題＞ 復習：「聴解2」のスキットの見直し 予習：「聴解3」の語句を調べる。	
	12	聴解3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く2。 ＜学習課題＞ 復習：「聴解3」のスキットの見直し 予習：「聴読解1」の語句を調べる。	
	13	聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く3。 ＜学習能力＞ 復習：「聴読解から1」のスキットの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べる。	
	14	聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く4。 ＜学習能力＞ 復習：「聴読解から2」のスキットの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べる。	

	15 聴読解から3 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く5。 ＜学習能力＞ 復習：「聴読解から3」のスキットの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習した文型を使って話したり書いたりする表現力を高める。 ②聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ③聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ④興味ある話題や課題等について、質疑応答できる表現力を高める。 ⑤様々な場面で学習内容を円滑に運用できる表現力を高める。
	平素の学習意欲（30%） レポート・発表（20%） 定期試験（50%）
	平素の学習意欲（30%） レポート・発表（20%） 定期試験（50%）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	・日常生活における日本語運用力向上につながるよう配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づいた、能力差に配慮した授業を行う ・日本語能力試験N1・N2の試験対策の練習問題を学習する		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション ＜学習課題＞ 復習：オリエンテーションの確認 予習：「文型1」の語句を調べる。	
	2	文型1 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める1。 ＜学習課題＞ 復習：「文型1」の確認・見直し 予習：「文型2」の語句を調べる。	
	3	文型2 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める2。 ＜学習課題＞ 復習：「文型2」の確認・見直し 予習：「文型3」の語句を調べる。	
	4	文型3 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める3。 ＜学習課題＞ 復習：「文型3」の確認・見直し 予習：「文型4」の語句を調べる。	
	5	文型4 様々な文型を使って、話したり書いたりする表現力を高める4。 ＜学習課題＞ 復習：「文型4」の確認・見直し 予習：「文章1」の語句を調べる。	
	6	文章1 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める1。 ＜学習課題＞ 復習：「文章1」の確認・見直し 予習：「文章2」の語句を調べる。	
	7	文章2 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める2。 ＜学習課題＞ 復習：「文章2」の確認・見直し 予習：「文章3」の語句を調べる。	
	8	文章3 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める3。 ＜学習課題＞ 復習：「文章3」の確認・見直し 予習：「文章4」の語句を調べる。	
	9	文章4 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める1。 文や文章を読む学習を通して、話したり書いたりする表現力を高める。 ＜学習課題＞ 復習：「文章4」の確認・見直し 予習：「聴解1」の語句を調べる。	
	10	聴解1 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める2。 ＜学習課題＞ 復習：「聴解1」のスキプトの見直し 予習：「聴解2」の語句を調べる。	
	11	聴解2 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く1。 ＜学習課題＞ 復習：「聴解2」のスキプトの見直し 予習：「聴解3」の語句を調べる。	
	12	聴解3 聴解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める3 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く2。 ＜学習課題＞ 復習：「聴解3」のスキプトの見直し 予習：「聴読解1」の語句を調べる。	
	13	聴読解から1 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く3。 ＜学習能力＞ 復習：「聴読解から1」のスキプトの見直し 予習：「聴読解から2」の語句を調べる。	
	14	聴読解から2 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く4。 ＜学習能力＞ 復習：「聴読解から2」のスキプトの見直し 予習：「聴読解から3」の語句を調べる。	

	15 聴読解から3 聴読解能力を高める訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする表現力を高める。 日本語能力試験N1・N2対策の問題を解く5。 ＜学習能力＞ 復習：「聴読解から3」のスキットの見直し 予習：試験の準備
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①学習した文型を使って話したり書いたりする表現力を高める。 ②聴解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ③聴読解能力を高めながら話したり書いたりする表現力を高める。 ④興味ある話題や課題等について、質疑応答できる表現力を高める。 ⑤様々な場面で学習内容を円滑に運用できる表現力を高める。 平素の学習意欲（30%） レポート・発表（20%） 定期試験（50%）
	平素の学習意欲（30%） レポート・発表（20%） 定期試験（50%）
	平素の学習意欲（30%） レポート・発表（20%） 定期試験（50%）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
宮崎 陽子			

講義概要	・読んだり聞いたりする学習が幅広い生活の表現力向上に生きてはたらくように配慮しながら授業を行う ・学生の表現能力の実態に基づきながら、能力差に配慮した授業を行う
授業計画	1 授業に関するオリエンテーション 2 文型から1 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 3 文型から2 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 4 文型から3 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3 5 文型から4 様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける4 6 文章から1 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける1 7 文章から2 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける2 8 文章から3 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける3 9 文章から4 文や文章を読む学習を通して、基礎的な書く力を身につける4 10 聴解から1 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 11 聴解から2 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 12 聴解から3 聴解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3 13 聴読解から1 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける1 14 聴読解から2 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける2 15 聴読解から3 聴読解能力を養う訓練を繰り返しながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける3
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な文型を使って話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ②多くの分野の文章を読むことによって、基礎的な書く力を身につける。 ③聴解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ④聴読解能力を養いながら、話したり書いたりする基礎的な表現力を身につける。 ⑤興味ある話題や課題等について、話したり書いたりする表現力をより多く身につける。 平素の学習意欲 (20%) レポート・発表 (20%) 定期試験 (60%)
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業で随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	受講者の日本語能力を考慮しながらテキストおよびさまざまな教材やプリントを用い、日本語の総合的な読解（文字・語彙・文法）力を高めていく。受講者の活発な質疑応答を期待する。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 学習課題 復習：オリエンテーションの確認 予習：「第1課」の語句の意味を調べる。	
	2	第1課 平易な教材を読み進めながら、文法力を高める。 学習課題 復習：「第1課」の確認 予習：「第2課」の語句の意味を調べる。	
	3	第2課 平易な教材を読み進めながら、さまざまな文法を理解する。 学習課題 復習：「第2課」の確認 予習：「第3課」の語句の意味を調べる。	
	4	第3課 日本語の平易な短文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「第3課」の確認 予習：「第4課」の語句の意味を調べる。	
	5	第4課 日本語の平易な短文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「第4課」の確認 予習：「第5課」の語句の意味を調べる。	
	6	第5課 日本語の平易な短文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「第5課」の確認 予習：「第6課」の語句の意味を調べる。	
	7	第6課 日本語の平易な短文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「第6課」の確認 予習：「第7課」の語句の意味を調べる。	
	8	第7課 日本語の平易な短文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題 復習：「第7課」の確認 予習：「第8課」の語句の意味を調べる。	
	9	第8課 日本語の平易な長文を読み、その中の語句の意味と使い方を理解する。 学習課題 復習：「第8課」の確認 予習：「第9課」の語句の意味を調べる。	
	10	第9課 日本語の平易な長文を読み、新しい文型、文構成を理解する。 学習課題 復習：「第9課」の確認 予習：「第10課」の語句の意味を調べる。	
	11	第10課 日本語の平易な長文を読み、必要な情報を理解する。 学習課題 復習：「第10課」の確認 予習：「第11課」の語句の意味を調べる。	
	12	第11課 日本語の平易な長文を読み、内容を理解する。 学習課題 復習：「第11課」の確認 予習：「第12課」の語句の意味を調べる。	
	13	第12課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。	

	学習課題 復習：「第12課」の確認 予習：「第13課」の語句の意味を調べる。 14 第13課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題 復習：「第13課」の確認 予習：「第14課」の語句の意味を調べる。 15 第14課 日本語の平易な長文を読み、論点や要旨をつかむ。 学習課題 復習：「第14課」の確認 予習：定期試験の準備
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日常的な話題についての文章を読んで、内容がだいたい理解できる。 ②日常的な話題についての記事を読んで、論点や要旨がだいたい理解できる。 ③日常的な場面での文章を読んで、必要な情報がとれる。 ④現代日本語の基礎的な文法がだいたい理解できる。 ⑤理解した文法を、日常的な表現に生かすことができる。 平素の学習意欲（20％）を重視し、学習状況並びに試験（50％）などにより行う。 日頃のノート（30％）についても随時点検し、評価の対象とする。
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	金曜日4限
備考・メッセージ	・欠席の場合は、必ずメールで連絡すること（連絡法については授業開始時に指示する）。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力試験中級3級合格を目指す内容を扱う。	
授業計画	1	オリエンテーション 自己紹介、近接環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。
	2	初歩的内容の読解 (A) 語彙・語法の解説 (A) 基本漢字 (A)
	3	初歩的内容の読解 (B) 語彙・語法の解説 (B) 基本漢字 (B) 1分間スピーチ
	4	初歩的内容の読解 (C) 語彙・語法の解説 (C) 基本漢字 (C) 1分間スピーチ
	5	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (D) 基本漢字 (D) 1分間スピーチ
	6	N3程度の読解 (A) 語彙・語法の解説 (E) 基本漢字 (E) 1分間スピーチ
	7	N3程度の読解 (B) 語彙・語法の解説 (F) 基本漢字 (F) 1分間スピーチ
	8	N3程度の読解 (C) 語彙・語法の解説 (G) 基本漢字 (G) 1分間スピーチ
	9	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (H) 基本漢字 (H) 1分間スピーチ
	10	N3程度の読解 (D) 語彙・語法の解説 (I) 基本漢字 (I) 1分間スピーチ
	11	N3程度の読解 (E) 語彙・語法の解説 (J) 基本漢字 (J) 1分間スピーチ
	12	N3程度の読解 (F) 語彙・語法の解説 (K) 基本漢字 (K) 1分間スピーチ
	13	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (L) 基本漢字 (L) 1分間スピーチ
	14	新聞記事の読解 N3模擬試験
	15	定期試験にむけての復習 質問受付 (N3模擬試験)
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本の生活に必要な基本的会話と心得るべき最低限度のマナーを身に付ける。 ②とりあえず小学上級学年レベルの読解を身に付け、基本的漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。 ③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話が楽しめるようにする。 ④中級者全員がN3に、90点以上での合格を目指す。	

	受講中の意欲（質問や目の輝き）を重視し、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。 学習意欲（20%） 小テスト（30%） 定期試験（50%）
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
岩見 真知子			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力検定試験 2 級以上合格を目指す内容を扱う。		
授業計画	1	オリエンテーション 自己紹介、近隣環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。	
	2	中級内容の読解 (A) 語彙・語法の解説 (A) ビジネス漢字 (A)	
	3	中級内容の読解 (B) 語彙・語法の解説 (B) ビジネス漢字 (B) 1分間スピーチ	
	4	中級内容の読解 (C) 語彙・語法の解説 (C) ビジネス漢字 (C) 1分間スピーチ	
	5	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (D) ビジネス漢字 (D) 1分間スピーチ	
	6	N2程度の読解 (A) 語彙・語法の解説 (E) ビジネス漢字 (E) 1分間スピーチ	
	7	N2程度の読解 (B) 語彙・語法の解説 (F) ビジネス漢字 (F) 1分間スピーチ	
	8	N2程度の読解 (C) 語彙・語法の解説 (G) ビジネス漢字 (G) 1分間スピーチ	
	9	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (H) ビジネス漢字 (H) 1分間スピーチ	
	10	N2程度の読解 (D) 語彙・語法の解説 (I) ビジネス漢字 (I) 1分間スピーチ	
	11	N2程度の読解 (E) 語彙・語法の解説 (J) ビジネス漢字 (J) 1分間スピーチ	
	12	N2程度の読解 (F) 語彙・語法の解説 (K) ビジネス漢字 (K) 1分間スピーチ	
	13	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (L) ビジネス漢字 (L) 1分間スピーチ	
	14	新聞記事の読解 N2模擬試験	
	15	定期試験に向けての復習 質問受付 (N2模擬試験)	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本の生活に必要な基本的会話及びビジネスシーンでのマナー、的確な敬語の運用力を身に付ける。 ②N2上級レベルの読解を身に付け、ビジネス漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。 ③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話が楽しめるようにする。 ④N2 (以上) 合格を目指す。		

	受講中の意欲 レポート等課題提出、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。 学習意欲（20％）小テスト（20％）定期試験（50％）課題への取り組み（10％）
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	一刻も早く日本の生活に慣れるよう基本的会話に習熟し、まずはとりあえず日本語能力検定試験2級以上合格を目指す内容を扱う。		
授業計画	1	オリエンテーション 自己紹介、近隣環境の案内、必要に応じて身近な情報の提供など。	
	2	中級内容の読解 (A) 語彙・語法の解説 (A) ビジネス漢字 (A)	
	3	中級内容の読解 (B) 語彙・語法の解説 (B) ビジネス漢字 (B) 1分間スピーチ	
	4	中級内容の読解 (C) 語彙・語法の解説 (C) ビジネス漢字 (C) 1分間スピーチ	
	5	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (D) ビジネス漢字 (D) 1分間スピーチ	
	6	N2程度の読解 (A) 語彙・語法の解説 (E) ビジネス漢字 (E) 1分間スピーチ	
	7	N2程度の読解 (B) 語彙・語法の解説 (F) ビジネス漢字 (F) 1分間スピーチ	
	8	N2程度の読解 (C) 語彙・語法の解説 (G) ビジネス漢字 (G) 1分間スピーチ	
	9	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (H) ビジネス漢字 (H) 1分間スピーチ	
	10	N2程度の読解 (D) 語彙・語法の解説 (I) ビジネス漢字 (I) 1分間スピーチ	
	11	N2程度の読解 (E) 語彙・語法の解説 (J) ビジネス漢字 (J) 1分間スピーチ	
	12	N2程度の読解 (F) 語彙・語法の解説 (K) ビジネス漢字 (K) 1分間スピーチ	
	13	(各分野の小テスト) 語彙・語法の解説 (L) ビジネス漢字 (L) 1分間スピーチ	
	14	新聞記事の読解 N2模擬試験	
	15	定期試験に向けての復習 質問受付 (N2模擬試験)	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本の生活に必要な基本的会話及びビジネスシーンでのマナー、的確な敬語の運用力を身に付ける。 ②N2上級レベルの読解を身に付け、ビジネス漢字の習得に力を注ぎ、日頃の生活のより円滑な暮らしに資する。 ③日本社会に溶け込むより自然な発話能力を高め、日本人学生とのスムーズな会話が楽しめるようにする。 ④N2 (以上) 合格を目指す。		

	受講中の意欲 レポート等課題提出、その他、数回の小テストおよび定期試験で評価する。 学習意欲（20％）小テスト（20％）定期試験（50％）課題への取り組み（10％）
教科書・参考書	使用テキスト：開講はじめに指示する。 参考書：必要に応じて指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
岩見 真知子			

講義概要	「日本語能力試験1～2級」の合格力めざして、「文字・語彙・読解・文法」等のオールランドな分野の日本語力を、できるだけ早急に高めていくことを主眼とする。 主体的な学習態度・活発な質疑大歓迎。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業および日本の習慣など 早期に取り組みやすくするための必要事項にふれる。	
	2	演習① 初級段階の日本語の習得度を確認し基礎的な内容から始める。	
	3	演習② 平易な内容の教材で語彙・文法を学習。	
	4	演習③ 前項目の内容に、語彙力を養成するために、小学低学年用教科書から入って様子を見る。	
	5	演習④ 「演習③」を補強、進展させる。「書く」力も養成する。(単語レベル)	
	6	演習⑤ 前回同様の内容ながら、初歩的なつまづきを防ぐ。	
	7	演習⑥ 基礎内容の充実に力を入れる。	
	8	演習⑦ Term Exam に向けての復習	
	9	演習⑧ 使い慣れつつある教材の持続使用とともに、新聞記事、随筆物などとり入れる。	
	10	演習⑨ できれば、テーマをあたえての文を書き、発表の場を設ける。	
	11	演習⑩ 平易な教材の使用と、易しい内容の読み物(新聞記事、随筆物)を扱う。	
	12	演習⑪ 「演習⑩」の継続学習	
	13	演習⑫ 演習⑩の継続学習	
	14	演習⑬ 演習⑩の継続学習	
	15	2nd Term Exam に向けての復習	
授業形態	選択		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①普段の生活で、おおまかな意思疎通がとれる聴解の能力をつけることができる。 ②おおよそ必要とされる基本的漢字、カタカナ、ひらがななどで表記される内容がほぼ理解できる。 ③日本人特有の感覚を察知できる。(講義の気持ちなど) ④自分の言いたいことを、表現して発言できる。 ⑤日本人学生との会話が楽しめる。 受講中の積極的態度を重視し、小テストおよび本試験などによる定期試験(50%)、学習態度(20%)、小テスト(30%)		
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ			

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
宮崎 陽子			

講義概要	「日本語能力試験1～2級」の合格力めざして、「文字・語彙・読解・文法」等のオールランドな分野の日本語力を、できるだけ早急に高めていくことを主眼とする。 主体的な学習態度・活発な質疑大歓迎。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業および日本の習慣など 早期に取り組みやすくするための必要事項にふれる。	
	2	演習① 初級段階の日本語の習得度を確認し基礎的な内容から始める。	
	3	演習② 平易な内容の教材で語彙・文法を学習。	
	4	演習③ 前項目の内容に、語彙力を養成するために、小学低学年用教科書から入って様子を見る。	
	5	演習④ 「演習③」を補強、進展させる。「書く」力も養成する。(単語レベル)	
	6	演習⑤ 前回同様の内容ながら、初歩的なつまづきを防ぐ。	
	7	演習⑥ 基礎内容の充実に力を入れる。	
	8	演習⑦ Term Exam に向けての復習	
	9	演習⑧ 使い慣れつつある教材の持続使用とともに、新聞記事、随筆物などとり入れる。	
	10	演習⑨ できれば、テーマをあたえての文を書き、発表の場を設ける。	
	11	演習⑩ 平易な教材の使用と、易しい内容の読み物(新聞記事、随筆物)を扱う。	
	12	演習⑪ 「演習⑩」の継続学習	
	13	演習⑫ 演習⑩の継続学習	
	14	演習⑬ 演習⑩の継続学習	
	15	2nd Term Exam に向けての復習	
授業形態	選択		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①普段の生活で、おおまかな意思疎通がとれる聴解の能力をつけることができる。 ②おおよそ必要とされる基本的漢字、カタカナ、ひらがななどで表記される内容がほぼ理解できる。 ③日本人特有の感覚を察知できる。(講義の気持ちなど) ④自分の言いたいことを、表現して発言できる。 ⑤日本人学生との会話が楽しめる。 受講中の積極的態度を重視し、小テストおよび本試験などによる定期試験(50%)、学習態度(20%)、小テスト(30%)		
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ			

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	選択
担当教員			
宮崎 陽子			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。 また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。
授業計画	1. イン트로ダクション 課題：次回の予習 — プリントを配布 2. ギャップイヤーを振り返ろう ①シートにまとめる。 ②ペアまたはグループで発表する。 ③仲間の報告を聞き取りまとめる。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 3. おもしろい名前を探そう—商品パッケージ1 ①お菓子や食品のパッケージからユニークな名前がついているものを探し、なぜその名前になったか想像してみる 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 4. リサイクルマークを探そう—商品パッケージ2 ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味を話し合う。 ②自国の商品パッケージとの比較、またリサイクルや健康意識と比較しグループで発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 5. 新聞の見出しを読み解こう ①新聞の見出しから、どんなニュースを伝えようとしているのか想像し発表し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 6. 漫画のストーリーを考えてみよう ①いくつかの漫画のコマを見て、順番を決め、それぞれどのような場面か話し合いストーリーを完成させる。 擬態語・擬音語を考える 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 7. 友達にインタビューしよう1 ①質問文を考える ②インタビューをする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 8. 友達にインタビューしよう2 ①インタビューの内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで発表し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 9. 友達にインタビューしよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 10. 周りの人にインタビューしてみよう1 ①質問文を考える ②インタビューする（携帯電話などで録音、録画する） 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 11. 周りの人にインタビューしてみよう2 ①インタビューした内容をまとめる ②内容を精査し、聞きたかった内容が質問できたか判断する グループで話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 12. 周りの人にインタビューしてみよう3 ①自分がインタビューした内容を発表する（録音・録画資料を使って） ②仲間の発表に対して質問する 振り返る—自分のインタビューについて、また仲間のインタビューの良かった点について話し合う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 13. 一年を振り返ろう ①もっとも印象に残っていることや、失敗したこと、日本の生活で驚いたことなど、仲間と話し合う。 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 14. 授業のまとめ1 ①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布 15. 授業のまとめ2

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習 — プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
	授業参加度（積極性）、課題・グループワーク、小テスト、定期試験
	授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
教科書・参考書	教科書：授業で指示する。 参考書：授業をとおして紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
富場 康			

講義概要	幅広い話題に対応できる日本語力を高めていく。その際、必要となる語彙や文法も併せて紹介し理解を深める。会話力の向上を目指す授業なので、ペアやグループワークが中心。また、会話だけではなく、ある一つのテーマについて人に伝える力も身に着けるため、時折、簡単なプレゼンテーションを行う。2年生の後半なので、日本語能力試験対策として過去の問題を解くことで能力向上を図る。		
授業計画	1	1. イン트로ダクション 課題：次回の予習 — プリントを配布	
	2	2 場面別の敬語を学習する1 ①訪問する ②簡単に挨拶する 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	3	3 場面別の敬語を学習する2 ③誘う ④お願いする 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	4	4 場面別の敬語を学習する3 ①さまざまな商品パッケージから「リサイクルマーク」、「健康に関することば」を見つけ出し、言葉の意味⑤断る ⑥申し出る 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	5	5 場面別の敬語を学習する4 ⑦お詫びする ⑧意見を言う 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	6	6 場面別の敬語を学習する5 ⑨予約を受ける ⑩サービスの敬語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	7	7 場面別の敬語を学習する6 ⑪相談を受ける ⑫スピーチをする 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	8	8 場面別の敬語を学習する7 ⑬面接を受ける ⑭電話の敬語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	9	9 場面別の敬語を学習する8 ⑮インタビューする ⑯報告をする 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	10	10 場面別の敬語を学習する9 ⑰司会の敬語 ⑱メールの敬語 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	11	11 日本語能力試験対策1 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	12	12 日本語能力試験対策2 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	13	13 日本語能力試験対策3 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 ④聴解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	14	14 日本語能力試験対策4 ①言語知識（文字・語彙） ②文法 ③読解 ④聴解 課題：授業の復習と予習 — プリントを配布	
	15	15 授業のまとめ1	

	①すべての授業を振り返り、自分で理解度を確認する 課題：授業の復習 — プリントを配布
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①既知の文法や語彙を会話場面で適切に使うことができるようになる。 ②特定の話題について、考えを述べ合い、相互の文化や習慣・考えの理解を深める。 ③さまざまな教材に接しながら、読む・書く・聞く・話すなどの基本的な技能を向上させる。 ④基本的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ⑤日本語能力試験等、資格取得に向けて必要となる日本語表現を身に着ける。 授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
	授業参加度（積極性）、課題・グループワーク、小テスト、定期試験
	授業参加度（積極性）20%、課題・グループワーク20%、小テスト10%、定期試験50%
教科書・参考書	教科書：授業で指示する。 参考書：授業をとおして紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受け付けます
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
小嶋 栄子			

講義概要	この講義はさまざまなテーマの日本語を聞き、外国語Ⅰ・外国語Ⅱよりもさらに複雑な日本語の聴解・聴読解を行なう授業である。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーション 復習：オリエンテーションの内容を配布物等でしっかり把握し、15回の授業の展開をイメージする。	
	2	聴解の基礎 1 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 復習：「繰り返しの練習」のスク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	3	聴解の基礎 2 繰り返しの練習を通して聴解の力を高める 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	4	聴解 1 留学生ライフに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	5	聴解 2 キャンパス事務手続きに関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	6	聴解 3 講義中の話題に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	7	聴解 4 日常生活の会話に関する聴解練習 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	8	聴読解 1 留学生ライフに関する聴読解練習 1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	9	聴読解 2 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習 1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	10	聴読解 3 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習 2 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	11	聴読解 4 キャンパス事務連絡に関する聴読解練習 3 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	12	聴読解 5 講義中の話題に関する聴読解練習 1 予習：復習テストに備える。 復習：スク립トを読んで語句の意味を確認する。	
	13	聴読解 6 講義中の話題に関する聴読解練習 2 予習：復習テストに備える。	

	14 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 総合実践 1 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 15 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。 総合実践 2 日本語能力試験に備え模擬テストをする。 復習：スクリプトを読んで語句の意味を確認する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①自然な速さの講義の内容を聞き取れる。 ②テーマに関係する語彙の聞き取りがほぼできる。 ③テーマに関係する文章の内容がほぼ理解できる。 ④テーマについて、時事等を踏まえて話すことができる。 ⑤日本語能力試験の取得を目指す。（上級：N1、中級：N2） 評価方法 平素の学習意欲（20%） 発言や発表（30%） 日頃の小試験や授業後の試験（50%）
教科書・参考書	教科書：最初の授業で指示する。 参考書：授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	質問等があれば、木曜日 3 コマ目（13:10-14:40）に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	受講者の皆さんの活発な質疑応答を期待します。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	新聞や雑誌、インターネット上の文章等多様な資料を使って学習すると共に様々な場面を設定して演習につなげる。		
授業計画	1	イントロダクション レベルテストや授業について説明を行う。	
	2	安否 安否を聞くときに必要な表現を学習し文章を作る。 作った文章を会話につなげる。	
	3	外見 前回の授業で学習した単語をテストする。 人の外見を韓国語で表現できる。 作った文章を会話につなげる。	
	4	食べ物 前回の授業で学習した単語をテストする。 韓国の食べ物について学習し文章を作る。 作った文章を会話につなげる。	
	5	旅行 前回の授業で学習した単語をテストする。 旅行の時必要な表現を学習し実際旅行に行った時の場面を設定して会話する。	
	6	学校生活 前回の授業で学習した単語をテストする。 大学の紹介や学校生活について韓国語で文章を作る。 作った文章を会話につなげる。	
	7	振り返り	
	8	招待と訪問 前回の授業で学習した単語をテストする。 韓国人の人を招待したり人の家を訪問する時のマナーと会話について学習する。	
	9	後悔と失敗 前回の授業で学習した単語をテストする。 後悔と失敗に関するタイトルとした文章を学習する。	
	10	住居 前回の授業で学習した単語をテストする。 韓国での生活の中で住居について学習し文章を作る。 作った文章を会話につなげる。	
	11	性格 前回の授業で学習した単語をテストする。 人の性格について韓国語で説明する。	
	12	就職と面接 前回の授業で学習した単語をテストする。 就職と面接の時に必要な韓国語を学習し会話につなげる。	
	13	予約 前回の授業で学習した単語をテストする。 航空券やホテルなどを韓国語で予約できるように学習する。	
	14	作る(グループワーク) 学習したことを活用してグループで会話文を作る。	
	15	発表(グループワーク) 作った文章を会話につなげる。	
授業形態	講義・演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業参加態度（30％）、小テスト（10％）、課題（20％）、発表(40％) 到達目標 ①長文を問題なく読むことができる。 ②日常生活に必要な様々な表現を学習し会話表現力を高める。 ③学習した内容がある程度活用できる。 ④韓国語で質問された時ある程度対応できる。 ⑤与えられた課題についてある程度韓国語で作文ができる。		
	授業参加態度、復習テスト、発表内容を総合して評価する		

教科書・参考書	各授業ごとに配布 参考書 簡単に学ぶ韓国語会話 中級 1
履修条件	読み書きが出来る
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	学習進度やレベルに応じて、学習計画に変更が生じることがある。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	短大での総まとめ英語学習として、TEDトークを教材に、総合的な英語力を高めます。「自分たちが素晴らしい」と思うアイデアを広く効率的に人々に伝えることを目的としているTEDトークを教材として、英語力を高めるとともに、様々な知識を増やします。		
授業計画	1	TED Talk 1 ケン・ロビンソン「学校教育は創造性を殺してしまっている」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	2	TED Talk 1 ケン・ロビンソン「学校教育は創造性を殺してしまっている」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	3	TED Talk 2 エイミー・カディ 「ボディランゲージが人を作る」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	4	TED Talk 2 エイミー・カディ 「ボディランゲージが人を作る」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	5	TED Talk 3 サイモン シネック：優れたリーダーはどうやって行動を促すか 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	6	TED Talk 3 サイモン シネック：優れたリーダーはどうやって行動を促すか 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	7	TED Talk 4 ブレナー・ブラウン：傷つく心の力 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	8	TED Talk 4 ブレナー・ブラウン：傷つく心の力 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	9	TED Talk 5 アンソニー・ロビンズ 「何が人を動かすのか」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	10	TED Talk 5 アンソニー・ロビンズ 「何が人を動かすのか」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	11	TED Talk 6 ダニエル・ピンク 「やる気に関する驚きの科学」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 1 2 TED Talk 6 ダニエル・ピンク 「やる気に関する驚きの科学」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 1 3 TED Talk 7 キャメロン・ラッセル 「ルックスだけが全てじゃない。モデルの私が言うんだから信じて」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 1 4 TED Talk 7 キャメロン・ラッセル 「ルックスだけが全てじゃない。モデルの私が言うんだから信じて」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 1 5 ジュリアン・トレジャー「人を惹きつける話し方」 ジュリアン・トレジャー「人を惹きつける話し方」 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16 まとめ 評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①語彙力を高めることができる。 ②リスニング力を高めることができる。 ③話させる内容理解力を高めることができる。 ④話される内容に対して、英語もしくは日本語で自分の意見を言えることができる。 ⑤英語のスク립トを簡潔に要約することができる。 授業態度(40%)およびレポートあるいは定期試験(60%)で総合的に評価する。 授業態度(40%)、レポートあるいは定期試験(60%)
教科書・参考書	レベル別のテキストとなるため、授業中に支持する。その他、プリントを配布する。
履修条件	
履修上の注意	授業計画は、進捗状況によって内容が前後することがある。
オフィスアワー	木曜日：14:50～16:20
備考・メッセージ	英語学習は、継続が重要です。毎日、英語に触れるようにしてください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ & 4thQ	1年	2単位	必修
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	この授業では、本学が訪問する可能性がある諸外国を中心として国の概要をはじめ、さまざまなテーマに基づいて見聞を深める。それと同時に私たちが住む日本の文化を客観的に捉え、日本文化の特徴を捉える。		
授業計画	1	オリエンテーション	
	2	衣食住について1 諸外国の衣食住について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	3	衣食住について2 諸外国の衣食住について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	4	衣食住について3 諸外国の衣食住について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	5	言語について1 諸外国の言語について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	6	言語について2 諸外国の言語について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	7	伝統について1 諸外国の伝統について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	8	伝統について2 諸外国の伝統について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	9	言語について2 諸外国の言語について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	10	外部講師 海外生活を送ったことのある外部講師を招き、現地の文化を学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	11	教育について1 諸外国の教育について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	12	教育について2 諸外国の教育について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	13	産業について1 諸外国の産業について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	

	14 産業について2 諸外国の産業について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 15 産業について3 諸外国の産業について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①本学が訪問する可能性がある諸外国の基本情報を知り、説明ができる。 ②諸外国の文化の特徴を把握できる。 ③日本文化の特徴を見出すことができる。 ④授業で得た知識を机上の知識ではなく、自分の経験と照らし合わせて考えることができる。 ⑤新聞等における世界のニュースを知り、実生活と結びつけて考えることができる。 評価方法 学習意欲（50%）試験（50%）
	○関心・意欲・態度（訪問する可能性がある国を中心とした諸外国について、積極的に調べ、知ろうという意欲が見られる。）：授業プリント20% ○思考・判断（諸外国と日本とを比較し、諸外国、日本、それぞれの文化について考えることができる。）：授業プリント20% ○技能・表現（諸外国と日本とを比較し、諸外国、日本、それぞれの文化について自分なりに整理することができる。）：授業プリント10% ○知識・理解（諸外国についての基本情報を把握することができる。）：小テスト50%
教科書・参考書	教科書はない。適宜プリントを配布する。 参考書は授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業がないときはいつでも研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	「知りたい」という気持ちを持つ人、大歓迎です。 積極的に調べ、積極的に人の話を聞き、積極的に発言をすることを期待します。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
章 潔 ・ 李 載宇			

講義概要	本授業は日本の衣生活、食生活、住生活、つきあいの四つに分かれ、日本文化を解説するものである。日本における日常生活での衣食住にまつわるしきたりや人とのつきあい、とくに「個人より組織優先」、「ウチとソト」、「上下関係」などの行動様式については、留学生には奇異なもの、不可解なものと映るようである。本授業では、なぜそうするのか、なぜそうなったのかなど、それぞれの時代背景を説明することによって、少しでも日本の文化への誤解をなくし、外国から来た留学生が日本の社会で気持ち良く暮らせるようにしたい。		
授業計画	1	衣生活① 学習課題 復習：日本文化に対する不可解な点を自分なりにまとめておく。 予習：日本の衣生活	
		① 紋付き羽織袴 ② 留袖 ③ 振袖	
	2	衣生活② 学習課題 復習：衣生活①の内容 予習：日本の衣生活	
		① はっぴ ② はんてん ③ ゆかた	
	3	衣生活③ 学習課題 復習：衣生活② 予習：日本の衣生活	
		① 背広 ② 学生服	
	4	食生活① 学習課題 復習：衣生活③ 予習：日本の食生活	
		① 和食の特徴 ② 米 ③ 旬 ④ 和食器 ⑤ 盛り付け	
	5	食生活② 学習課題 復習：食生活① 予習：日本の食生活	
		① 本膳料理 ② 懐石料理 ③ 会席料理	
	6	食生活③ 学習課題 復習：食生活② 予習：日本の食生活	
		① 食事のマナー ② 箸の使い方	
	7	食生活④ 学習課題 復習：食生活③ 予習：日本の食生活	
		① おせち料理 ② そば すし てんぷら ③ すきやき カレーライス ラーメン	
	8	住生活① 学習課題 復習：食生活④ 予習：日本の住生活	
		① 玄関 ② 和室 ③ 押入れ	
	9	住生活② 学習課題 復習：住生活① 予習：日本の住生活	
		① 台所 ② 風呂	

	③ 手洗い 住生活③ 学習課題 復習：住生活② 予習：日本の住生活 ① 礼金・敷金・仲介料 ② 賃貸契約 ③ 入居時注意事項 ④ 退居時注意事項 ⑤ 連帯保証人 1 1 つきあい① 学習課題 復習：住生活③ 予習：日本のつきあい ① 「ウチ」と「ソト」 ② 敬語 ③ 先輩 後輩 1 2 つきあい② 学習課題 復習：つきあい① 予習：日本のつきあい ① もてなし ② 贈り物 ③ お返し 1 3 つきあい③ 学習課題 復習：つきあい② 予習：日本のつきあい ① 手紙 ② はがき・年賀状 ③ 名刺交換 1 4 つきあい④ 学習課題 復習：つきあい③ 予習：日本のつきあい ① 結婚式・披露宴に出席 ② 通夜・葬式に参列 ③ 冠婚葬祭 1 5 総括 学習課題 復習：つきあい④ 予習：発表の練習 ① 課題として発表原稿を仕上げる ② 発表する
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 積極的な交流により、他人を理解し、他国の文化を理解することができる。 ② 日本の文化事情と自国の文化事情と比較できる。 ③ 日本文化事情に関する用語や事象を理解できる。 ④ 留学生同士および日本人学生と積極的に交流を図ることができる。 ⑤ 再認識した日本文化の特性を見直し、異文化間交流の際に助力にできるようにする。 授業中の学習態度・意欲、定期試験の結果によって総合的に評価する。 授業態度・授業への参加30%、宿題・授業外レポート30%、定期試験40%
教科書・参考書	教科書：『しきたり』、国際日本語研究所編、アプリコット出版社。
履修条件	平成28年度以降の入学者（留学生）
履修上の注意	本授業は「日本文化を知る」ということを目標とし、多種多様な文化事情について、継続的に聞き、理解する努力を重ねることによって、多文化理解力を身につけるものである。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	学生には日本文化事情に興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組むことを期待する。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
藤原・章・李・外部講師			

講義概要	この授業では、諸外国についてテーマに基づいて見聞を深める。 それと同時に私たちが住む日本の文化を客観的に捉える。 その中で、得た知識を実生活に結び付けて考えることを重要視し毎回の学びにしてほしい。		
授業計画	1	オリエンテーション	
	2	日本との関係について 諸外国の日本との関係について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	3	衣食住について1 諸外国の衣食住について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	4	衣食住について2 諸外国の衣食住について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	5	衣食住について3 諸外国の衣食住について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	6	産業について1 諸外国の産業について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	7	産業について2 諸外国の産業について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	8	言語について1 諸外国の言語について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	9	言語について2 諸外国の言語について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	10	外部講師 海外生活を送ったことのある外部講師を招き、現地の文化を学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	11	教育について1 諸外国の教育について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	12	教育について2 諸外国の教育について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	
	13	伝統について1 諸外国の伝統について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	

	14 伝統について2 諸外国の伝統について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 15 伝統について3 諸外国の伝統について、日本と比較しながら学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①世界には多様な文化があることを認識することができる。 ②世界の文化と比較し、日本文化の特徴を見出すことができる。 ③授業で得た知識を机上の知識ではなく、自分の経験と照らし合わせて考えることができる。 ④テーマに関する語彙を身につけることができる。 ⑤新聞等における世界のニュースを知り、実生活と結びつけて考えることができる。 評価方法 学習意欲 (40%) 試験 (60%)
教科書・参考書	教科書はない。適宜プリントを配布する。 参考書は授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜 4 コマ目 (14:50-16:20) に研究室へどうぞ。
備考・メッセージ	「知りたい」という気持ちを持つ人、大歓迎です。 積極的に調べ、積極的に人の話を聞き、積極的に発言をすることを期待します。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	1 単位	選択
担当教員			
牟田美信・藤原由衣子・小嶋栄子・イゼウ			

講義概要	グローバルに活躍する人材を目指すための第一歩。異文化交流を通して、他文化や価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深める。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。プレゼン作成等もあるので、調査・まとめ力も鍛えたい。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの特徴を活かしコミットすることに意義がある。共に学ぶ日本人・留学生が協働して、学科行事に関連したプロジェクトにグループワークで取り組み、プレゼンテーション等の作成・発表を実施。5つの到達目標達成を目指す。 1) ハウステンボス宿泊研修 2) 異文化交流パーティー		
授業計画	1	Introduction (4/14) プロジェクト?グループ紹介ビデオ作成： グループ分け→グループ内で自己紹介：メンバー紹介ビデオ作成 (各チーム3～4分) *日本・アメリカ・中国・台湾・韓国・ベトナム・ミャンマー ??評価のポイント、全員が参加すること。	
	2	予習&復習：なし グループ別自己紹介ビデオ作成① (4/21) プロジェクト?グループ紹介ビデオ作成 (各チーム3～4分) *形式自由、他の人にわかりやすく、ユニークなもの；インタビュー形式；他己紹介形式	
	4	予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること グループ別自己紹介ビデオ作成② (4/28) 「プロジェクト?グループ紹介ビデオ作成」のプレゼンテーションとピア・教員評価 予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること グループ別異文化CMナレーション (5/12) プロジェクト?異文化CMナレーション *YoutubeでCMを選び、ナレーションをグループメンバーで手分けして準備、練習、吹替え。	
	5	予習&復習：なし グループ別異文化CMナレーション (5/19) プロジェクト?	
	6	予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト?の発表と評価 (5/26) プロジェクト?の発表と評価	
	7	予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること HTB宿泊研修準備 (6/2) プロジェクト?HTB宿泊研修準備 (動画作成計画、歌、ダンスの話し、準備)	
	8	予習&復習：それぞれのグループで作業を進行させること プロジェクト?HTB宿泊研修6/8&6/9) ハウステンボス・ローレライ宿泊研修 園内で紹介ビデオ作成 午後にプレゼンテーション	
	9	予習&復習：なし ミニ言語&文化紹介講座作成 (6/13) プロジェクト?20分ミニ言語&文化紹介講座作成	
	10	ミニ言語&文化紹介講座作成 (6/20) プロジェクト?20分ミニ言語&文化紹介講座作成	
	11	ミニ言語&文化紹介講座実践 (6/27) プロジェクト?発表会 1	
	12	ミニ言語&文化紹介講座実践 (7/4) プロジェクト?発表会 2	
	13	異文化交流パーティー準備 (7/11) プロジェクト?異文化交流パーティー準備 1「国別に出し物を準備」(米、韓国、台湾、ベトナム、ミャンマー) 日本人は、各国のメンバーに入り、歌・ダンスに参加し、「お客さんにわかる(お土産)のハンドアウト(その国の紹介、歌・ダンスの紹介)」を作成する。	

	14 異文化交流パーティ③ (7/18) プロジェクト?異文化交流パーティー準備 7/22 (土) 異文化交流パーティー 15 授業についての振り返り (7/25) 「異文化理解演習」での取り組みについて振り返り グループディスカッション 振り返っての感想、次年度へのアドバイス執筆 ループリック評価による自己評価 授業評価実施
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 日本人と留学生の合同授業で多様な文化や価値観の違いを知り、理解し、自分なりに受容できるようになる。 ② 異文化間交流の中で自国の文化の特性を再認識し、見直し、交流の際の助力とすることができる。 ③ グループワークを通してコミュニケーション能力・リーダーシップ・責任感・協調性を醸成することができる。 ④ プレゼン作成、発表を通し調査・まとめ・発表能力をつけることができる。 ⑤ グループのメンバー一人一人が積極的に行事に参加、プロジェクトに取り組み、必ず自らの役割を果たすことができる。 グループワークでの成果物（パワポ、ポスターなど）、発表内容、授業や諸行事への積極的な関わりで評価します。ループリック評価も取り入れます。 課題40%、授業、グループワークへの積極的な参加30%、プレゼンテーション30%
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	グループプロジェクトを実施するが、グループメンバー全員が積極的に活動に参加すること。
オフィスアワー	月曜日1限（9：10～10：40）は研究室にいます。
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信 ・ 章 潔 ・ 外部講師			

講義概要	国内外の時事問題を総合的に研究する。 はじめに、実際に地方の新聞社で新聞の取材、編集をされている記者の方に講義をしてもらい、新聞を作る側からの観点から新聞の読み方について解説をしてもらう。新聞の正しい読み方のワークショップも行い、新聞をより深く理解する方法も学ぶ。 また、各自社説ノートを作り、最近の記事解説を通して、知識を増やし、より時事問題の理解を深める。同時に、TEDを視聴し、内容を理解し、議論も行う。
授業計画	6月15日 ①（新聞について、読み方等の説明） VTR「長崎新聞ができるまで（10分）」などを上映、実際に新聞を使って構成や読み方をレクチャー 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 6月15日 ②（ワークショップ、アンケート） 新聞を使ったワークショップ「一押し記事を探そう」を行う 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 6月22日 ①各自社説ノート作成 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 6月22日 ②TED視聴→意見交換 TED視聴→意見交換 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 6月29日 ①各自社説ノート作成 （記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 6月29日 ②TED視聴→意見交換 TED視聴→意見交換 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月6日 地元関連ニュース解説と取材に関して （講義）石田支社長が佐世保のニュースを中心に解説、取材経験などについて講義 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月6日 整理部記者になろう （講義+WS）：小林が新聞を使ったワークショップ「整理部記者になろう」を行う。 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月13日 ①各自社説ノート作成 ①各自社説ノート作成（記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月13日 ②TED視聴→意見交換 ②TED視聴→意見交換 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月20日 ①各自社説ノート作成 ①各自社説ノート作成（記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月20日 ②TED視聴→意見交換 ②TED視聴→意見交換

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月27日 ①各自社説ノート作成 ①各自社説ノート作成（記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 7月27日 ②TED視聴→意見交換 ②TED視聴→意見交換 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 8月3日 ①各自社説ノート作成 ①各自社説ノート作成（記事書き出し、読み確認、用語調べ、内容の図式化）→グループ討議 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。 8月3日 ②TED視聴→意見交換 ②TED視聴→意見交換 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：記事の中で分からない言葉や表現をしらべておくこと。
授業形態	講義と演習を組み合わせた授業とする。
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	以下がこの授業で達成してもらいたい項目である。 ①新聞の構成を理解することができる。 ②新聞の正しい読み方を理解できる。 ③最近取り上げられている社説の内容を理解できる。 ④TEDで伝えようとする内容を理解できる。 ⑤TEDで話された内容について自分の意見を積極的に発言することができる。 評価は、「各自の社説ノート（70%）」、「TED感想レポート（20%）」、「発言の頻度（10%）」
教科書・参考書	長崎新聞、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14:50-16:30）
備考・メッセージ	できるだけ毎日、新聞を読んだり、テレビのニュースを視聴すること。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
中野 明人			

講義概要	・国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 ・しかし、そのキャリアを自分でデザインするためには、それなりに時間をかけて、自己理解や社会理解などの準備をする必要があります。 ・自己理解、社会理解を踏まえ、職業を発見するためのさまざまな取組をへて、就活そしてその後のキャリアをデザインする授業になります。		
授業計画	1	ガイダンス この授業がめざすもの ・この授業が、2年間の学びのどの位置、どの役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	2	今の自分を知ろう①客観的な自分のイメージ ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする(ペアワーク)。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	3	今の自分を知ろう②私の行動特徴(エゴグラム) ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を調べる。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリ ウィンドウについて学ぶ。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	4	職業選択と自己 i 自分のパーソナリティと適職の関係について ・いろいろな職業について知る ・興味のある職業調べを行う。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	5	職業選択と自己 ii 自分の生き方と職業の関係について ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	6	キャリア選択のバリアー i 自分のバリアーの正体 ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	7	キャリア選択のバリアー ii バリアーの克服法 ・自分の思い込みについて考える。 ・自分の思い込みについて修正を試みる。 ・キャリア選択におけるバリアーについて考え、自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	8	ライフスタイルと職業選択 i 今までのライフスタイル ・今までの自分を振り返る(ライフラインを書いてみる) ・影響のあった出来事や人物について書き出してみる。 ・どんな影響を受けたのかについてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	9	ライフスタイルと職業選択 ii ライフスタイルと職業生活 ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考えてみる ・勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	10	キャリア計画 キャリアレインボーを作る ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	11	仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	12	就職の意志決定 ・企業情報を集め、自分情報シートをまとめる ・企業情報を自分で調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	13	面接の備え：自己理解 ・自分情報シートについてまとめてみる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	14	前に進むために 5年後と10年後のわたし ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプラン 自分で計画を立てる	

	1 5 プレゼンテーション 未来の自分をプレゼンする ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分自身について知ることができる。 ②職業について理解し、選択できるようになる。 ③自分自身の考え方のバリア(限界)を知り、克服することができる。 ④就活を計画し、実行することができる。 ⑤キャリア計画を立てることができる。
	①毎回配布するプリントの内容を評価する。それぞれのプリントが適切に記入されていることを評価の内容とする。 ②授業内容を振り返るコミュニケーションシートにその日の学ぶや気づきについて記入し、その内容を評価する。 ③最終回に実施する「5年後の自分、10年後の自分」についてのプレゼンを実施し、評価する。
	①14回×5点満点 ②コミュニケーションシートの記入 15回×1点 ③プレゼンの評価 1回×15点
教科書・参考書	テキストはありませんが、プリントを配布します。
履修条件	
履修上の注意	① まずA4ファイルを用意してください。 ② 時々メモを取るのでA4のルーズリーフ用紙を用意してください。 ③ 説明をした後に、演習をプリントに行います。 ④ プリントを閉じこんでいきます
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 また、木曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
章 潔 ・ 李 載宇			

講義概要	・国際コミュニケーション学科の留学生の進路は実に多様であり、自分自身の進路設定をすることが出来ます。 ・しかし、そのキャリアを自分でデザインするためには、それなりに時間をかけて、日本語の学習はもちろん、自己理解や社会理解などの準備をすることも必要です。		
授業計画	1	ガイダンス この授業がめざすもの ・この授業が、2年間の学びのどの位置、どの役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。	
	2	今の自分を知ろう①客観的な自分のイメージ ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする（ペアワーク）。	
	3	今の自分を知ろう②私の行動特徴（エゴグラム） ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を調べる。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。	
	4	職業選択と自己 i 自分のパーソナリティと適職の関係について ・いろんな職業について知る ・興味のある職業調べを行う。	
	5	職業選択と自己 ii 自分の生き方と職業の関係について ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。	
	6	キャリア選択のバリアー i 自分のバリアーの正体 ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。	
	7	キャリア選択のバリアー ii バリアーの克服法 ・自分の思い込みについて考える。 ・自分の思い込みについて修正を試みる。 ・キャリア選択におけるバリアーについて考え、自分がどうしたいかについて考えをまとめる。	
	8	ライフスタイルと職業選択 i 今までのライフスタイル ・今までの自分を振り返る（ライフラインを書いてみる） ・影響のあった出来事や人物について書き出してみる。 ・どんな影響を受けたのかについてまとめる。	
	9	ライフスタイルと職業選択 ii ライフスタイルと職業生活 ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考えてみる ・勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。	
	10	キャリア計画 キャリアレインボーを作る ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る	
	11	仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。	
	12	就職の意志決定 ・企業情報を集め、自分情報シートをまとめる ・企業情報を自分で調べてまとめる。 ・コミュニケーションシートに授業で何を学んだかについて記入する。	
	13	面接の備え：自己理解 ・自分情報シートについてまとめる。	
	14	日本での就職を目指す1 ・就職活動のアクションプラン 自分で計画を立てる	
	15	日本での就職を目指す2 ・就職活動のアクションプラン 自分で計画を立てる	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自分自身について知ることができる。 ②職業について理解し、選択できるようになる。 ③自分自身の考え方のバリア(限界)を知り、克服することができる。 ④就活を計画し、実行することができる。 ⑤キャリア計画を立てることができる。		

	板書をノートに写す度合、授業中の発言の積極性などを授業態度の評価基準（20％）とする。定期試験の成績を60％とし筆記試験を行う。また課題発表などについては、授業内で指示する。課題発表と課題レポートの成績を20％にする。
教科書・参考書	テキストはありませんが、プリントを配布します。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
富場 康 ・ 梶谷 良子			

講義概要	国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。 この授業の前半では、「地域を支える企業を知る」というテーマで、地域の企業を調べることで、地域にどのような産業があり、どのような課題を抱えているのかについて知ることで、直前に迫った就職活動に役立てます。地域の事業所を訪問し、実際に自分の働くイメージを作り上げることも目標としています。自分自身の人生設計(キャリアデザイン)を就職活動を基点に自分でできるための授業になります。 後半では、実際に就職活動で求められるビジネススキル・マナーについて学びます。	
授業計画	1	ガイダンス ①今年の就活スケジュール ②就活の実際 (DVDを見て考える)
	2	就職活動とキャリアプランニング ①今年の就職戦線について新聞などを通して知る ②今何をすべきか ③就活で大切なこと
	3	社会で求められる能力 ①社会が求める能力とは？ ②社会が求める課題解決能力とは？ ③この授業がめざすもの
	4	地域の企業・職業を知る I ①グループ分け(担当企業を決める) ②まずは自分たちで地元の企業について調べる ③その企業が抱える課題について調べる ④調べてわかったこととわからなかったことをまとめる
	5	地域の企業・職業を知る II ①担当する企業が属する業界・業種の現状を調べる ②その業界や業種が抱える課題を調べる ③調べたことをまとめる
	6	地域の企業・職業を知る III ①自分たちで企業訪問時に聞きたいことをまとめる ②自分たちが調べたことで提案できることについてまとめる
	7	地域の企業・職業を知る IV ①実際に担当企業から説明を受ける ②担当企業に質問をする ③今回の訪問を通して学んだことをまとめ、グループで共有する
	8	従業員スタッフの資質 ①必要とされる要件 ②従業要件
	9	対人技能 接遇知識
	10	実務技能 社交業務
	11	職場でのデモンストレーション 実習①
	12	職場・業種に即した業務マナー 実務マナー①
	13	職場・業種に即した業務マナー 実務マナー②
	14	職場でのデモンストレーション 実習②
	15	プレゼンテーション グループでのプレゼンテーション、相互評価
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	前半の「地域を支える企業を知る」というテーマで行うキャリアプランニングでは、プレゼンテーションに対して学生によるルーブリックの相互評価を行います。 後半のビジネススキル・ビジネスマナーの授業では、 で行います。	

教科書・参考書	特に指定はしません。 必要な資料を配布するので、「Awesome Sasebo! Project」のファイルを持参してください。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	2単位	必修
担当教員			
中野 明人 ・ 梶谷 良子			

講義概要	国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。 しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。 この授業の前半では、「地域を支える企業を知る」というテーマで、地域の企業を調べることで、地域にどのような産業があり、どのような課題を抱えているのかについて知ることで、直前に迫った就職活動に役立てます。地域の事業所を訪問し、実際に自分の働くイメージを作り上げることも目標としています。自分自身の人生設計(キャリアデザイン)を就職活動を基点に自分でできるための授業になります。 後半では、実際に就職活動で求められるビジネススキル・マナーについて学びます。		
授業計画	1	ガイダンス ①今年の就活スケジュール ②就活の実際 (DVDを見て考える)	
	2	就職活動とキャリアプランニング ①今年の就職戦線について新聞などを通して知る ②今何をすべきか ③就活で大切なこと	
	3	社会で求められる能力 ①社会が求める能力とは？ ②社会が求める課題解決能力とは？ ③この授業がめざすもの	
	4	地域の企業・職業を知る I ①グループ分け(担当企業を決める) ②まずは自分たちで地元の企業について調べる ③その企業が抱える課題について調べる ④調べてわかったこととわからなかったことをまとめる	
	5	地域の企業・職業を知る II ①担当する企業が属する業界・業種の現状を調べる ②その業界や業種が抱える課題を調べる ③調べたことをまとめる	
	6	地域の企業・職業を知る III ①自分たちで企業訪問時に聞きたいことをまとめる ②自分たちが調べたことで提案できることについてまとめる	
	7	地域の企業・職業を知る IV ①実際に担当企業から説明を受ける ②担当企業に質問をする ③今回の訪問を通して学んだことをまとめ、グループで共有する	
	8	従業員スタッフの資質 ①必要とされる要件 ②従業要件	
	9	対人技能 接遇知識	
	10	実務技能 社交業務	
	11	職場でのデモンストレーション 実習①	
	12	職場・業種に即した業務マナー 実務マナー①	
	13	職場・業種に即した業務マナー 実務マナー②	
	14	職場でのデモンストレーション 実習②	
	15	プレゼンテーション グループでのプレゼンテーション、相互評価	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	前半の「地域を支える企業を知る」というテーマで行うキャリアプランニングでは、プレゼンテーションに対して学生によるルーブリックの相互評価を行います。 後半のビジネススキル・ビジネスマナーの授業では、 で行います。		

教科書・参考書	特に指定はしません。 必要な資料を配布するので、「Awesome Sasebo! Project」のファイルを持参してください。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	1 単位	選択
担当教員			
岩見 真知子			

講義概要	一口にビジネス文書といっても、さまざまな手段、形式、用途がある。本授業では、毎時間一つのテーマに焦点をあて、文書形式・必要な日本語の習得を目指す。また独自の言い回し等を掴むために、ビジネス場面を想定したロールプレイも行ってもらう。受講者には、日頃から、日本の社会では場面ごとにどのような日本語が使われているか興味を持ってもらいたい。その上で時折ディスカッションの時間も設けたい。		
授業計画	1	オリエンテーション 予習：敬語を確認する。	
	2	敬語の確認 【ロールプレイ】ビジネス場面における自己紹介他己紹介 日本語の丁寧語・尊敬語・謙譲語を確認する。 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	3	仕事の日本語についてのディスカッション ・アルバイトをしているときどのような日本語を使っているのか。 ・コンビニやファーストフードショップやチェーン店ではどのような日本語が使われているのか。 ・不思議だと思う日本語について	
	4	履歴書の書き方 ・履歴書のルール ・実際に履歴書を書く ・【ロールプレイ】社内・社外での自己紹介（1） 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	5	封筒やハガキの書き方 ・【ロールプレイ】社内・社外での自己紹介（2） 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	6	ビジネスメール1 ・メール機能に関する日本語の基本用語 【ロールプレイ】社内・社外での挨拶 ・出社時・退社時 ・久しぶりに会ったときの挨拶 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	7	ビジネスメール2 ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の基本と文例 【ロールプレイ】社内：欠勤・残業の日本語 社外：訪問客を迎える際の日本語 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	8	ビジネスメール3 ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の基本と文例 【ロールプレイ】社内・社外：許可をもらう日本語 ・意向を尋ねて許可を求める ・可能性を尋ねて許可を求める 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	9	これまでの確認 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	10	ビジネスメール4 ・メール機能に関する日本語の基本用語 ・書き方の用例を読み解く ・実際にビジネスメールを書いてみる 【ロールプレイ】社内：許可をもらう際の日本語 休暇願い、物の貸し借り 社外：訪問のお願い 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。	
	11	BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く1 【ロールプレイ】社内・社外：依頼する際の日本語 ・依頼を受ける、断る ・上司に頼む、他	

	12 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 2 【ロールプレイ】社内・社外：誘いの際の日本語 ・誘いを受ける、断る、勧める 13 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 3 【ロールプレイ】社内・社外：電話での日本語 ・電話を取り次ぐ、伝言を頼む、伝言を申し出る、伝言を伝える 14 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 4 【ロールプレイ】社内・社外アポイント際の日本語 ・アポイントの入れ方、申し入れ、日時の設定、ほか 15 復習：授業で配布されたプリントを確認。 予習：次回のプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。 BJT（ビジネス日本語能力テスト）の短文読解問題を読み解く 5 【ロールプレイ】社内・社外：提案・申し出の際の日本語 ・提案を受ける、断る、申し出る、他 ●本授業の総まとめ 復習：授業で配布されたプリントを確認し、漢字や語彙を調べる。
授業形態	演習（一部講義）
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本のビジネス文書の基本ルールや種類を理解する。 ②ビジネス文書を読解できるようになる。 ③ビジネスや改まった場で適切な話し言葉があることを理解する。 ④ビジネスや改まった場にふさわしい会話表現ができるようになる。 ①平素の学習意欲を重視する（20%） ②授業中の確認テスト（20%） ③定期試験（50%） ④課題への取り組み（10%）
教科書・参考書	プリントを配布する。 参考書：『日本語ビジネス文書マニュアル』アスク出版 『新装版 ビジネスのための日本語』スリーエーネットワーク 『BJT読解実力養成問題集』スリーエーネットワーク
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	1 単位	選択
担当教員			
富場 康 ・ 梶谷 良子			

講義概要	①本授業では「文字表現」「文書作成」「文書実践」の学習を通して、正しい書き言葉を身につけるようにする。 ②「口語表現」の学習を通して、待遇表現や来客への応対など、場に応じた正しい言葉を身につけるようにする。 ③サービス接遇実務検定試験筆記2級合格をめざす。 ④授業は講義を中心にしながら、適宜演習を交えて行う。	
授業計画	1 回	オリエンテーション サービス接遇検定対策 講義のすすめ方・サービス接遇検定について
	2 回	サービススタッフの資質 サービス接遇検定対策 必要される要件・従業要件
	3 回	対人技能 サービス接遇検定対策 人間関係・接遇知識
	4 回	対人技能 サービス接遇検定対策 接遇用語・身だしなみ
	5 回	専門知識 サービス接遇検定対策 サービス知識・従業知識（商業用語・経済用語）
	6 回	一般知識 サービス接遇検定対策 社会常識
	7 回	実務技能 サービス接遇検定対策 問題処理（苦情や問い合わせについての対応）
	8 回	サービス接遇検定 サービス接遇検定対策 最終対策問題
	9 回	表記技能 学習課題 復習：同音異義語・異字同訓語を学習する。 予習：主語述語、修飾語被修飾語とうの呼応について学習する。 ①同音異義語・異字同訓語、慣用の手紙用語について学習する。
	1 0 回	表現技能（1） 学習課題 復習：文の仕組みについて学習する。 予習：接続後（接続詞）の使い方を学習する ①文の仕組み（主語・述語、修飾語・被修飾語）について学習する。
	1 1 回	表現技能（2） 学習課題 復習：接続語（接続詞）の重要性を確認する。 予習：敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 ①文章構成（文と文、段落、文体）について学習する。
	1 2 回	表現技能（3） 学習課題 復習：敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。 予習：手紙用語（季語）について学習する。 ①敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について学習する。
	1 3 回	実務技能（1） 学習課題 復習：原稿用紙の使い方を学習する。 予習：校正の方法について学習する ①原稿用紙の使い方、手紙（葉書）の書き方について学習する。
	1 4 回	実務技能（2） 学習課題 復習：案内状を校正する。 予習正しい：敬語表現を学習する。 ①案内状の作成、校正について学習する。
	1 5 回	まとめ 学習課題 復習：これまでの学習内容を総合的に学習する ①ビジネス文書技能検定試験（1・2級）受験への対応について学ぶ。 ②これまでの学習事項の具体的実践練習。
授業形態	講義	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①改まった場での日本語の書き方を習得する。 ②改まった場での日本語の話し方を習得する。 ③改まった場での日本語の表現力を身につける。	

	④実務的な文書の作成を習得する。 ⑤社会で必要とされるビジネスマナーの基礎を身につける。 ①平素の学習意欲を重視する。(20%) ②授業中の確認テスト(30%) ③期末試験(50%) これらの結果を総合して評価する。
教科書・参考書	テキスト：「ビジネス文書検定実問題集」(早稲田教育出版) 「サービス接客検定実務問題集2級」 参考書：「ビジネス文書検定受験ガイド1・2級」 (財)実務技能検定協会編(早稲田教育出版)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等を受付ます
備考・メッセージ	①接客に対応した正しい言葉遣いや会社での公文書作成、校正を視野に入れた授業を行う。 ②正しい漢字や四字熟語・敬語などを学習する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
梶谷 良子			

講義概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身に付ける 社会人として必要なビジネスマナー、日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。ホテルでの実務体験より実務業務を学ぶ。	
授業計画	1	人間関係は挨拶から 心地よい人間関係を作るには。
	2	ホテル実務体験 ホテルステイマナー
	3	言葉遣い 正しい敬語の遣い方
	4	和室でのマナー 訪問とおもてなしのマナー、座布団のマナー、和室の席次
	5	冠婚葬祭のマナー 慶弔の服装・祝儀、不祝儀袋の使い方
	6	冠婚葬祭のマナー お参りのしかた・贈り物のマナー・お見舞いのマナー
	7	ホテル実務体験 ホテル宴会場（ブライダル研修）
	8	電話応対法 （Ⅰ）基礎編
	9	電話応対法 （Ⅱ）応用編
	10	来客応対 案内のしかた・洋室の席次
	11	来客応対 お茶の出し方・いただき方
	12	面接指導 （Ⅰ）ビデオ
	13	面接指導 （Ⅱ）ロールプレイング
	14	面接指導 （Ⅲ）ロールプレイング
	15	実技 模擬面接（ロールプレイング）
授業形態	講義	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①良い人間関係を築くための基本マナーを身につける ②正しい敬語の遣い方を身につける ③和のマナーを習得する ④電話応対を習得する ⑤来客応対の基本を習得する ⑥ホテルでの実務体験 実技、筆記試験、授業態度にて評価する。 実技（20％）・筆記試験（80％）	
教科書・参考書	テキスト：「センスアップ マナーアップテキスト」 ソシアル淳心 サービス接遇検定2級問題集	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	原則としてビジネスマナーに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型をきちんと整えて授業に出席すること。（スリッパ不可）	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
梶谷 良子			

講義概要	日本のビジネスマナーの基礎を学ぶ。日本の『おもてなしの心』を学ぶ事で相手を尊重し、敬意をもって人と接するための「気配り」「気働き」「心くばり」の自覚を促す。 国際社会で、また日本社会でのグローバルな人間関係を築いていける力をつける。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業のすすめ方について、内容について	
	2	人間関係は挨拶から 好感のもてる日本の挨拶のしかた	
	3	日本の「おもてなし」について 日本の「おもてなしの心」とは。	
	4	美しい立ち居振る舞い 好感のもてる笑顔の演出	
	5	言葉遣い 正しい敬語の遣い方	
	6	言葉遣い ロールプレイング（接客用語）	
	7	面接指導 面接での立ち居振る舞い	
	8	面接指導 ロールプレイング	
	9	電話応対 （Ⅰ）基礎編	
	10	電話応対 （Ⅱ）応用編	
	11	電話応対 （Ⅲ）応用編	
	12	来客応対 身だしなみ・対応	
	13	来客応対 案内のしかた・洋室の席次	
	14	来客応対 日本の名刺交換	
	15	実技 好感のもてる挨拶・立ち居振る舞い（ロールプレイング）	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①良い人間関係を築くための基本マナーを理解する ②日本の『おもてなしの心』とは何かを学ぶ ③正しい敬語の遣い方を身につける ④ビジネスでの電話応対を習得する ⑤来客応対の基本を習得する 実技、筆記試験、授業態度にて評価する。 実技（20％）・筆記試験（80％）		
教科書・参考書	テキスト：プリント『センスアップ マナーテキスト』 ソシアル淳心 参考書：配布		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	原則としてビジネスマナーに相応しい身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型をきちんと整えて授業に出席すること。（スリッパ不可）		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	2単位	選択
担当教員			
松井 英治			

講義概要	①基本的なホテル業務内容を学ぶ。 ②日本に於けるホテル業の歴史を学ぶ。 ③今後のインターンシップ等に活かせる事を学ぶ。		
授業計画	1	オリエンテーション (6/12) 担当教員のビジネスマンとしてのホテル業への関わりについて	
	2	オリエンテーション (6/12) 基本的なホテルの仕事と構造について	
	3	ホテルでの実務体験 (6/19) テーブルマナー・ステイマナーなど	
	4	ホテルでの実務体験 (6/19) ホテルの客室清掃、バック導線見学等	
	5	ホテルの歴史とブライダルについて (6/26) 1960年代からの発展の歴史を学びます。	
	6	ホテルの歴史とブライダルについて (6/26) ブライダルビジネスについて	
	7	ホテルでの実務体験 (7/10) ブライダル研修 (衣装・美容・写真など)	
	8	ホテルでの実務体験 (7/10) 花嫁体験など	
	9	グループ研究 (7/24) ホテル業態の特徴・ホテルチェーンについて	
	10	グループ研究 (7/24) プレゼン資料作成	
	11	グループ研究発表 (7/31) ホテル業態の特徴・ホテルチェーンについて	
	12	グループ研究発表 (7/31) パワーポイントにてプレゼン	
	13	上記のふり返りと試験 (8/7) 上記のふりかえりと評価	
	14	上記のふり返りと試験 (8/7) 上記のふりかえりと評価	
	15	上記のふり返りと試験 (8/7) 上記のふりかえりと評価 試験	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	テーマ：めざましい発展をみせた日本のホテル産業の内容を理解する 到達目標：①ホテル業を理解して、利用することができるようになる。 ②ビジネスマナーを学ぶことができる。		
	期末試験 70% 授業への取り組み 20% 実習レポート 10%		
	期末試験 70% 授業への取り組み 20% 実習レポート 10%		
教科書・参考書	テキスト：あり（別紙）、プリント配布 参考書：なし		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業の前後で対応します。		
備考・メッセージ	授業中にホテルの専門用語がでるかもしれません。その都度、質問してください。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
Q2	2年	2単位	選択
担当教員			
ルーク・ロベージュ			

講義概要	COURSE OBJECTIVE : This course is designed to give students a brief introduction to the skills needed to teach English to young learners. Students will practice leading and designing songs, games and exercise. Also, focus will be on adapting and developing appropriate teaching materials. Students will acquire teaching skills through hands-on practice. Students will become familiar with popular EFL teaching resources. Students will also practice planning their own games and activities and presenting them to the class. Students that excel at course work and peer-teaching will have the opportunity to teach at a pre-school or for an elementary-aged English program.		
授業計画	1	Lesson 1: Introduction to the course The course and course activities will be introduced to the class. Students will participate in a mini French lesson, play kids learning games.	
	2	Lesson 2: Learning Groups Curriculum and Methodology Students will be given a very brief introduction into building and designing English Language curriculum for young learners. Students will also be introduced to ways in which to promote language acquisition for young learners. Students will be placed in learning groups.	
	3	Lesson 3: Songs 1 Students will be introduced to, and practice some popular childrens songs. Students will also learn effective strategies to enhance language acquisition through song.	
	4	Lesson 4: Songs 2 Students will be introduced to, and practice using popular childrens books.	
	5	Lesson 5: Books Students will be introduced to, and practice using popular childrens books.	
	6	Lesson 6: Textbooks and Games Students will be introduced to a wide variety of popular children's textbooks. Students will also become familiar with popular games for practicing words and language.	
	7	Lesson 7: Course Project Student will work making their own unique teaching materials.	
	8	Lesson 8: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project	
	9	Lesson 9: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project	
	10	Lesson 10: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project	
	11	Lesson 11: Course Project Student will work making their own unique teaching materials. 学習課題 復習 : previous work 予習 : the next step in completing and present project	
	12	Lesson 12: Course Project Presentations Students will present their course projects. Students will also peer-evaluate and self-evaluate.	
	13	Lesson 13: Course Project Presentations Students will present their course projects. Students will also peer-evaluate and self-evaluate.	
	14	Lesson 14: Song Presentations Students will each teach a children's song. 学習課題 復習 : songs from lesson 3 or other	
	15	Lesson 15: Final Evaluations Students will evaluate the course and self-evaluate their participation in the course. 学習課題 復習 : Course work	
授業形態	Lecture		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	1. Students will make and teach using flash cards. 2. Students will practice reading children's books. 3. Students will make their own learning materials. 4. Students will learn various English learning songs.		

	5. Students will practice and teach an English song to their peers.
	Due to the interactive nature of the course, regular attendance and active participation are required. Grades will be based on attendance, participation, peer-teaching, peer-evaluations and a term project.
	Classroom Engagement (20%), Song Teaching (20%), Flashcards (20%), Book Reading (20%) Handmade learning materials (20%).
教科書・参考書	
履修条件	This class requires that students have the language skills needed to lead classroom-learning activities entirely in English. Students wishing to enroll in this course require a minimum level of English proficiency to be successful. Students who do not meet the minimum level of English proficiency at the onset of the course may be excluded. The teacher will set the class limit.
履修上の注意	
オフィスアワー	Feel free to visit me in my office anytime I am not in class or a meeting. Monday 3:00-5:30. Tuesday 10:50-12:20.
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	本授業では、全15回の講義を通して、日本語を教える基盤となる下記3つについて学生個々人が見聞を深める機会としたい。 ①世界・日本・長崎における日本語教育の現状 ②留学生の日本語学習過程 ③日本語教師という職業・役割 また、本授業では2回の日本語教育現場見学を予定している。授業計画では事前準備を11, 12回目に、実際の見学を13, 14回目に予定しているが、見学するクラスの都合で予定が変更になる可能性が大いにある。		
授業計画	1	オリエンテーション この授業の内容・展開を知る。「日本語教師」とはどんな職業かを知り、直接法を体験する。	
	2	日本語教育1（世界） 世界の日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	3	日本語教育2（日本国内） 日本国内における日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	4	言語としての日本語 日本語の概要について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	5	文字・表記1 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	6	文字・表記2 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	7	文法1 文法について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	8	文法2 文法について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	9	社会言語学1 社会言語学について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	10	社会言語学2 社会言語学について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。 予習：次回テーマについてプリントを読む。 復習：今回のテーマを振り返り、小テストに備える。	
	11	長崎における日本語教育1 グループワークをとおして長崎における日本語教育の現状を把握し、現場見学に向けて知識を得	

	る。 12 復習：発表に備えて準備をする。 長崎における日本語教育 2 グループワークをとおして長崎における日本語教育の現状を把握し、現場見学に向けて知識を得る。 他グループの発表を聞き、見聞を深める。 13 復習：現場見学到に備える。 日本語教育の現場見学 1 実際の現場を見学し、留学生の日本語学習・教師の学習支援を観察する。 14 復習：現場見学を振り返り、日本語教師の役割について考える。 日本語教育の現場見学 2 実際の現場を見学し、留学生の日本語学習・教師の学習支援を観察する。 15 復習：現場見学を振り返り、日本語教師の役割について考える。 総括 授業や現場見学をとおした日本語教育・日本語教師についての気づきを共有する。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①世界・日本における日本語教育の概要を知る。 ②自分の周囲の留学生や外国人の日本での生活を考えながら、長崎の日本語教育を学ぶことができる。 ③日本語を外国語として学ぶ人の立場になり、日本語について考えることができる。 ④日本語教育における基本的な専門語彙や教授法を学ぶことができる。 ⑤日本語教師の職業や役割を知る。 評価方法 学習意欲 (40%) レポート (30%) 小テスト (30%)
教科書・参考書	テキスト：適宜プリントで配布する。(購入希望の人はこちらを購入ください。→株式会社アスク『新・はじめての日本語教育 1』(2004)) 参考書：授業内容に合わせて別途指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜 3 コマ目 (13:10-14:40) に研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	周囲の留学生の友だちや外国人のことを考えながら、授業を受けてみてください。 日本語の面白さ・難しさ、奥深さを皆で共有しながら学びましょう。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ	1年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	長崎短期大学に隣接する「相浦地区」をフィールドとし、「地域を知るプロジェクト」を実施する。私たちが住む街をまず調査し、正しい情報を集め、地域が課題とする問題を明らかにする。 このプロジェクトに取り組むことにより、情報収集能力、プレゼンテーション能力を高めることはもちろんのこと、様々な世代や職業の人と接することによりコミュニケーション力を高める。		
授業計画	4/11	3コマ目：授業内容の説明 「Awesome Saseboの趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、Tシャツ作成 黒島フィールドワーク準備：グループ分け、黒島について下調べ	
	4/11	4コマ目：グループ分け等 「Awesome Saseboの趣旨・目的の説明」、「学修成果記録ノート記入」、Tシャツ作成 黒島フィールドワーク準備：グループ分け、黒島について下調べ	
	4/18	3コマ目：フィールドワーク準備（情報収集） 黒島フィールドワーク準備：リサーチ項目の確認、持参品などの確認、小中学校での交流準備	
	4/18	4コマ目：フィールドワーク準備（情報収集） 黒島フィールドワーク準備：リサーチ項目の確認、持参品などの確認、小中学校での交流準備	
	4/25	3コマ目：フィールドワーク実施 「黒島フィールドワーク」＊黒島の情報収集のため散策&小中学校訪問	
	4/25	4コマ目：フィールドワーク実施 「黒島フィールドワーク」＊黒島の情報収集のため散策&小中学校訪問	
	5/9	3コマ目：フィールドワークの振り返り 黒島フィールドワーク（気づき、課題、提案）の「PPT」まとめ	
	5/9	4コマ目：フィールドワークの振り返り 黒島フィールドワーク（気づき、課題、提案）の「PPT」まとめ	
	5/16	3コマ目：フィールドワークの振り返り 黒島フィールドワーク（気づき、課題、提案）の「PPT」まとめ	
	5/16	4コマ目：フィールドワークの振り返り 黒島フィールドワーク（気づき、課題、提案）の「PPT」まとめ	
	5/23	3コマ目：PPT発表リハーサル 黒島フィールドワーク・「PPT」プレゼンリハーサル	
	5/23	4コマ目：PPT発表リハーサル 黒島フィールドワーク・「PPT」プレゼンリハーサル	
	5/30	3コマ目：プレゼンテーション発表 「黒島フィールドワーク」に関して、グループ別発表	
	5/30	4コマ目：プレゼンテーション発表 「黒島フィールドワーク」に関して、グループ別発表	
	6/6	3コマ目：評価・振り返り 「学修成果記録ノート記入」	
	6/6	4コマ目：評価・振り返り 「学修成果記録ノート記入」	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	「準備チーム」課題発見力（情報収集）：大学生として、また社会人として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができる。同時に、獲得した情報をもとに、地域での活動を行う際の課題を発見する力を養うことができる。 ①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③地域を知る活動の内容を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ④地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 ⑤先輩より留学やインターンシップなどの情報を得て、自分の成長につなげることができる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（30％）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70％）		
教科書・参考書	授業中に指示		

履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

講義科目名称：Awesome Sasebo！Ⅱ

授業コード：23251 23252

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ	1年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	長崎短期大学に隣接する「黒島」をフィールドとし、「地域を知るプロジェクト」を実施する。私たちが住む街を調査し、正しい情報を集め、地域が課題とする問題を明らかにする。このプロジェクトに取り組むことにより、情報収集能力、プレゼンテーション能力を高めることはもちろんのこと、様々な世代や職業の人と接することによりコミュニケーション力を高める。		
授業計画	6/13 相浦地区フィールドワーク準備 「学修成果記録ノート記入」、相浦地区フィールドワーク準備：グループ分け、リサーチ項目の確認、持参品などの確認、相浦地区について下調べ 6/20 「相浦地区フィールドワーク（１）」 「相浦地区フィールドワーク（１）」愛宕神社&愛宕山登山 6/27 相浦フィールドワークのまとめ 相浦フィールドワーク（気づき、課題、提案）の「PPT」まとめ 7/4 「相浦地区フィールドワーク（２）」 「相浦地区フィールドワーク（２）」商店街歩き（港→公民館） 7/11 相浦フィールドワークのまとめ 相浦フィールドワーク（気づき、課題、提案）の「PPT」まとめ 7/18 プレゼンテーションリハーサル 相浦フィールドワーク・「PPT」プレゼンリハーサル 7/25 プレゼン発表 「相浦フィールドワーク」に関して、グループ別発表 8/1 まとめ 「学修成果記録ノート記入」		
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	「導入ターム」の総合的な目標は、課題発見力（本質理解・原因追求）を獲得できることとする。自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、話し合いを行い、この本質を理解し、原因を追求することができる。 特に次の５項目に焦点を当てる。 ①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③地域を知る活動の内容を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ④地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 ⑤先輩より留学やインターンシップなどの情報を得て、自分の成長につなげることができる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（３０％）最終プレゼンテーションのループリック評価（７０％）		
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件			
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。		

講義科目名称：Awesome Sasebo！Ⅲ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	ギャップイヤーで経験した、「留学」「インターンシップ」「サービスマーケティング」などから得たこと、学んだことを明確にし、言語化し、表現する。ここで得られたことを基礎に、2年次で実施する、地域（黒島、高島、相浦）への提案を考え、具体的な地域活動の目標やシナリオを考える。		
授業計画	11/28	地域活動準備 「学修成果記録ノート記入」、2年次の地域活動のグループ（黒島・高島・相浦）分け	
	12/5	地域活動先進事例視察 シュシュ（地域活動）視察&山口社長講話	
	12/12	視察に関するまとめ シュシュ視察に関するまとめのグループ別プレゼンテーション	
	12/19	地域活動2年生より1年生へのプレゼンテーション 2年生黒島・高島・相浦の学生による、1年生への活動中間発表	
	1/9	職業研究 ANAテレマート&船橋社長講話（ホテルクオーレ長崎）	
	1/16	職業研究に関するまとめ ANA テレマート&ホテルクオーレ長崎に関するまとめ、グループプレゼンテーション	
	1/23	2年生の地域活動の評価 「2年生による、黒島・高島・相浦の最終プレゼンテーション実施」の評価コメント *次年度への引き継ぎも考えて	
	1/30	まとめ 「学修成果記録ノート記入」、「最終評価」	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	「検証ターム」計画立案力（目標設定・シナリオ構築）：「実践期」に体験したことをベースに、検証を行い、実際に地域活動で行うプロジェクトの目標を設定し、実際に実行するシナリオを構築することができる。 ①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③地域を知る活動の内容を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ④地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 ⑤先輩より留学やインターンシップなどの情報を得て、自分の成長につなげることができる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（30%）、最終プレゼンテーション（70%）		
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件			
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。		

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	1年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施します。総合ゼミ1では、これまで、活動実績のなかった高島を訪れ、最終的な具体的な地域への提案のために活動を行います。また、他の地域「波佐見町」での地域活性化活動をも視察し、自分たちの地域活動へのヒントとします。		
授業計画	4/10	地域理解 企画構想・準備（具体的な参加イベントを考えながら）	
	4/10	地域理解 企画構想・準備（具体的な参加イベントを考えながら）	
	4/17	地域理解 企画構想・準備・フィールドワーク準備（計画・予約等）	
	4/17	地域理解 企画構想・準備・フィールドワーク準備（計画・予約等）	
	4/24	フィールドワーク 各場所へ、フィールドワーク（黒島チーム・高島チーム・相浦チーム） *この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施 *現地訪問は、必要があれば、複数回可能とする。	
	4/24	フィールドワーク 各場所へ、フィールドワーク（黒島チーム・高島チーム・相浦チーム） *この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施 *現地訪問は、必要があれば、複数回可能とする。	
	5/8	プランニング 企画構想・準備	
	5/8	プランニング 企画構想・準備	
	5/15	プランニング 企画構想・準備	
	5/15	プランニング 企画構想・準備	
	5/22	フィールドワーク 「波佐見フィールドワーク」????「船橋社長」の講話 *この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施	
	5/22	フィールドワーク 「波佐見フィールドワーク」????「船橋社長」の講話 *この日の補講「外国語Ⅱ」は、前後の月曜日4コマ目に実施	
	5/29	プランニング 企画構想・準備	
	5/29	プランニング 企画構想・準備	
	6/5	プレゼンテーション 企画の中間プレゼンテーション&暫定企画書提出	
	6/5	プレゼンテーション 企画の中間プレゼンテーション&暫定企画書提出	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのループリック評価（70%）		
教科書・参考書	授業中に指示		

履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
6thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	1年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施します。総合ゼミ1では、これまで、活動実績のなかった高島を訪れ、最終的な具体的な地域への提案のために活動を行います。また、他の地域「波佐見町」での地域活性化活動をも視察し、自分たちの地域活動へのヒントとします。		
授業計画	9/25	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 ?9/xx 高島「どっとこいin高島」&キャンプ *他のチームにも参加呼びかけ。	
	9/25	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 ?9/xx 高島「どっとこいin高島」&キャンプ *他のチームにも参加呼びかけ。	
	10/2	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	10/2	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	10/16	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10/17（火）相浦おくんちお下り *留学生を含めてできるだけ、全員参加？企画は、代表グループ *他のチームにも参加呼びかけ。	
	10/16	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 10/17（火）相浦おくんちお下り *留学生を含めてできるだけ、全員参加？企画は、代表グループ *他のチームにも参加呼びかけ。	
	10/23	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	10/23	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	10/31	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 （月曜授業） 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	10/31	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 （月曜授業） 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	11/6	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	11/6	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	11/13	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	11/13	地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備 地域への提案プロジェクトのグループ別企画・準備	
	11/20	中間発表 中間発表	
	11/20	中間発表 中間発表	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（30％）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70％）		

教科書・参考書	授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	1単位	必修
担当教員			
国際コミュニケーション学科教員			

講義概要	1年時に実施した「地域を知る活動」で知り得た地域の情報や課題に対して、地域の人と密接に関わりを持ちながら、「地域への提案活動」を実施します。総合ゼミ1では、これまで、活動実績のなかった高島を訪れ、最終的な具体的な地域への提案のために活動を行います。また、他の地域「波佐見町」での地域活性化活動をも視察し、自分たちの地域活動へのヒントとします。		
授業計画	11/28	フィールドワーク 「有田フィールドワーク」（地域おこし先進地区視察1）	
	11/28	フィールドワーク 「有田フィールドワーク」（地域おこし先進地区視察1）	
	12/5	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/5	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/12	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/12	プレゼン準備 グループプレゼンテーション作成	
	12/19	プレゼンテーション 1年生への発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると12/19は発表日です）	
	12/19	プレゼンテーション 1年生への発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると12/19は発表日です）	
	1/9	プレゼンテーション改善・準備 グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/9	プレゼンテーション改善・準備 グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/16	プレゼンリハーサル グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/16	プレゼンリハーサル グループプレゼンテーション作成&リハーサル	
	1/23	発表 1年生への最終発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると1/23は発表日です） ?1/26 相浦地区（万年青市民大学）での学生プレゼン	
	1/23	発表 1年生への最終発表（1年生のスケジュールと照らし合わせると1/23は発表日です） ?1/26 相浦地区（万年青市民大学）での学生プレゼン	
	1/30	評価 最終評価→学修成果記録ノート？	
	1/30	評価 最終評価→学修成果記録ノート？	
授業形態	演習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①様々な取り組みにおいて、正しく情報を収集し、分析することができる。 ②地域活動における課題を発見することができる。 ③「地域への提案活動」の計画を立てることができる。 ④「地域への提案活動」の計画を効果的にプレゼンテーションすることができる。 ⑤地域の人たちを含めていろいろな人とコミュニケーションができるようになる。 グループ活動への取り組みに対して総合的に評価する。 フィールドワーク感想レポート（30%）最終プレゼンテーションのルーブリック評価（70%）		
教科書・参考書	授業中に指示		
履修条件			
履修上の注意	コミュニケーションが特に重要な科目です。普段から、いろいろな人とコミュニケーションをとるように心がけてください。		

オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	グループワークは、メンバー同士のコミュニケーションが非常に重要となります。「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」を頻繁に行い、グループプロジェクトを完成させてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	1st Quarter：ギャップイヤーに自分が取り組む「留学」「インターンシップ」「サービスマナー」に関して、「目的」「目標」を含む綿密な「ギャップイヤー計画表」を作成する。教員、外部講師、2年生から様々な情報を得て、ギャップイヤーに取り組む計画をしっかりと立てる上で、大学生として、正しく情報を収集し、適切な分析を行う力を養うことができるようにする。 2nd Quarter：1st Quarterに作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのものの見方にとらわれず、色々な角度から事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しをおこなう。 ・中期（3か月）留学： 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 ・インターンシップ： インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ・サービスマナー： 実施施設の決定、内容の確認、対応マナー等 ・短期（約2週間）留学： 渡航先の決定、渡航手続き、渡航先でのプレゼン準備、異文化理解、ホームシック対応		
授業計画	4/14	留学説明① 留学説明1（短期研修、3ヶ月留学）＆「3ヶ月留学」への資料配布・希望者の確認 ?? 2年生依頼「留学」ポスタープレゼンQ&A	
	4/21	インターンシップ インターンシップ説明 ?? 2年生依頼「インターンシップ」..「サービスマナー」ポスタープレゼンQ&A	
	4/28	留学説明② 留学説明2（NZ有給インターンシップ）外部講師（ジーナ&パートナーズ） 留学説明3（ワーキングホリデー）外部講師（ワーホリ協会）	
	5/12	ギャップイヤー準備・計画 「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備： 履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学書類作成、留学準備、 海外渡航における心得（危機管理） ＊必要に合わせて、留学組は空きコマで準備 ＊インターンシップ組は外部講師（就職課？ハローワーク？）に履歴書・志望動機作成、面接の指導を仰ぎたい	
	5/19	ギャップイヤー準備・計画 「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備： 履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学書類作成、留学準備、 海外渡航における心得（危機管理） ＊必要に合わせて、留学組は空きコマで準備 ＊インターンシップ組は外部講師（就職課？ハローワーク？）に履歴書・志望動機作成、面接の指導を仰ぎたい	
	5/26	ギャップイヤー準備・計画 「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備： 履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学書類作成、留学準備、 海外渡航における心得（危機管理） ＊必要に合わせて、留学組は空きコマで準備	
	6/2	ギャップイヤー準備・計画 「3ヶ月留学組」「インターンシップ組」を分けて説明・準備： 履歴書作成、志望動機作成、面接準備、インターンシップ心得、留学書類作成、留学準備、 海外渡航における心得（危機管理） ＊必要に合わせて、留学組は空きコマで準備 「名刺の作成(Word)」、	
	6/9	職業理解 「医療事務講座」の説明（ニチイ）、「エアライン講座」の説明（就職課、エアライン担当者）	
	6/16	インターンシップ（職業）服装指導 リクルートスーツドレスコード説明 ?? 紳士服の青山	
	6/23	仕事における声の出し方トレーニング 声出し、話し方トレーニング ?? MC高尾先生	
	6/30	サービス業界の語学 サービス業界サバイバル英語・中国語・韓国語レッスン ?? ルーク先生、章先生、イゼウ先生 ＊簡単な挨拶をスラスラ言えるようになるまで。	
	7/7	サービス業のマナートレーニング 「サービス業のビジネスマナー（特に挨拶等）」 「職場でのコミュニケーションスキル（雑	

	7/14 談・スモールトーク)」の練習??梶谷先生? 日誌・ブログの目的と記入方法 「日誌・ブログ等」の記入方法の説明と練習（良い例・悪い例を示しながら日誌の書き方を指導） 留学・インターンシップ必要事項フォームに回答（別紙参照） 7/21 計画と決意表明の作成 ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標5項目）」の作成と発表練習 7/28 計画と決意表明の発表、評価 ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標5項目）」の発表1 8/4 計画と決意表明の発表、評価 ギャップイヤー活動の「計画と決意表明（目標5項目）」の発表2（学生半分）＋「ギャップイヤー実施計画書」の提出
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ②ギャップイヤーの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。 ③ギャップイヤーの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ④ギャップイヤーの活動計画を立てることができる。 ⑤ギャップイヤーの活動に関する評価システム（活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために）を理解し、運用できる。 各自作成する「ギャップイヤーの計画表」の内容を評価します。 「ギャップイヤー計画表作成（100%）」 *「ギャップイヤー計画表」作成は、「学修成果記録ノート」への記入となります。
教科書・参考書	特になし
履修条件	原則、「海外文化事情（留学）」「インターンシップ」「実践Awesome Sasebo!サービ斯拉ーニング」を履修する場合は本講義と「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨んでください。

講義科目名称：海外文化事情留学Ⅰ

授業コード：90156

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	【海外短期研修ーアジア圏】 授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラムです。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習します。 主に、韓国や中国・台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動を行います。滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験をします。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行います。
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 最終レポートとプレゼンテーションで総合的に判断する。 最終レポート（80%）、プレゼンテーション（20%）
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布します。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	1）授業への出席状況が悪く、生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込み後も留学を辞退させることもある。 2）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分が高くなることを理解しておくこと。 3）渡航前には、韓国、中国、台湾、ミャンマー、ベトナム、フィリピンなどアジアからの留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるように努めること。

講義科目名称：海外文化事情留学Ⅱ

授業コード：90157

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	【海外短期研修—英語圏】 授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期（約10日間）海外研修プログラムです。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習します。 滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験をします。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行います。 渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性があります。（過去にはカナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ（ハワイ）、ニュージーランドへの研修を実施しました）
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 最終レポートとプレゼンテーションで総合的に判断します。 最終レポート（80%）、プレゼンテーション（20%）
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	1）授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分が高くなることを理解しておくこと。 3）渡航前に、留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称：海外文化事情留学Ⅲ

授業コード：90158

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	6単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	【海外中期（3か月）留学】 以下のような海外への、約3ヶ月間の留学となります。：＊希望人数により、渡航できない国もあります。 （英語圏）カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド （アジア圏）韓国、中国、台湾 現地での授業内容（例） 1 オリエンテーション 2 プレイメントテスト 3 語学学習（月～金、週約30時間） 4 セルフスタディ（スーパーバイザ指導のもと） 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動（フィードトリップ、地域でのボランティア活動、等々） 7 適期テスト（評価あり） 8 成績所及び修了証書授与
授業計画	留学をし、予定されている学校での授業やプログラムで学ぶ。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	海外に3ヶ月間留学し、主に語学と文化を集中的に学びます。 ①海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ②渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ③渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 ④姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。 ⑤帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 留学先での学習状況、レポート提出で評価をします。 留学先からの成績表(50%)、E-レポート（20%）、最終レポート(30%)
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布します。
履修条件	授業（遅刻、欠席）や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという意思が強いこと。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがあります。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	1）授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2）自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分が高くなることを理解しておくこと。

講義科目名称：インターンシップⅠ

授業コード：90152

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は毎回の出勤日の日誌を提出する。 インターンシップ終了後、インターンシップ日誌及び職場担当者の評価を提出してもらう。 同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅠ（基礎）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。 ②【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。 ③【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 ⑤【良い行いの習慣化】自分に与えられた役割全体を理解することができる。
	インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。
	インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：インターンシップⅡ

授業コード：90153

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は出勤日の日誌を毎回提出する。 インターンシップ終了後、インターンシップ日誌及び職場担当者の評価を提出してもらう。 同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅡ（定着）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】短所・弱点・苦手部分等の改善に努めることができる。 ②【主体性】与えられた役割の意義を確認しながら、誠意をもって役割を果たすことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分に与えられた役割のルールを理解した上で、役割を着実に全うできる。 ④【ストレスコントロール力】与えられた役割の意義を確認する中で、自分が負担・ストレスに思う根源を考えることができる。 ⑤【良い行いの習慣化】自分に与えられた役割を着実にを行うことができる。
	インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。
	インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：インターンシップⅢ

授業コード：90154

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は出勤日の日誌を毎回提出する。 インターンシップ終了後、インターンシップ日誌及び職場担当者の評価を提出してもらう。 同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】長所・強みを仕事に活かすよう努めることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識を高め、周囲の状況を判断し積極的に自分ができることを探すことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分の取り組みの中で新たな課題を発見し、目標を追加・再設定した上で、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを解決する具体的な方法を発見することができる。 ⑤【良い行いの習慣化】周囲の社員の行動を見つめなおし、自分の役割を洗練させることができる。
	インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。
	インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：インターンシップⅣ

授業コード：90155

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者は出勤日の日誌を毎回提出する。 インターンシップ終了後、インターンシップ日誌及び職場担当者の評価を提出してもらう。 同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、90時間以上の就業体験をもって評価を行う。
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をインターンシップⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【自己変革】他人の言動を観察し、良い点は取り入れ、自分をより成長させることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識をより高め、周囲の状況から課題を発見し、積極的に自分ができることを行うことができる。 ③【規律性・忍耐力】新しい職務に取り組む中でも、様々な課題・問題を熟考し、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】新しい職務に取り組む中でも、ストレスをコントロールしながら自分の役割を着実に果たすことができる。 ⑤【良い行いの習慣化】良いと思われる言動を自ら進んで取り入れ、習慣化させることができる。
	インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。
	インターンシップ日誌（80%）、職場担当者の評価（20%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：実践Awesome Sasebo I サービスラーニング

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1 年	2 単位	選択
担当教員			
牟田美信・中野明人・藤原由衣子			

講義概要	この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手がすくなるなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 等
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、9月26日（火）～11月17日（金）火曜日と金曜日を授業日とする。。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をサービスラーニング I（基礎）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【コミュニケーション力】活動の打ち合わせ時等に他人の話を丁寧に聞き、意図をしっかりと理解することができる。 ②【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。 ③【規律性・忍耐力】グループ内や共に活動する人との規律や、自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 ⑤【課題発見力】活動全体を知ることができる。 活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価をする。 活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：実践Awesome SaseboⅡサービスラーニング

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手がすくなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 等
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、9月26日（火）～11月17日（金）火曜日と金曜日を授業日とする。。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をサービスラーニングⅡ（定着）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【コミュニケーション力】意見や話を聞くのが困難である場合でも（例：時間に制限がある）、態度に出さず、丁寧に話を聞き、意図をしっかりと受け止めることができる。 ②【主体性】与えられた役割の意義を確認しながら、誠意をもって役割を果たすことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分に与えられた役割のルールを理解した上で、役割を着実に全うできる。 ④【ストレスコントロール力】与えられた役割の意義を確認する中で、自分が負担・ストレスに思う根源を考えることができる。 ⑤【課題発見力】活動全体を知り、一つ一つの役割の意義を確認することができる。 活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価する。 活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：実践Awesome SaseboⅢサービラーニング

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手がすくなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 等
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、9月26日（火）～11月17日（金）火曜日と金曜日を授業日とする。。。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をサービラーニングⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【コミュニケーション力】話・意見を聞き、自分の意見をしっかりと且つ人間関係を円滑にすることを心がけ、伝える方法を考えることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識を高め、周囲の状況を判断し積極的に自分ができることを探すことができる。 ③【規律性・忍耐力】グループの取組や個人の役割の中で新たな課題を発見し、目標を追加・再設定した上で、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを解決する具体的な方法を発見することができる。 ⑤【課題発見力】活動全体と各役割を認識し、計画する上で活動自体の様々な課題を予知することができる。 活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価する。 活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：実践Awesome SaseboⅣサービスラーニング

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手がすくなるなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 等
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、9月26日（火）～11月17日（金）火曜日と金曜日を授業日とする。。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	本科目をサービスラーニングⅣ（発展）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。 ①【コミュニケーション力】話・意見を聞き、自分の意見をしっかりと且つ人間関係を円滑にすることを心がけ、伝えることができる。 ②【主体性】社会・実習先の帰属意識をより高め、周囲の状況から課題を発見し、積極的に自分ができることを行うことができる。 ③【規律性・忍耐力】新しい取り組みの中でも、様々な課題・問題を熟考し、確実に役割・目標を全うできる。 ④【ストレスコントロール力】新しい活動に取り組む中でもストレスをコントロールしながら自分の役割を着実に果たすことができる。 ⑤【課題発見力】活動を行う場である地域の課題を考えることができる。 活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価する。 活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	1st Quarter、2nd Quarterに計画準備を行い、3rd Quarterで体験した、留学・インターンシップ・サービスラーニングに関して、個人、グループでまとめ、プレゼンテーションを作成し、発表を行う。 (プレゼンに盛り込む主な内容) 留学・インターンシップ・サービスラーニング各活動において、 ①「何のために参加したのか」 ②「成果・学んだこと」 ③「ギャップタームの経験をどのように将来生かして行くか」		
授業計画	11/24	ギャップイヤー振り返り 「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」 (ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入	
	11/24	ギャップイヤー振り返り 「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」 (ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入	
	12/1	ギャップイヤー振り返り 「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入、ギャップイヤーでの経験を言語化する1 (プレゼン準備・ポスター等の作成)	
	12/1	ギャップイヤー振り返り 「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入、ギャップイヤーでの経験を言語化する1 (プレゼン準備・ポスター等の作成)	
	12/8	体験の言語化 ギャップタームでの経験を言語化する (プレゼン準備・ポスター等の作成)	
	12/8	就職セミナー 「就職における適性、志望動機、エントリーシートについて」(講師：フレッシュワーク佐世保)	
	12/15	体験の言語化 ギャップタームでの経験を言語化する (プレゼン準備・ポスター等の作成)	
	12/15	体験の言語化 ギャップタームでの経験を言語化する1 (プレゼン準備・ポスター等の作成)	
	1/12	体験の言語化 プレゼンテーション実践リハーサル	
	1/12	体験の言語化 プレゼンテーション実践リハーサル	
	1/19	体験の言語化⑦ プレゼンテーション実践リハーサル	
	1/19	体験の言語化⑧ ポスタープレゼンの実施1 ?? 2年生にも評価してもらう。	
	1/26	ポスタープレゼン ポスタープレゼンの実施1 ?? 2年生にも評価してもらう。	
	1/26	ポスタープレゼン ② 振り返り3分スピーチ 原稿作成・写真送信	
	2/2	振り返りスピーチ&評価 振り返り3分スピーチ&評価+アンケート (クォーター制・学外学修体験について)	
	2/2	振り返りスピーチ&評価 振り返り3分スピーチ&評価+アンケート (クォーター制・学外学修体験について)	
授業形態	講義		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①ギャップイヤーの活動において、自らで立てた目標を達成することができる。 ②ギャップイヤーの活動において、さらに新しい知識情報を得ることができる。 ③ギャップイヤーの活動において、起こったリスクに関して正しく分析・理解し、解決することができる。 ④ギャップイヤーの活動において、活動計画に沿って問題なく実施することができる。 ⑤ギャップイヤーの活動において、評価システムに沿って評価することができる。 授業中に行う「ポスター等の資料作成 (50%)」、「プレゼンテーション (50%)」で総合的に評価を行う。 ポスター等の資料作成 (50%)、プレゼンテーション (50%)		

教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	経験してことを具体的に文章化やプレゼンテーションを行うことで、確実なものとなるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） ＊その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように日頃からメモをとるようにしてください。

